

THE ROTARY-NO-TOMO

ロータリーの友

1

2018
JANUARY
VOL.66 NO.1



特集 職業奉仕月間

ロータリアン 職業奉仕を語る

奉仕のパートナー

ロータリー地域社会共同隊

Rotary



FIVE QUEENS

FULL HEIGHT DOOR®

フルハイトドア

本物の高級ドアを追求して辿り着いたのが、本革という素材でした
ファイブクイーンズ
 高級家具のような落ち着いた風合いの本革張りドア『FIVE QUEENS』

幅 900 mm 厚み 60 mmの重厚感が他を圧倒します

本物だけが許される存在感が、住空間を最高の舞台に彩ります

ここからはじまる一生の出会い

ぜひ触れてみて、その違いを感じてください



しっとりとした手触りにこだわった FIVE QUEENS
 なめらかで美しい素材にのみ許されるスムーズレザー
 仕上げ。

商品のお問合せは神谷コーポレーション「Shonan Office」まで

TEL 0463-94-6203

フルハイトドア

検索

神谷コーポレーション株式会社 〒259-1146 神奈川県伊勢原市鈴川50 URL www.kamiya-yokohama.co.jp/



フルハイトドアの
神谷コーポレーション

多様性はロータリーの強み

親愛なるロータリアンの皆さま、私たちの持つ多様性はロータリーの強みです。この概念は、職業分類が最初に提案されたロータリー創成期にさかのぼります。多彩な経歴や能力を持つ会員が集まるクラブであるならば、そのような会員がいない団体より優れた奉仕活動が行えるであろうという、とてもシンプルな考え方です。

以降、ロータリーにおける多様性の概念は、より広い意味付けがなされるようになりました。地域社会の現状を正確に反映しているクラブは、より一層効果的に地域社会に奉仕することができるといことが分かってきたのです。今日優れた奉仕活動を行うためだけでなく、今後も、将来にわたって強力な組織であるためにも、多様性がロータリーにとって重要であり続けることは明白です。

多様性に関して私たちが早急に取り組まなければならない課題の一つに、会員の年齢層の問題が挙げられます。どのようなロータリーイベントでも、参加者の年齢層を見ると、私たちの組織に持続可能な将来が約束されていないことが、ひと目で分かります。会員数は記録的に増え続け、常に新会員を獲得してはいますが、今後何十年もロータリー活動を続けていられるような若い会員は、そのうちのごく一部です。将来、強力で有能なロータリーのリーダーシップを確保するためには、今、若く有能な会員を入会させる必要があります。

また、ロータリーの多様性を論じるのであれば、ジェンダーの観点も避けては通れません。わずか 30 年ほど前に女性がロータリーに入会できなかったというのは、今では想像し難いことです。それ以降いぶん進歩してきたとはいえ、女性の入会禁止という時代に合わなくなった誤った方針は今も残っています。あまりに多くの人々がロータリーは男性だけのための組織だといまだに考えているために、公共イメージにも会員増強にも悪い影響を及ぼしています。今日、女性会員は全体の 21% を少し超えた程度です。これは大きな前進ではありますが、世界の男女バランスを反映し、男性会員と同数の女性会員がいるという、各クラブが目標とするべき到達点にはまだ程遠いと言えます。

入会の動機は人によって違いますが、ロータリアンであり続けるのは、ロータリーの会員であることに価値を見だし、ロータリーの奉仕活動が世界にとって価値があると信じているからだと思います。世界のあらゆる場面において多様性を反映したクラブを築き上げることで、ロータリーのさらにいっそう続く変化をもたらす価値が築かれるのです。



イアン H. S. ライズリー
RI 会長の最新情報はこちら
<https://my.rotary.org/ja/news-media/office-president>

Ian H. S. Riseley
2017-18年度 国際ロータリー (RI) 会長



ロータリー:
変化をもたらす



ロータリーの友
Home Page

www.rotary-no-tomo.jp

原文 (英語) はこちらから

RI 会長メッセージ 3

RI 多様性はロータリーの強み

RI 会長 イアン H.S. ライズリー

特集

職業奉仕月間

ロータリアン

職業奉仕を語る 7

職業奉仕について考える

元 RI 理事 松宮 剛

私が実践する・考える職業奉仕

 大阪東 RC 島ノ内英久／高崎北 RC 内藤賢治／
佐賀南 RC 吉岡義治／神戸西 RC 大澤裕信／
小林 RC／藤枝 RC 石垣善康／花巻南 RC 伊藤智仁／
名古屋東南 RC 鋤柄喜彦／熊本北 RC 倉田榮喜／
東大阪東 RC・東大阪みどり RC・大阪ネクスト RC

特集

奉仕のパートナー

ロータリー地域社会共同隊 16

何かできる CAN RCC

地域の安全を守る 広島廿日市ゆうほ RCC

ボランティアと被災者をつなぐ懸け橋に

半田災害支援ボランティアコーディネーターの会 RCC

人の悩みに寄り添う

苫小牧家庭生活カウンセリング協会 RCC

高齢者と地域を結ぶ 岡山中央 RCC

地場産業で子どもの自立支援

さくらんぼ育成会 RCC

ロータリー：変化をもたらす 21

第 46 回ロータリー研究会レポート

続けよう、復興支援！

ベルギー大使館前で

「福島マルシェ」初開催 24

東京麹町 RC・福島南 RC

歩こう！ 26

—— ウオーキング大会に携わって

小倉東 RC 川本如寛／第 2570 地区 中川正明／

館林東 RC 橋田三造

World Roundup 28

世界のロータリーニュース THE ROTARIAN 1 月号から

よねやまだより 30

米山記念奨学事業 50 年のあゆみ ③

—— 1970 年代 ——

NEW GENERATION 32

ローターアクター 田嶋諒一／米山学友 黄 沢民

アジア太平洋・

地域雑誌編集者セミナー報告 33

地区大会略報 II 34

 第 2510 地区／第 2530 地区／第 2550 地区／第 2600 地区／
第 2630 地区／第 2690 地区／第 2560 地区／第 2610 地区

CLUB INNOVATION 37

オーストラリア シーフォード RC

THE ROTARIAN 1 月号から

 トロント国際大会日本人親善朝食会のご案内／
『友』から新年のごあいさつ 41

- 6 ● ロータリーとは
- 36 ● パズル de ロータリー／10 月号の答え
- 38 ● エバンストン便り
- 39 ● 財団管理委員長の思い RI
- 40 ● お知らせ 新 IAC／『友』誌で購読数変更についてのお願
い／地区別クラブ数・会員数一覧表／『友』2 月号主要記事予定
- 42 ● 日本ロータリー分布図／奥付

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp (本誌の内容・投稿)

経理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp (購読・注文)

ロータリーの友

Home Page

www.rotary-no-tomo.jp



● 本誌中のRCはロータリークラブ、RIは国際ロータリーの略です。
● 縦組みの目次は、反対側の表紙を開いたページにあります。● 本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

1月は職業奉仕月間です



東日本大震災の復興支援を機に姉妹クラブとなった東京麹町RCと福島南RCが連携し、都内で「福島マルシェ」を開催。多くの人や団体との縁によって開催にこぎ着け、当日は大盛況でした。震災からもうすぐ8年、まだまだ多くのクラブが復興に手を差し伸べています (P24～25)

ロータリーの友 委員会

委員長 清水 良夫 (横浜)
副委員長 片山 主水 (名古屋東南)
RI 理事 斎藤 直美 (豊田)
RI 理事 石黒 慶一 (鶴岡西)

特別顧問 神崎 正陳 (茅ヶ崎湖南)
上野 孝 (横浜)
安平 和彦 (姫路)
片岡 信彦 (土浦南)
橋本 長平 (京都東)

顧問 田中 政春 (長岡西)
岡部 一輝 (南砺)
庄司 尚史 (境港)
松坂 順一 (東京葛飾東)
服部 陽子 (東京広尾)

地区 代表委員

2500 松井 文 (網走)
2510 藤井 方雄 (函館)
2520 笹氣光壽郎 (仙台)
2530 渡邊 宗徹 (白河)
2540 村越 正道 (能代)
2550 加藤 勝朗 (宇都宮東)
2560 木村 廉平 (新潟万代)
2570 大澤 衛 (朝霞キャロット)
2770 星野 時夫 (大宮中央)
2790 根本 健一 (柏)
2800 若月 仁 (寒河江)
2820 神生 恭利 (石岡)

2830 折居 祐二 (十和田)
2840 小野 幸広 (沼田中央)
2580 石川彌八郎 (東京福生)
2590 山本 邦近 (横浜西)
2600 林 武雄 (長野)
2610 大和 謙市 (加賀)
2620 多々良 匡 (焼津)
2630 戸上 宗賢 (上野東)
2750 井村 廣巳 (東京日野)
2760 尾本 和弘 (名古屋東南)
2780 伊与田あさ子 (横須賀北)
2640 井手 良明 (和歌山城南)

2650 室 公博 (京都東)
2660 藤田 弘道 (大阪東)
2670 三浦 聖人 (観音寺)
2680 村野 利昭 (神戸西)
2690 横田 直樹 (倉敷南)
2700 高山 卓也 (宗像)
2710 宮本 民子 (岩国中央)
2720 山田 哲大 (熊本)
2730 菅沼 龍夫 (宮崎北)
2740 北島 恭一 (佐賀南)

編集長 野崎 恭子

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数35,727、会員総数1,220,185人（2017年8月31日R I公式発表）に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,262、会員数89,741人（2017年10月末現在）となっています。

2017 - 18年度 R I テーマ



ロータリー：
変化をもたらす

ROTARY : MAKING A DIFFERENCE

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

るえきていこし奉業勤

(C) 1999 株式会社

ロータリー



ロータリアン 職業奉仕を語る



職業奉仕について考える

松宮 剛 (元 R I 理事 茅ヶ崎湘南 R C)

「ロータリアン、ロータリー用語駆使するエイリアン」という川柳を披露された方がおられましたが、「職業奉仕」という言葉は、ご多分に漏れずロータリー用語の中でも使われることの多さでは、断トツと言えるのではないのでしょうか。私自身、ロータリー用語の使用は最小限とし、なるべく一般的な言葉を使って、職業奉仕について皆さんと一緒に考えていきたいと思っていますが、この川柳は、そうした私の背中を気持ちよく押してくれているかのような感じがします。

職業は受け手の側にこそ主導権がある

夏目漱石が 1911(明治 44)年の夏、兵庫県明石市で「道楽と職業」という演題で講演しました。その内容にいたく惹かれましたので、そのお話から始めたいと思います。

彼はこんなことを話しています。「昔はあつて今にない商売がありました。私の幼少時は、“柳の蟲や赤蛙”などと言って売りに来る人がいました。“いたずら者はいないかな”と旗を担いで歩いてきたのもありました。子どもの時分ですから、その声を聞くと、“ホラ来た!”と言って逃げたものです。よくよく聞いてみると、ネズミ捕りの薬を売りにきたのです。人間のいたずら者ではないというのでやっと安心したものでした。……締めくくった総体の高から言えば、どうも今日の方が職業というものはよほど多い」

「昔の職業というものは大まかで、何でも含んでいる。ちょうど田舎の呉服屋みたいに、反物を売っているかと思うと傘を売っていたり、油も売するという」「昔は商売の数が少なかった。世間の人もそのわずかな商売をもって満足していた」「人のお世話にならないで自分の身の回りを成るべく多く足す。また足さなければならない時代があったものでしょう」「その事実をたどっていくと、一切万事自分の生活に関したことは、衣食住、いかなる方面にせよ、人のおかげを被らないで、自分だけで用を弁じていた時期があり得るという推測になる」

こんなことを漱石は言おうとしているのでしょう。「誰しもできれば人の世話にならないでいたいと考える。その意味では太古の人を一番理想としているが、現実にはいろいろな職業の人の厄介にならざるを得ない。しかし

一方では、私も新聞にくだらぬことを書き、講演などをしてその埋め合わせをしている」。すなわち、「自分の力に余りあるところで人一倍仕事をして、その一倍の報酬で自分に不足したところを人から自分に仕向けてもらい、相互の平均を保ちつつ生活を持続する」。極言すれば、「自分のためにすることは、すなわち人のためにすることだ」と。

さらに言えば「人のためにする仕事の分量が少なければ少ないほど、自分のためにはならない結果が生ずるのは自然の理です。これに反して、人のためになる仕事を余計すればするほど、それだけ己のためになるのは明らかな因縁である」と。私たちがロータリーでなじんできた“One Profits Most Who Serves Best (最もよく奉仕する者、最も多く報いられる)”を思い起こさせる言葉ではありませんか。

職業というものは、結局他人のニーズに合わせなければその人のためになっていないことから、必然的に「他人本位」に根本の義を置かなければならない。漱石の言葉を借りれば「取捨興廢の權威は共に自己の手中にはない」ということです。

漱石がこの講演で語らなかったことについて、幾つか触れることが、職業奉仕を考えている私たちには必要かもしれません。生活のことをほとんど自分でしていたという太古の時代から貨幣を使う現代に至るまでの職業の事情です。

昔は病に倒れたりけがをしたために、自分でしていたことを他人にしてもらう必要があったことは容易に想像できます。あることに能力のある人が多くの人のために労力を使っていたことも想像に難くありません。自分に代わってしてもらったお礼として物を返すこともあれば、別の労力でお返しすることも行われたはずで、物々交換や物と事との往き来があったことでしょう。

やがて貨幣が登場すると、お返しという性格から、提供された物や労力などの価値と等価の貨幣で「支払う」慣行が常態となりました。こうした変遷には、おそらく想像以上の時が費やされたに違いありません。

提供されたことや物が、どれくらいの貨幣価値に相当するのかは、その質と量と所要した時間、そして技術のレベル、使用した素材の希少の度合いなどによって次第

に厳密に定まってきたものと考えられます。

現代企業における取り組みも、法令順守（コンプライアンス）、企業の社会的責任（CSR）を十分に考慮した信頼を軸に、成り立つようになりました。

ここまでのお話で、「職業奉仕」について考えている私たちにとって、大切な要素が提供されたものと思います。それは、「職業」というものは、元々、受け手の側に必要でかつ適切かどうかに関する主導権がある」ということです。そして、受け手のさまざまな必要性に対応することとして、いろいろな職業が生まれてきたのです。まずそのことを銘記しましょう。



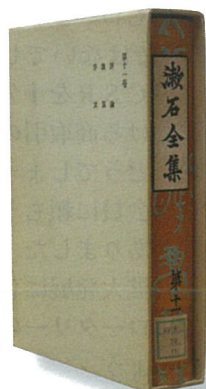
「良い仕事」のあり方とは

職業が有している本質的な前提を私たちは共有しましたが、その実質たる仕事の質について検討しなければ、「職業奉仕」の概念には到達しないでしょう。

ここでは、『スモール イズ ビューティフル』の著者 E. F. シューマッハーの後の著作『宴のあとの経済学』（原題『Good Work』）に拠って「良い仕事」を考えてみましょう。

彼の思考の核を成していたのは、「誰であれその人生の中心となっているのは、労働であり仕事である」「この世に生を受けた人間は、ただ単に生きるためだけでなく、自己の完成を目指して働くべきである」、そして「いかなる能力を授かるうとも、それをお互いのために使わなくてはならない」というものです。

彼の代表的著作である『スモール イズ ビューティフル』では、現代産業社会の病弊を見るにつけ、小規模で、より単純であり資本を使わないで済み、環境に対して非暴力的なテクノロジーで、人間の基本的な必要性を満たす社会を実現していこうと主張しています。



つまり、制約のあるこの地球環境を前提とした中で、仕事と人間の究極の目標との間にはどんな結び付きがあるのかを問うているのです。彼は言います。「意義のある労働、良き仕事とは何かを語るには、まず“人間とは何か？”“人生の目的とは何か？”を解明しなくてはならない」と。そのためには、数百万年といわれる人類がその長い歴史を通して培ってきた「伝統（歴史）の英知」に学ばなければならないと強調しています。そして、「伝統（歴史）の英知」が指し示す良い仕事の働きを3つ挙げています。

- (1) 自分の能力を活用し開発する機会を与えてくれる。
- (2) 他人と共働する仕事に参加して、人間が生来持っている自己中心の傾向を克服できる。
- (3) 人間全てがそれなりの（道徳的に見て人間にふさわしい）生活をするために必要な財とサービスを創出する。

そして、良い仕事は、良い生き方と歩調を合わせて存在すると言っています。その良い生き方についてシューマッハーは、

- (1) 自分の社会と伝統（歴史）から学び、自分の外部の世界から教えを受け、
- (2) 自分が身に付けた知識と行動を内面化して検討し、良いものを選び、悪いものを捨て去り、
- (3) 自我や好悪の感情、自己中心の妄念を超えて、宇宙の摂理（神）を志向する

と述べています。

こうして私たちは、「職業奉仕」について考えるに当たり、2つの大切な要素を見てきました。一つは、職業が元来受け手側に主導権があり、従って受け手の意向に沿うことが大切だということ、そしてもう一つは、職業を構成している仕事が常により良いものを目指している

べきであり、それは必然的により良い人生と一体であるというものでした。

次に私たちは、これらの根底で、前提としなければならない、さらなる2つのことを見てみたいと思います。その第一は、人間というものは、例外なく不完全であるということです。つまり、家族や友人や匿名の人を含む誰かが誰かの不十分なところを補っているのです。人は、互いに支え合わなければ誰も人生を全うすることができないようにできているのです。第二に、この地球生命環境というものがある決して無尽蔵で際限のないものではなく、極めて限定的なものであり、かつ全ての生きとし生けるものに平等に与えられたものであり、さらにはその地球生命環境と全ての生命は相互補完的なものだという前提です。

このような2つの前提下で人間の営みがあり、職業的な人生も当然その例外ではないということになります。

漱石とシューマッハーの指摘、そして2つの前提を念頭に、「ロータリーの職業奉仕」を見ていくことにしましょう。

「ロータリーとは何か?」。それは「ロータリーの目的」に謳うたわれています。いわく「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある」と。

これは明確に人間の、職業人としてのあるべき生き方を提唱したものに相違ありません。シューマッハーの言う「仕事（職業）と人間存在の究極の目標とはどんな結び付きがあるのか」という問い掛けにまさに呼応しているのではないのでしょうか。ここで重要なのは、「奉仕の理念」、かつて私たちがなじんだ「奉仕の理想（The Ideal of Service）」とは何かということです。ここで私の考える内容をご紹介します。

「人間は一人一人、この宇宙の摂理の中に生かされているかけがえのない存在である。従って私たちは、無条件に宇宙の摂理を受け入れ、慈しみ、そして自らは“共に生きるために率先して人々に仕える存在である”と深く自覚し、自分が持っている能力（心・技・体）を絶えず練磨し、その上で、他者を生かすためにできる限りの貢献をすることこそが人間の生き方として望ましいものであるとするロータリーの根本的な考え方」、従って



“The Ideal of Service” は、「サービスという考え方」と言ってよいと思います。

職業奉仕を原語では、「Vocational Service」と言いますから、字義からいえば、「職業的な奉仕」という感覚だと思います。ですから国際ロータリー（R I）は、職業奉仕の一義的なあり方として、「職業的なスキルを奉仕活動に生かす」と言っているのです。

しかし私は、職業奉仕の本質的な解釈として「職業という奉仕」、あるいは「職業は奉仕である」——職業は元来他人のためにあり、それによりよく応えていくものだという考え方を是が非でも採りたいのです。つまり私の考える「奉仕の理念（理想）」、「サービスという考え方」をそのまま職業に適用したいのです。

ロータリーの親睦こそが「職業奉仕」を自覚させる

職業奉仕を「職業を倫理的にコントロールしようとする行為全般」、また「高度に倫理的な基準に導かれて消費者に提供された物や事柄は、当然必要な対価を得ることができる」と定めるのであれば、何もロータリー固有のものではないということになるのではないのでしょうか。それはまさにコンプライアンスやCSRを十分に基本理念として採り入れている企業における商取引の現実に反映されているように思えますが、どうでしょう。

ロータリーはその創立当初、仕事は会員に頼もうといういわゆる「相互扶助」をする慣行がありました。そしてこのことが、その後のロータリーの拡大発展に著しい効果をもたらしました。これなしではロータリーの発展を見ることはなかったとも言えるでしょう。

ロータリーが優れていたのは、相互扶助するからにはそれぞれが自分の仕事をその職業上誇るべき実質をもって、互いに応え合おうとしたことでした。その成果は、「職業倫理訓」（1915年）として結実しました。また、アーサー・F. シェルドンの経営学（奉仕哲学）への共感と称賛にも見ることができます。

こうしたことに象徴されるロータリアンの「職業に対する強い熱意」をもって「金看板」と言われたと推察することができ、また大いに可能だと思います。実際それゆえに「ロータリーの金看板」とされたのだとも思います。

ただ私は、看過されているとおぼしき重要な点があると思っています。それは基本原則として内実に導かれるべき「ロータリーの親睦」です。以下にその原則を述べます。

（１）一業種一会員制：会員の異質性、あるいは多様性ということが言えるでしょう。創立当初からの一大原則でした。もちろんこの制度は、違いを味わうことがあって初めて意味を得るものです。単に職業が違うだけではさしたる意味は持ち得ないのです。異質を現実体験し、良くも悪くも味わう機会を得てこそその多様性とその受容のことです。

（２）毎週一回の例会への出席：会員が最大限頻繁に会うことによって、お互いが切磋琢磨することを意味する原則です。誰も親しい友人を持っていますが、毎週定期的に顔を合わせる友など恐らくないのではないのでしょうか？ それほどの出会いの機会をロータリーは提供しているのです。こうすることで、会員の自己改善が行われていきます。

（３）毎年度交代制：例えば今年度はA氏がクラブ会報の担当とします。ロータリーはA氏に前年度の会報担当者と同じことをしなさいとは言っていない。彼らしさが発揮されることを期待しているのです。正しい記録の記載は守られるべきですが、他は彼らしいアイデアが生かされてこそ担当する意味があるとロータリーは主張します。しかし、このような制度があるにもかかわらずクラブの活動がマンネリ化し、ある種の疲弊を見せています。つまり、「ロータリーを駄目にしようと思ったら、前年通りやればよい」ということです。その理由を含めここでは議論せず、別の機会に譲りたいと思います。

（４）機能分担としての役務：年度における役務の分担は、決して上下関係を示すものではないという原則です。クラブ会長はその年度の対外的なクラブの顔であり、対内的にはクラブのリーダー的な役務を担ってはいますが、年度が過ぎれば一会員たるロータリアンに戻るものであって、長老やボスの存在になるというものではありません。ましてやロータリーを卒業するわけではありません。

（５）会費同額：ロータリーが徹底した平等を保障するクラブ運動であることの象徴です。

ロータリーの基本原則が会員相互の交流にもたらすであろう意味が考えられることもなく、そのほとんど全てが葬り去られようとしている現実が心が痛みます。

2004－05年度、私はガバナーとして、『月信』にこのことを「巧妙に仕組まれた親睦の構造」と書きました。他にも伝統的なロータリーの基本原則はあるかもしれませんが、少なくともこれら5つの基本原則に導かれてロータリークラブにおける会員相互の交流が行われているべきなのです。それによって実現する切磋琢磨と自己改善のエネルギーの横溢をロータリーは望んだのです。そうしたロータリー特有の親睦による自己改善の成果は、おのずと自己の職業に対する姿勢を変化させるに違いないのです。そしてこの基本原則を生かしたクラブでの親睦こそが職業奉仕を「ロータリーの金看板」たらしめる強い力となっているに違いないのです。

先ほど述べました、企業における職業倫理を踏まえた活動とは一味も二味も違う、血の通った、人間味のある職業活動がそこには実現されていると思えるのです。職業を営んでいる当事者の周辺には、有形・無形の喜びや満たされた感覚があふれているのではないのでしょうか。シェルドンの語る“One Profits Most”の意味するところは、実はそのことを含んでいたのではないかと、現実としての経営学校での教育を超えて、彼の真意はそこにこそあったのではないかと考えるのです。

現状のRIはもちろんのこと、日本の多くのロータリークラブにおいて、今述べた「ロータリーの親睦」が日常から忘れ去られているように思えてなりません。そうした意味から、皆さんでクラブ例会の在り方やクラブ親睦活動の考え方、クラブ奉仕部門への取り組みを改めて見直してみたいかがでしょう。

それは取りも直さず「職業が奉仕である」ことを深く自覚するばかりでなく、人生そのものの付加価値、ふくらみと温かさを、つまるところ「ロータリーの本領」を知る契機へとつながっていくことになると思うからにはほかなりません。「これまでの殻を破ろうではありませんか！ 有為な違いを創りだすために、Rotary : Making a Difference」

（第2780地区 神奈川県 2004－05年度ガバナー）

本稿は、2016年4月に行われた第2780地区研修・協議会職業奉仕分科会での講演に加筆したものです。

【参考引用文献】

夏目漱石『漱石全集』第11巻 評論・雑篇、岩波書店、1985年（P9左）

E.F. シューマッハー、長洲一二監修・伊藤拓一訳『宴のあとの経済学』筑摩書房、2011年（P9右）

私が実践する・考える職業奉仕

人が育つための支援、それが私の職業奉仕

大阪東RC 島ノ内英久

入会：2014年 職業分類：経営コンサルタント

私は中小製造業の工場リーダーを育成するコンサルタントを長年務めております。

作業員や工場長の高齢化が進み、現場の世代交代が急務の一方、日々の生産に追われ、人材育成の余裕がない工場も多く、また、製造業務は真面目にこなすものの、未経験の仕事にあえて取り組む積極性に乏しい人が多いのも実情です。

そのような人たちと接するリーダーが、現場の声を生かして改善テーマを設定し、さまざまな苦勞をしながらも仲間をフォローし続け達成する経験を、改善活動などを通じて積むことで、工場、リーダー共に着実に育つことを実感しております。



雰囲気の良い現場は、働く人の気持ちだけでなく、生産性もアップ

「前向きになるスイッチは誰しも必ずどこかにある」「マイナスのレッテルを貼られた人は伸びない。だからレッテルを絶対に貼らない」「役職などに関係なく平等に明るく声を掛ける」などを旨として日々支援を行っています。

人が育つための支援、それが私の実践する職業奉仕です。
(第2660地区 大阪府)

全ての人に伝わるメディアを目指して

高崎北RC 内藤 賢治

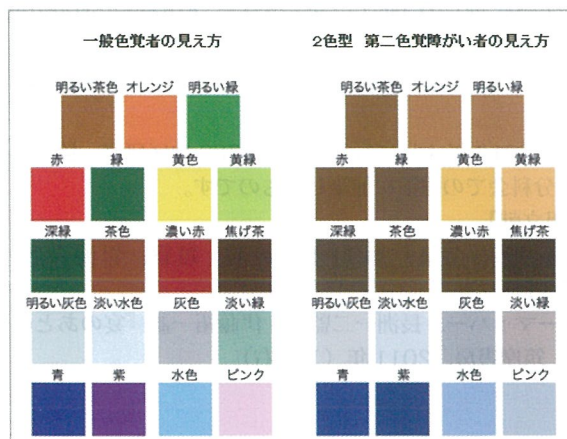
入会：2012年 職業分類：印刷業

全ての人に読みやすく、使いやすく伝えることのできる印刷業で職業奉仕をしています。

人の色の感じ方は一様ではなく、色の見え方が一般の人と異なる人が多くいます。この中でいわゆる色覚に障害のある人は、日本では男性の20人に1人、女性の500人に1人、日本全体では300万人以上いま

す。これらの人たちは、色の組み合わせによっては、一般の人が見えている差異が認識できません。

バリアフリーは、障害のある人の社会参加を阻むバリア（障壁）を取り除く考え方ですが、「全ての人に伝わるメディア」という意味は、一つのメディアから全ての人が同じ情報を正確に受け取ることができる、ということです。自身の職業を通じて、印刷紙面の情報を全ての人に伝えることのできるよう、文字の形状・大きさ、色の使い方・明度差などに配慮し、全ての人の社会生活を阻害しない印刷物で奉仕をしたいと考えています。
(第2840地区 群馬県)



色覚障害疑似ゴーグルを使って、見え方をシミュレーションする筆者（右）

朝のスタートは 「四つのテスト」から

佐賀南R C 吉岡 義治
入会：2009年 職業分類：薬剤師

私の会社は、複数の薬局と職種の異なる幾つかの部門を持ち、経営しています。私自身も薬剤師として、その中で働く一員です。そういう中でリーダーとしての役目を果たすのは大変です。

そこで、全体を共通のスローガンでまとめるいい方法はないだろうかと考え、「四つのテスト」を社内で広めることにしました。上が命令、指示を出すのではなく、各自が思考し、行動する。始業は「四つのテスト」の唱和から始まります。



薬剤師として10年後も現役の写真が撮れれば幸いです

まだまだ、成果は分かりませんが、職場が少し活気付いてきたのではないかと思います。今日この頃です。

(第2740地区 佐賀県)

お客さまが心から安らげる 癒やしの場を提供

神戸西R C 大澤 裕信
入会：2009年 職業分類：スポーツ施設経営



ロータリーの職業奉仕とは「人さまのために奉仕する気持ちを強く持って職業を営むこと」だと考えます。

移民社会で「力こそ正義」という考え方が根底にあ

ろうアメリカは、銃と金が全てだったと思います。そのような背景があれば、職業奉仕に強く倫理感を求める声が強いことは十分に理解できます。

その点、1000年以上、徳育を受けて今日に至る日本人には、倫理感は当然のことで、アメリカとの感覚の差を強く感じます。

私はゴルフ練習場を経営しています。阪神淡路大震災が起こった1995年、その年の9月に、神戸の地場産業のケミカルシューズ業界から転業しました。

当時すでに神戸経済には不況感がありましたが、追い打ちをかける大震災でした。単にボールを打つ場でなく、来場してくださる皆さまが心から安らげる、癒やしの場としてのコンセプトを徹底した経営をしており、スタッフには清潔、気配り目配りを常に心掛けさせています。

当施設に来られたらホッと、明日への意欲が湧くと言われる多くのお客さまの笑顔が何よりの毎日です。

(第2680地区 兵庫県)

クラブで職業奉仕 会員の職種の幅広さを生かして就職模擬面接

2008 - 09年度から宮崎県立小林秀峰高校の電気科や商業科で就職を希望する3年生約100人に対し、就職模擬面接を行っています。高校生たちには、実践的な面接を受ける初めての機会。緊張している生徒たちに対し、一般的な質問から専門的な質問まで約20分間のグループ面接をします。専門的な質問ができるのも、会員の職種の幅広さがあればこそだと感じています。高校生は自分の希望の職種に就こうとがんばっています。今後とも地域に根差した職業奉仕の活動で、地域に貢献していきたいと思っています。

(第2730地区 宮崎県)



小林R C

ドラッカー理論と職業奉仕

藤枝RC 石垣 善康

入会：1991年 職業分類：広告

ロータリークラブに入会して25年、当初から職業奉仕についてはあまり理解することができませんでした。また、職業奉仕についての説明も、「ロータリーの目的」の第2項の「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会



としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること」を土台にしてあると国際ロータリーの『国際奉仕入門』に記載され、少し難解です。

そんな折、経済学者ピーター・ドラッカー（1909～2005）の理論についての研究会に参加する機会に恵まれ、数回出席している中でロータリーの職業奉仕とドラッカー理論には共通点の多いことに気づきました。

ドラッカー理論の基本：経営者は、^{しんし}真摯で誠実、謙虚であれ。＝これはロータリアンの基本。

ドラッカー：企業は本業を通じて社会的に有用な存在となり貢献せよ。社会を害するな。＝社会に奉仕する機会としてロータリアンは各自の職業を高潔なものにし、周囲の模範となれ。

ドラッカー：組織の人たちが生産的に働き、仕事を通じて自己実現できるようにせよ。＝ロータリアンは若者のキャリアアップを支援し、専門能力の開発を奨励、指導する。

このようにドラッカー理論を学ぶことで、ロータリーの職業奉仕を具体的に理解しつつあります。

（第2620地区 静岡県）

職業奉仕についての雑感

花巻南RC 伊藤 智仁

入会：2001年入会 職業分類：道路舗装

ロータリーでいう奉仕はserviceを訳したのですが、奉仕という漢字の印象を表すとしたら、むしろボランティアがピッタリだと思います。しかしこのサービスとボランティアの違いを区別できないと、活動があらぬ方向に向かってしまうのではないのでしょうか。

職業とは自分の生活基盤です。レストランでおいしい料理を食べたり、良い給仕を受けた時、そこに対価があったとしても「今日のサービスに満足した」と言います。これは仕事に対する評価です。

一方、ボランティアと呼ばれる街中の清掃活動やお祭りなどの手伝いは、喜ばれこそしますが、そもそも生

活基盤ではありません。

つまり、職業奉仕（vocational service）とは「四つのテスト」に基づき自らの職業を通じて社会の役に立ちましょうということだと思います。ゆえに、ロータリー流に解釈すれば「会員を通じて互いの職業の理解を図り、その価値を正しく社会に広めましょう。そして、各自の職業を通じ社会に役立つ行動に努めましょう」となるはずです。

（第2520地区 岩手県）



クラブ職業奉仕委員長をして分かったこと

名古屋東南RC 鋤柄 喜彦

入会：2003年 職業分類：高圧ガス製造・販売

当然ですが、ロータリークラブに入会するまで「職業奉仕」という言葉を耳にしたことはありませんでした。

ロータリーライフが進むにつれて、その「職業奉仕」が気になり始めました。ちょうどその頃、クラブで職業奉仕委員長を引き受けることになり、初めは、委員会メンバーと共に何をやる委員会なのか、どうすれば良いのかと悩みました。

過去の活動を調べたところ、職場例会、企業訪問が実施されており、その年度も同じような事業を行いました。しかし、それが私の職業奉仕に対する考察を深めること

になりました。

「ロータリーの基本理念は職業奉仕にあり」とよく言われます。また、職業奉仕という日本語表記が意味を難しくしているので、英語表記の Vocational Service で理解した方が良くと言われます。さらに「四つのテスト」を検索すると、「みんな」とは、「自分に関わる人」と理解すると書かれているサイトを見つけました。そう読み替えてみると、なんとなく意味が分かった気がしました。今では、私の会社の経営理念は「四つのテスト」が基本になっています。 (第 2760 地区 愛知県)



防災訓練で講評する筆者（右）

職業奉仕における利己と利他

熊本北 R C 倉田 榮喜

入会：2005 年 職業分類：民事弁護士

ロータリー初期の指導的人物、アーサー F. シェルドン（1868～1935）は、持続して繁栄する会社の共通の特徴を、サービスとしたとされますが、その特徴とは何でしょうか。そのサービスを奉仕と訳した場合、職業奉仕はどう考えればよいのでしょうか。

職業は利益を追求し、その利で生活する利己的なもの、奉仕は利益を求めない利他的なものならば、職業に奉仕を合体させることは、社会により有用な職業となるように努めること。さらに明治から昭和にかけての思想家・安岡正篤氏（1898～1983）の言葉にあるように、職業の利が義の総和として得られるものとなれば、職業

奉仕はまさしくロータリーの金看板と言えるでしょう。

シェルドンの言う持続して繁栄する会社の共通の特徴とは、事業の利益が義の総和になるように努め続ける会社ではないか、と地区の職業奉仕部門長になって思いました。そして利が義の総和であるかどうかを「四つのテスト」に照らして経営すると、社会により多く資する職業になるのではないのでしょうか。



（第 2720 地区 熊本県）

クラブで職業奉仕

職業奉仕を実感できた出前授業

東大阪市立楠根中学校で、1 年生 5 クラスを対象に、3 クラブ協同の出前授業を実施しました。会員のさまざまな職業・仕事を通じて、社会のいろいろな職業への知識を広げてもらおうと、製造業者、建築士、看護師、保育幼稚園経営者、大学教授（外国語）など、5 人の会員が講師となり授業を行いました。30 分の授業を各 2 回、最後に活発な質疑応答の時間もあり、生徒と共に各会員自身がとても貴重な経験をし、職業奉仕を実感することができました。 (第 2660 地区 大阪府)

東大阪東・東大阪みどり・大阪ネクスト R C



奉仕のパートナー

ロータリー地域社会共同隊

RCC

ロータリー地域社会共同隊（Rotary Community Corps= 略称RCC）は、地元のニーズに応えるために、ロータリークラブと協力して活動するロータリアン以外の人から成るグループです。ロータリークラブがスポンサーとなり、協同で奉仕プロジェクトに取り組んでいます。日本では40のRCC（国際ロータリー調べ）が、日本各地でさまざまな活動を行っています。ロータリーの奉仕のパートナーであるRCCの活動例を紹介します。

CAN RCC

何かできる

鹿児島城西RC社会奉仕委員長 赤崎 安隆



鹿児島城西RCでは、毎月1回のRCC例会にロータリアンも出席。その例会では、RCCが主体で行う活動などについて話し合い、ロータリアンもアドバイスをしたり、参加をして協力しています。これまでにを行った活動は、合鴨農法体験、障害者体験学習、バレー

CAN RCCは、2001-02年度の鹿児島城西ロータリークラブ（RI）の会長によって、ロータリークラブが行う奉仕活動をより確かなものにするため、また、もっと柔軟で、より地域に密着した活動を実現するために結成されました。2001年4月2日に国際ロータリー（RI）から認証された、九州初のRCCです。「何かできる」をテーマに「CAN」と名付けられました。以降、鹿児島城西RCでは、毎年社会奉仕委員会の予算としてRCC用の予算を組み、それを活動費として支援。RCC側はイベントなどの一部の資金として利用しています。

ボール教室、鹿児島城山散策、篤姫をめぐる散策、地引き網体験など、親子の触れ合い教室の開催や障害者支援が中心でした。

RCCを支援することにより、ロータリー活動以上に、より地域に密着した活動ができたこと、また、ロータリアン自らも活動に参加し、同じような体験ができたことは、とても貴重な経験となりました。さらに、イベントを開催するまでの過程も大切で、話し合い、計画、準備などの活動を通して若い世代に連帯感や達成感などを体験してもらうことは、今後のリーダー育成にも意義あることだと考えています。（第2730地区 鹿児島県）

CAN RCC隊長 大坪 陽

現在は、15人ほどの隊員で活動しています。病院事務や鍼灸師など医療職をはじめ主婦や添乗員といったさまざまな仕事に就く男女で、年齢も20～50代と幅広くなっています。自身に障害のある人や、子育て中のお母さんも参加しています。「自分にも何かができるのでは？」という思いを持ち、仲間と行動しようと集まっているメンバーです。

月会費は250円です。1カ月に1回例会を行い、

そこで年に1回以上は行くと決めているイベントの企画の話し合いや準備などを行っています。それぞれ違う環境で生活を送っているため、月に一度顔を合わせた際には近況報告や情報交換などで盛り上がります。

またCANの活動に際しては、ロータリークラブから知識面や資金面などでたくさんの支援をいただいています。それも大きな力となって、自分たちだけでは難しいであろう大きなイベントの開催、運営が可能になっていると思います。

地域の安全を守る

広島廿日市 R C C 委員長 佐伯 敬男



広島廿日市ゆうほ R C C が結成された背景には、広島市佐伯区八幡を拠点に、青少年健全育成、高齢者の社会福祉、地域の環境保全など多岐にわたり活動するボランティアグループ、八幡パイロットの存在があります。保育園や小学校などで腹話術の人形を使い、メンバーも役者になるなどオリジナルのシナリオで、不審者対策、犯罪防止の啓発活動などを行うボランティアグループです。敬老会などでは、お年寄りにも分かりやすい内容で、オレオレ詐欺、なりすまし詐欺、悪徳リフォーム詐欺を防ぐための寸劇をしていました。

その活動の会場にいた広島廿日市 R C の会員が、八幡パイロットのメンバーと親しくなり、話をしていくうちに「寸劇の役者に」と要望され、出演すると大変盛り上がりしました。その後「予算があれば、もっと腹話術用の人形や小道具をそろえて、地域を安心して安全な町にするため、今より幅広く活動してみたい」との声を聞き、それをクラブで検討したところ、「地域の役に立つことであれば、クラブとして応援していこう」と決定。2004年6月1日、広島廿日市ゆうほ R C C が結成されました。隊員 18 人で活動を始め、2004 年 7 月 27 日に R I か

ら認証され、現在に至ります。

活動資金として、広島廿日市 R C から年度初めに 12 万円を R C C に贈っています。人形など小道具の必要があれば理事会で協議して支援しています。敬老会などで寸劇をする時は、隊員と共にロータリアンも役者になり、高齢者の人たちに喜んでもらっています。地域のパトロールをしながらのごみ拾いも、R C C とロータリアンが協同で行います。クラブのクリスマス夜間例会や周年記念

夜間例会にも R C C の隊員が出席しています。

R C C と一緒に敬老会などに行くと、高齢者に喜んでもらえて、逆に元気をもることがあります。その中でロータリークラブの認知度が上がればよいと思っています。R C C も活動を始めて 13 年になり、隊員の高齢化や隊員数の減少もあり、活動も以前のようにはいきませんが、地域を思いがんばって支援しています。

(第 2710 地区 広島県)



広島廿日市ゆうほ R C C 副会長 植村恵理子

私たちは、40 ～ 70 代までの、全員仕事を持った女性集団です。隊員は現在 8 人。「できる人が、できるときに、できるだけ」をモットーに仕事の合間を縫って活動をしています。会費はありません。

主な活動は、保育園や幼稚園、小学校に出向き、万引き防止教室や防犯教室を行っています。腹話術人形のゆう君と一緒に、大型紙しばいや劇を通じて分かりやすく教えています。また、高齢者には振り込め詐欺

をはじめとしたあらゆる詐欺を、劇で面白おかしく、また心に残るよう工夫して紹介し、喜ばれています。

私たちは高齢者の集い、いきいきサロンや地域の公民館を通じて活動依頼を受けています。多いときは 1 日に 3 か所掛け持ちをしたこともあります。

この他、毎月 1 回ごみ拾いをかねて地域のパトロールと定例会を行っています。先日は、広島廿日市 R C とゆうほ R C C 連名で、のぼり旗と子どもたちやお年寄りに配布するボールペンを作りました。

ボランティアと被災者をつなぐ懸け橋に

半田南 R C 会長 鈴木 宏司

「ロータリーにふさわしく、地域住民に役立ち、これから必ず必要となる事業を行いたい」と活動のあり方を模索していた 1998 - 99 年度の半田南 R C の社会奉仕委員長が、日本福祉大学の森靖雄経済学部教授から、各自治体に災害時に駆けつけるボランティアをコーディネートする人のニーズがあることを聞きました。

そこでクラブは愛知県総務部消防防災対策室の指導を得て、半田市・半田消防署の協力で、ボランティアコーディネーターを養成する講座を開催。愛知県から派遣された講師による 1 クルー 5 回の講座で、はんだ市報で受講生を募集し、われわれも含めて三十数人が集まりました。その後、愛知県のサポートで、県の講師によるフォローアップ講座を開催しました。

2001 年にはこれらの受講生と社会奉仕委員会で、半田災害支援ボランティアコーディネーターの会を立ち上げ。以降、「災害支援ボランティアが駆けつけてくれた時、ボランティアと被災者をつなぐ懸け橋になる人」を育てるため、毎年講座を開催しています。

設立から 3 年がたつ頃、「いつまでも同じ事業を行っているのはおかしくないか?」「そろそろ支援を打ち切すべきではないか?」との意見が会員の中から出てきていました。しかし、発足当初からの目標「半田市の人口約 10 万人 (当時)、最低市民 100 人に対して 1 人のボランティアコーディネーター、1,000 人の修了生」達成には、この会を続けていく必要があると、社会奉仕委員会は半田市社会福祉協議会に登録。一番の問題となる運営資金の捻出のため、R C C の結成を検討しましたが、一度は断念。2003 - 04 年度になり、地区 R C C 委員会の事業報告書に感動した沢田信会長 (当時、以下同) が、半田災害支援ボランティアコーディネーターの会があることを豊島徳三ガバナーに話したところ、「すぐにでも R C C に申請してほしい」と要請があり、前田佳男地区 R C C 副委員長 (半田 R C) に助言をもらい、2004 年、R C C の承認を受けることとなりました。

現在、半田災害支援ボランティアコーディネーターの会 R C C は、ボランティアコーディネーター養成講座の

ほか、県から後援を受けて間伐材を、地元企業からはパール缶を無償で提供してもらい、震災時に一番課題となるトイレ問題に対応しようと、簡易トイレを作製、1 個 1,000 円で販売。また、半田市から家具の転倒防止取り付け工事の委託、地域の資源回収のお手伝いなどの資金と、半田



半田災害支援ボランティアコーディネーターの会 R C C 会長 菰田 義宣

当会は、災害発生後に訪れるボランティアと被災者を取り結ぶコーディネーターの養成を目的に、2004 年、R I から日本で 29 番目の R C C として認証されました。現在の会員は 40 ~ 80 代の男女合計 53 人の会員が在籍し、男性の職業はリタイアした方、女性は主婦の方が大半です。

普段は、防災・減災活動を各所からの要請により幼稚園や保育園児、小中高生、さらには一般の方を対象

に防災教室などを開催し、防災紙芝居、防災クイズ、避難所運営ゲーム (HUG) などを行っています。また、毎年 1 回養成講座を開催し、コーディネーターの養成と会員募集を行っています。当会の会合は、月 1 回の役員会と地区会を開催し、会員の年会費は 500 円で、活動費は半田南 R C、企業などの協賛を得て運営しています。

R C C として活動することにより、会の活動が地域に広く浸透し、年間 100 回以上の防災教室などを開催。防災意識の高揚に努めています。



南 R C の支援金、企業の協賛資金で運営資金を賄っています。ボランティアコーディネーター養成講座は、はんだ市報、会の広報誌『たんぽぽ』で発信し、毎回の修了生の中から会員を募っています。

会合や小学校体育館での避難所一泊体験など、R C C から要請があれば、半田南 R C 会員が毎回出席し、総会には半田市長に出席していただけるほど、行政から認識されています。

半田市赤十字奉仕団の団員もこの講座を受講して、R C C のメンバーになっているため、赤十字のノウハウを生かし、ハイゼックス(包装食袋を使った炊き出し)のご飯作り、緊急用担架作りなども講座に取り入れています。

また、災害緊急時の意識を高めるため、半田市内の学校で、生徒を対象に紙芝居などを使った災害・防災の勉強会を開催したり、卓話に出かけたり、避難訓練などを開催したりしています。近隣市町の災害防災ボランティアとも協同して活動もしています。

昨年 7 月の九州北部豪雨では、災害から 2 カ月後に福岡県朝倉市に災害支援ボランティアコーディネーター

を 2 人派遣しました。

半田南 R C の最近の支援としては、地区補助金を利用し、R C C と半田南 R C の名前の入った隊員用ベスト、災害支援ボランティア受付本部テント一式を提供し、公共イメージ向上につなげています。今年度は、ボイスウォーカー（ハンズフリー拡声器）2 台、プロジェクター 1 台を支援。さらに 5 年に一度のはんだ山車まつりで祭りテント一張りを借用し、R C C と協同して P R を行いました。R I のウェブサイトの R C C 紹介コーナーの中で紹介されていることは、当クラブの誇りであり、会員の励みとなっています。

R C C には、半田南 R C の会員や発足の火付け役の森教授も顧問におり、連携はうまく取れています。しかし、クラブの事情で R C C の支援体制が困難となった場合、自立できるか？ R C C をどのように持っていくのか？ クラブ会員の R C C に対する認知度低下などの不安要素もありますが、半田南 R C も R C C も次の世代にいかに引き継ぐかが今後の課題だと思います。

(第 2760 地区 愛知県)

苦小牧家庭生活カウンセリング協会 R C C

人の悩みに寄り添う

苦小牧北 R C R C C 委員長 山崎 肇

苦小牧家庭生活カウンセリング協会 R C C は、22 年前に苦小牧北 R C が提唱して結成しました。主な活動は、電話で悩み事を聞き取り、相手の気持ちに寄り添って共に考え、共に解決を目指して援助することです。

現在 50 人を超えるメンバーがおり、ベテランのカウンセラーやカウンセラーの認定資格 1 ～ 3 級取得者も多く在籍し、週 3 日の電話受付に対応しています。以前から続けて

いるスクールカウンセラーに続いて、今年度から、北海道警察の委託による犯罪の被害者相談も本格的に始動し、一層、地域になくてはならない存在になっています。

(第 2510 地区 北海道)



岡山中央RCC

高齢者と地域を結ぶ

岡山中央RCC代表 山下 弥生

岡山中央RCCは1993年、岡山中央RCが提唱し、結成されました。月2回の例会と、年に1回の「岡山高齢者セミナー」を開催。また、高齢者施設で化粧療法や生け花を行ったり、喫茶の活動を手伝ったりするなど、地域に密着した活動を行っています。

最近では、子どもたちが学校で使う雑巾が不足しているということから、雑巾を学校などへ寄付する、岡山中央RC主催の「雑巾プロジェクト」に協力。雑巾を高齢者と一緒に製作することで、高齢者の社会参加意識や世代間交流、生きがい生まれています。今後

も隊員17人、岡山中央RCの支援を受け、高齢者と地域とを結ぶボランティア活動を続けていきます。

(第2690地区 岡山県)



さくらんぼ育成会RCC

地場産業で子どもの自立支援

瀬戸RC奉仕プロジェクト第二委員会委員長
田中 靖達

瀬戸RCが提唱する、さくらんぼ育成会RCCは2013年7月1日に結成されました。これまで、瀬戸市立瀬戸特別支援学校の児童、生徒たちに対し、地域文化の継承や健全育成を目的に、瀬戸の地場産業でもある窯業を通してさまざまな事業を行ってきました。

瀬戸RCは、さくらんぼ育成会RCCの活動がより

大きく展開できるように活動予算の確保や学校、PTA、各種団体との調整を行っています。また2014年に瀬戸市で開催された「第19回来る福招き猫まつり in 瀬戸」では、子どもたちが陶器に絵付けした作品をチャリティーバザーのブースで一般来場者に販売し、その収益金をポリオプラス基金に寄付しました。このバザーでは瀬戸

RCの会員も一緒になって販売したことで、ロータリアンとRCCとの絆がより強くなりました。小さな組織の小さな活動が世界規模の大きな役割の一翼を担ったという充実感を学校、PTA、そして何より子どもたちと分かち合えたことが大きな収穫でした。

この活動で子どもたちがより豊かな人間性を身に付けるとともに、社会体験を通して将来の夢を大きくするものと確信しています。

(第2760地区 愛知県)



さくらんぼ育成会RCC

さくらんぼ育成会RCCは、瀬戸市立瀬戸特別支援学校(愛称:さくらんぼ学園)のPTAによって設立。隊員はPTA会長をはじめ10人です。

瀬戸の地場産業である窯業を活動の中心に置き、子どもたちと一緒に絵付けから始め、現在は地元の陶器会社の支援を受け、オリジナルの猫の鉢カバーを作っ

て販売しています。11月にはこれを花苗とセットにして「まるっとせとつ子フェスタ」で販売しました。今後は販売機会を多く設け、自主的で、自立できる活動を目指しています。

5年間の活動を通して、地場産業の底力と、障害のある児童生徒が社会的自立に向かって飛び立とうとしている姿を見守っています。



第46回 ロータリー研究会レポート

ロータリー：変化をもたらす 日本をどう世界に発信するか

今回のロータリー研究会がいつもと異なっていた点の一つに、研究会理念「日本の心をどう世界に発信するか」が掲げられていたことがあります。

昨年度のロータリー研究会では、2016年4月に行われた規定審議会の結果について、変更した部分はどこなのか、どのように変更したのか、また変わらない部分はどこなのか、と一つ一つ確認していくことに多くの時間が費やされました。

1年たった今回は、それらを消化した上で、採り入れるべきところは採り入れるものの、日本のロータリアンが敢えて変化を取り入れることなく大切に守っていることや、日本のロータリーの良さを世界に積極的にアピールしていくことも大切なのではないかと、国際ロータリー(RI)の動きを最前線で肌で感じている斎藤直美RI理事と石黒慶一RI理事の思いが込められているように感じました。

「いろいろなところに行かれるし、多くの人と知り合えるので地区大会やロータリー研究会は大好き」というイアンH.S.ライズリーRI会長は、今回が2度目の来日で、ロータリー関係では初めてだとのこと。開口一番に「日本での会員増強が成功しつつあることをお祝いしたいと思います」とアメリカ、カナダ、オーストラリ



斎藤 直美RI理事



石黒 慶一RI理事

アをはじめとしたロータリー先進国で、会員減少の底が見えない観が漂うのに対し、少しずつではありながらも継続的で着実な日本の増強を評価しました。

そして、クラブがより効果的な活動を行っていく上で、会員の年齢と性別に鍵があると述べました。

「クラブは多様性を持たなくてはなりません。現在の一般的なロータリークラブは健全な社会より、高齢化が目立ちます。地域社会で活躍してくれるリーダーに会ってもらい必要があるのに、現実はどうでしょうか。また、ロータリーの会員は男性だけという固定観念も覆さなければなりません。現在、世界の女性会員数は全体の約21%です。女性がクラブに入れば、活動の幅が広がり良いことばかりです。そういう意味で、会員増のチャンスが日本にはまだまだあります。会員に多様性があるクラブは、他の組織では成し得ないような活動ができます。そして変化をもたらすため、ロータリーが存在するコミュニティは良い場所だと言えます」と単なる会員増ではなく、クラブに多様性をもたらすような会員増強を行うよう訴えました。

さらに、さまざまな地域でロータリークラブが素晴らしいプロジェクトで変化をもたらしているにもかかわらず、それが一般社会に伝わっていないことを指摘。ロー



イアン H. S. ライズリー氏



ポール A. ネットェル氏

タリーの活動を行うことにより、個人的には充実感を得ることができ、「その充実感は数字で表すことができない」としながらも、客観的な数字、価値で表し、ロータリーの価値が一般社会に伝わるように、年度末までに、各クラブで奉仕活動に費やした時間や寄付額などの価値を具体的な数字を R I に報告するよう要請しました。

新会員の良さを生かしていくのがロータリー

今回の研究会では 2 日にわたって、多岐にわたる話題が 3 回のセッションにわけられて報告されました (P 23 プログラム参照)。各セッションの後に質疑応答の時間が設けてあり、制限時間に収まるテンポ良い発表に続き、質疑応答でも、会場のあちらこちらから小気味良く手が上がり、全てのセッションが時間切れで質問できない人が出るほど活気にあふれていました。

特に第 3 セッションの、クラブ運営の多様化については、実際の取り組みや現実的な質問も多く出されました。「新しくできたクラブの例会に行くと、ロータリーバッジも着けず、ネクタイもシャツも着用しない、今までのロータリーならば考えられなかったような会員がいて、意識の断絶を感じます。どのようにコミュニケーションをしていけばいいのか分かりません」。これに対してモデレーターの若林紀男氏は「問題とになっていることに対し双方で話し合いができれば、より良い解決策が導かれると考えられます」。また、松宮剛元 R I 理事からは、「クラブにおいては新会員を受け入れた後の対応が大切です。受け入れて、その会員の良さを生かしていくのがロータリーの多様性ではないでしょうか」とアドバイスがありました。

斎藤 R I 理事が、R I 理事会近況報告の中で、最も気になることのひとつとして挙げたことがあります。「昨年度、

R I 本部に、奉仕活動がしくてロータリーに問い合わせをしてくる若者が 1 万 3,000 人もいました。彼らはロータリーに興味があるわけではなく、奉仕活動がしくて連絡してくるのです。若者にとってロータリーはどのように認識されています。彼らをどのように受け入れるかを私たちは考えなくてはなりません」。ロータリーに入会する動機が今までとは異なる新会員をどのように受け入れ、その人たちの良さを生かし、そしてクラブの多様性を広げていくか。これからの可能性と課題が明らかになりました。

寄付金ゼロクラブがゼロになった快挙を誇りに

ロータリー財団管理委員長のポール A. ネットェル氏は、日本のロータリーの達成を褒めたたえました。その達成とは、2016 - 17 年度、ロータリー財団への年次基金寄付ゼロクラブが日本でゼロになったこと (『友』2017 年 10 月号横組み P 33 参照)。この快挙に会場からは「私たち、日本のロータリアンはもっと誇りに思ってもよいのではないか」という声が聞こえてきました。次の課題は、寄付ゼロクラブがゼロの状態をどのように維持していくかということになりそうです。

財団に関しては、管理委員である北清治氏から、日本には D D F (地区財団活動資金) を繰り越している地区が多いことに対し、補助金プロジェクトへの活用やポリオ撲滅やロータリー平和センターへの寄贈などで有効活用を呼びかけました。また、今年度に入り日本でアーチ・クラフ・ソサエティの入会者が 5 人と劇的に増えてはいるものの、韓国や台湾と比べ、まだ少ないことが指摘されました。

最後のオープンフォーラムでは、会場から「ポリオが撲滅した後、ロータリーが次に何に取り組むのか決まっているのですか」という質問が出されました。ライズリー R I 会長は「今の段階ではまだポリオの発症があるので撲滅活動に取り組むのが先決です。しかしポリオの発症



第46回 ロータリー研究会 主なプログラム

とき 2017年11月22～23日

場所 グランドニッコー東京 台場

参加者 国際ロータリー現・元・次期役員ならびに配偶者、ガバナー補佐、その他シニアリーダー 計594人

11月22日

- ・開会式
- ・各種報告、RI委員紹介
- ・基調講演1「ロータリーに変化をもたらす」
RI会長 イアンH.S.ライズリー
- ・基調講演2「ロータリー財団の新世紀に向けて」
財団管理委員長 ポールA.ネツェル
- ・第1セッション モデレーター 酒井正人PG
「日本のロータリー100周年を迎えてもう少しの努力」
東京RCが創立100周年を迎えるに当たっての歴史と意義を考える（東京RC会長 森田富治郎）／ポリオ撲滅最終年を迎えて（ポリオ撲滅ゾーンコーディネーター 松本祐二）／財団寄付ゼロクラブゼロを達成できたが、今後どのように維持していくか（岡部一輝PG）／ロータリー平

和フェロー、米山記念奨学生をどう育てるか（若林紀男PG）／日本のロータリー100周年のアンケート報告（水野功PG）／総括 斎藤直美（RI理事）

- ・第2セッション モデレーター 田中正規
「日本の元気なクラブ」

滝川RC会長 山口清悦／東京米山友愛RC特別代表 関博子／大阪南RC元会長 藤井眞澄／総括 小沢一彦（元RI理事）

11月23日

- ・第3セッション モデレーター 若林紀男PG
「変化をもたらす日本のロータリーの将来ヴィジョン」
COL決定を踏まえてクラブ運営の多様化の方向性（横山守雄PG）／青少年育成にどう立ち向かうか（舟木いさ子PG）／世界と日本の職業奉仕観念の違いについて（刀根荘兵衛PG）／総括 黒田正宏（元RI理事）
- ・オープンフォーラム
- ・記念講演 「脱・優等生」が切り拓くニッポンの未来
慶應義塾大学先端生命科学研究所所長 富田勝氏
- ・閉会式

がなくなって3年後に考えるというのでは遅過ぎます。現在、小委員会が次の取り組みの可能性について調査しており、今年度末までにその案が提出される予定です」と回答。どのような取り組みになるにせよ、トップダウンで決めるのではなく、またそのプロセスを明確化していく必要があると強調しました。また、「グローバル補助金の申請の方法が難し過ぎる」、「GSE（研究グループ交換）の復活を望んでいます」など、奉仕の現場に立つ声が続々と上がりました。

最後に行われた記念講演の間、日本でロータリーに関わる若者と話をしたいというライズリー夫妻の希望で、国際基督教大学の平和センターで学ぶロータリー平和フェローと、日本在住の米山学友との懇談会が開かれました。インド、カナダ、ガンビア、バングラデシュ出身のロータリー平和フェロー4人と、アメリカ、中国、ネパール出身の米山学友4人は、それぞれの研究内容や現在の活動を紹介し、ロータリーへの感謝を伝えました。「皆さんの多彩な経歴や目標はとても興味深く、元気をもらった」とライズリー会長。ジュリエット夫人も交えて、文化論、ジェンダー論など話は尽きず、若いフェローや学友にとっても有意義な機会となりました。

最後に、いつものロータリー研究会と異なる点にもう一つ気付きました。それは、例年より多くの配偶者（主にご夫人ですが）の方たちが、研究会にも参加していたことです。「配偶者の方々にも本会議や晩餐会に出ても

らい、ロータリーのことを学んでもらおうと今回は配偶者プログラムは企画しない」という石黒RI理事の作戦は大当たり。研究会の発表に熱心に耳を傾けていた遠軽RC（第2500地区）の東海林勉^{とうかいりん}会員夫人の真美さんは、「今回初めて研究会に参加しました。このような場でロータリーのお話を聞くと、RIがいかに明確なビジョンを持っているのか、他のクラブではどのような活動をしているのかなどを詳しく知ることができ、大変勉強になりました」と語り、研究会が終わると、今回初めて知り合ったという奥さまたちに「来年の神戸の研究会でもお会いしましょうね!」と声を掛け、会場を後にしていきました。

変化をもたらすために、ロータリークラブが強く発展していくには、ライズリーRI会長をはじめ発表者は会員・クラブの多様性の大切さを口々に強調しました。しかしロータリーに多様性を加えるのは、新しく入会する女性会員や若い会員だけではなく、会員の配偶者の方々も大きな鍵を握っているかもしれません。

斎藤RI理事は開会と閉会のあいさつで、「今回の研究会は、あくまでも素材の提供の場です。その素材を生かすのは、皆さん次第です」と述べました。その素材はどのように形を変えてクラブに行き渡るのでしょうか。

なお次回のロータリー研究会は、2018年11月20～21日（ロータリー財団セミナーは18日）に神戸で開催されます。取材：『友』編集長 野崎 恭子

続けよう、復興支援！

ベルギー大使館前で「福島マルシェ」初開催

東京麹町RC／福島南RC

11月3日、東京都千代田区・ベルギー大使館前の広場（ベルギースクエア）で「福島マルシェ」が開催されました。福島県の農業協同組合（JA）からの新鮮な野菜や果物、県のアンテナショップ「日本橋ふくしま館」からの特産品、飯館村の村民手作り製品などがズラリ。初の開催でしたが、午前10時の開始直後に多くの人たちが来場し、午後2時終了の予定が12時前に完売。うれしい誤算の、大成功に終わりました。

主催は福島県の農協、漁協、行政などで構成する地産地消運動促進ふくしま協同組合協議会。福島県の農産物は、米は全て放射性物質の検査を行い、野菜や果物も検査をクリアしたものだけを出荷。情報発信も続けていますが、いまだ出荷制限や風評被害の影響を受けています。

福島県関係者も多く来場したこのイベントを支えたのが東京麹町RC（ロータリークラブ）、福島南RC、そしてベルギー大使館。今年度創立50周年を迎えた東京麹町RCが実施する複数の記念事業の中でメインイベントとして行いましたが、さまざまなロータリーの「縁」

がこのイベントの実現につながりました。

震災直後に姉妹クラブ締結……飯館村の支援を

両クラブの関係は、東日本大震災直後にさかのぼります。被災地支援を模索していた東京麹町RCの会員3人が、第2530地区（福島県）のガバナー事務所を相談に訪れました。姉妹クラブになれば活動がしやすいと、当時の大橋廣治ガバナーが所属する福島南RCと2011年10月、姉妹クラブを締結。「ガバナー年度が半分過ぎてホッとしていたところに震災。1日1ドルで生活しているような国からも支援が来て、あの時ロータリーは本当にすごいと思った。4～5組、姉妹クラブ締結に関わりましたが、今もこうして東京麹町RCさんと連携して復興事業ができるのは素晴らしいことです」（大橋パストガバナー）。「東京にいる僕たちは状況が分からず、勝手に物を送っても無駄になるかもしれない。福島南RCさんと、地元のニーズがはっきりしたら事業を始めましょう、というところから始めて、毎年、協同事業を行うようにな

①開始前、東京麹町RC・久保田智也会長のあいさつ ②福島南RCは飯館村の物産販売を担当 ③大使夫妻に「なつはぜジャム」を紹介する福島南RC・横山りつ子会長（左） ④横山会長宅で2年半ホームステイした米山学友グエン・ティ・ティエムさん、⑤同じくチャン・ティ・チャンさん（右）も来場。左は須藤仁地区米山奨学委員（東京麹町RC）、中央は梁一強ロータリー米山奨学学生校友会（東京）理事長。輪が広がります



りました」(東京麹町RC姉妹クラブ・東日本大震災復興支援特別委員長の佐藤茂会員)。

6年間、両クラブは放射能汚染被害の大きかった飯館村を支援してきました。避難先の小中学校に図書などを贈り、共に村の除染作業現場も視察。東京麹町RCは老人ホームに物資搬送車両の寄贈、会員が「福島応援産直ボックス」を購入して食すなど、東京からの支援を続けてきました。

さまざまな縁がイベント実現へ

さらなるロータリーの縁が「福島マルシェ」につながります。ベルギーの駐日特命全権大使ギュンテル・スレーワージェン氏とラヘル夫人は東京麹町RCの名誉会員。福島に現状に心を痛めていた夫人と、佐藤会員の娘さんと、震災当時福島県に勤務していた齋藤真莉子さんが、去年の例会時にアイデアを話し合ったのが、このイベントの発端となりました。

開催許可が困難を極めるため、ベルギースクエアでイベントが開かれたことはなく、東京都、ベルギー大使館、建物管理企業の許可を取るため、東京麹町RCの担当会員は書類申請に奔走。千代田区にも掛け合い、掲示板などで告知も行いました。福島の特産品の手配は、福島南RCのネットワークが功を奏しました。「県庁に開催のあいさつに行ったら、副知事が福島南RC会員の同級生。JAさんとの交渉は日本料理店経営の横山りつ子会長にお任せするなど、あちこちで福島南RCさんの地縁に助けられました」(佐藤会員)。

販売物は会場近くの地引恒夫会員所有のビルに保管し、当日会場に運んだため、倉庫の準備は不要でした。現地の手配は東京麹町RC、販売物手配は福島南RCという連携は、6年の協同事業で培ったノウハウと、納涼会などで親睦を深めてきた会員同士の親睦の成果。そして多方面にアンテナを持つ会員、家族の縁がイベント成功に導きました。ベルギー大使館は表通りから離れた閑静な場所にありますが、あっという間に人が集まり完売した光景に、ロータリーの底力を見るようでした。

奉仕の後は親睦で。広がるロータリー家族の輪

気持ちよく売り切った後はお待ちかね、大使館でのレセプション。「入場できるのは事前登録者だけ」という



⑥レセプションで。東京麹町RCの会員家族・齋藤真莉子さん(中央)とラヘル・スレーワージェン大使夫人が急きょ、あいさつ。「来たら完売していたのでビックリしました」(真莉子さん)

セキュリティの厳しい館内に、皆さん少々緊張した面持ちで入館。スレーワージェン大使夫妻を東京麹町RCに紹介した第2580地区・浅川皓司パストガバナーの乾杯を合図に部屋の仕切りが外されると、色付き始めた紅葉の美しい中庭をバックに料理が現れ、ワットと歓声が。休日にもかかわらず、この日のために大使館専属のシェフが、持ち込まれた福島県の食材を使った料理を振る舞ってくれました。ベルギービール、チョコレート、福島県からの極上の日本酒も並んで……。「ここは治外法権なので、飲み過ぎには気をつけて!」。東京麹町RC・久保田智也会長の言葉を聞いたか聞こえなかったか、たちまちビール前に行列が。会員の子どもたちは中庭で遊び、ロータリー家族の和やかな交流の輪が広がりました。

「ロータリーは物を寄贈しても『その後どうなったのか』というフィードバックが弱い点がありますが、地元とツーカーでつながるクラブにお願いすれば交渉も速いし、事業後の様子が分かる。それを通して僕たちもあちらの地元とつながり、やる気も増します。『福島マルシェ』も福島南RCさんがいなかったら実現しなかった。運動体として、いい関係を築いていると思います」(佐藤会員)

「福島食品は安全」。PRを続けてきた福島県の努力の成果は今回の完売に表れていましたが、県関係者の話では風評被害が無くなったとはいえ、継続的な支援が必要とのこと。一部を除き避難指示が解除された飯館村では、4月の小中学校再開に向けて準備が進みます。両クラブの連携を生かした支援は、今後も続きます。

(第2580地区 東京都/第2530地区 福島県)

取材:『友』編集部 山名 愛

歩こう！——ウォーキング大会に携わって

健康のため、地域の歴史と触れ合うため、交流の場として……全国各地でウォーキング大会が盛んに行われています。ロータリークラブ（地区）が関わっている大会も多くあります。ここでは3つの大会について紹介します。

クラブが育てた事業が大きな大会に——「こころの遠足」100キロウォーク

小倉東RC 川本 如寛

10月7～8日、行橋～別府100キロウォーク実行委員会主催、小倉東ロータリークラブ（RC）、大分県別府市、福岡県行橋市後援で「第19回行橋～別府100キロウォーク」を開催。参加者4,664人のうち

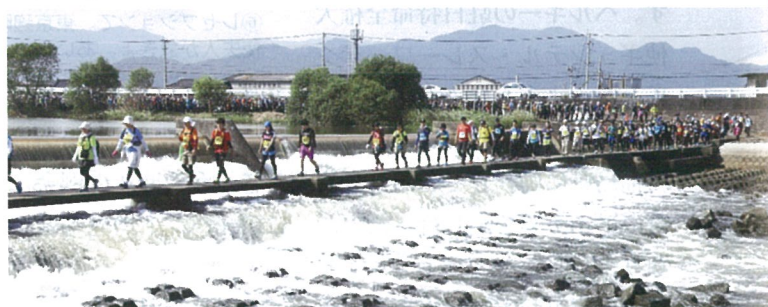
3,433人が完歩（完歩率73.6%）しました。

第1回は小倉東RCの主催で1999年、参加者44人で始まりました（完歩率45%）。ある高校教師が行っていた前身の大会が中止となり、参加者であった私自身が歩きたくて、クラブの仲間と共に始めたのがきっかけでした。翌年は123人、第3回は231人と年を追うごとに参加者が増え、数年後には実行委員会が発足、現在はクラブが後援する形で続いています。

26時間以内のゴールを目指し、7日の正午に行橋駅近くの正八幡宮をスタート。混雑回避のため、1時間15分かかけ時間をずらして出発します。序盤は川辺、海辺、田園などのどかな景色が続く、車や信号などに邪魔されず気持ちよく歩けるコース。練習を積んで臨んだ人にとっては余裕で、ルンルン気分で写真班にポーズを取るなど、大人の遠足気分です。

日が暮れる頃から状況が変わってきます。口数も減り、ヘッドランプの明かりで足元だけを見つめて進み、やっと福沢諭吉ゆかりの中津36km、宇佐神宮の宇佐61kmと、チェックポイントにたどり着きます。この61km地点ま

でにリタイアする人が半数以上出ます。ここから峠が3つ。疲れが限界を超えます。大会に出た自分を恨んだりもします。その苦難の道のりが10時間以上も続き、やっと迎えたゴールで一気に解放される瞬間、何とも言えない感動に包まれます。この感動が口コミで広がり、ボランティア（約600人）が自主的に集まり、一所懸命に歩く人たちを心から応援します。道中、仲間同士で励まし合い、新たな縁ができ、周りの人たちのおかげで自分が生かされていることを感じたりもします。大会テーマは「こころの遠足」、そして「歩禅」です。



今回の最高齢完歩者は、何と90歳。記録を更新しました。24時間58分の見事な完歩。65歳の息子さんと、この方の参加に感銘を受け同行した4人の看護師たちの「こころの遠足」でした。ちなみに最年少は親御さんと一緒に歩いた小学4年生（9歳）でした。

この大会では、参加費の払い込み時に任意で寄付金を募っています。当初からポリオプラス基金に寄付をしていますが、2016年からはこれに加え、東日本大震災や熊本地震などの復興支援として義援金を納めさせていただきました。

毎年、テレビで24時間マラソンの感動シーンが見られますが、この感動に勝るとも劣らないドラマが頑張って歩いた全員に生まれます。寝たきりで一人で食事もできず、言葉も発せない重度のうつ病の女性が1年で元気になったり、不登校だった高校1年生が出場を機に立ち直り大学に合格したり、ゴールした男性が完歩証を受ける前に、彼女に求婚したり……。数え切れない素晴らしいドラマが生まれています。

さあ、次はどんなドラマが？（第2700地区 福岡県）

このドラマをつづった感想文集を毎回発行しています。ご希望の方は小倉東RC宛て、電子メールでご一報ください(ke@rid27.jp)。



歩くポリオ撲滅キャンペーン——日本スリーデーマーチ



第 2570 地区ポリオプラス委員長 中川 正明(東松山RC)

当日、主会場に設けられたステージ上で出発式が行われ、午前 10 時の出発前、真下和男・高柳育行両パストガバナーをはじめ、総勢約 100 人のロータリー関係の参加者が出発の氣勢を上げました。真下パストガバナーはあいさつで、ロータリークラブの使命や「End Polio」の意義を、一般参加者に分かりやすく説明。赤の T シャツともども、深く印象付けられたことと思います。昼食は森林公園のバーベキュー会場で、各国からの青少年交換学生、派遣候補生、米山奨学生にロータリアンが加わって、交流を深める場となりました。第 2770 地区青少年交換委員会からも米山奨学生を含めた 40 人以上が参加、例年以上に盛り上がりました。ウォーキング中も「赤い T シャツの団」として目を引いたと思います。

各自午後 2～4 時ごろゴールしましたが、全員そろったところで大勢の参加者が休憩する広場前のステージに再び上がり、記念撮影。スリーデーマーチでのポリオ撲滅キャンペーンを終了しました。(第 2570 地区 埼玉県)

11 月 3～5 日、東松山市で「第 40 回日本スリーデーマーチ」が開催されました。5～50km のコースを 3 日間かけて歩くもので、今や世界的にも認められ、日本全国のウォーキング愛好者だけでなく、毎年 100 人超の外国人が参加。遠くはヨーロッパから、近くは韓国、台湾からと、国際色豊かな大会です。今年は第 40 回記念大会ということで特に参加者が多く、主催者発表では 10 万 998 人(うち外国人は約 170 人)でした。

例年通り、地元の東松山 RC は大会協賛と血圧測定奉仕で協力、東松山むさし RC は障害者や車いす利用者などが参加する「ゆっくりウォーク」のサポート、また 2 クラブで全参加者が着けるゼッケンを寄付しました。

また当地区では今年度からポリオプラス委員会が発足。2 クラブは今回、さらにその活動に協力する形で取り組み、ロータリー関係の参加者は 2015～16 年度に作った「End Polio Now」の T シャツを着て 10km コースをウォーキングすることにしました。



支援して 30 年以上——たてばやしウォークラリー

館林東 RC 会長 橋田 三造

体育の日の 10 月 9 日、家族や仲間で作るチームごとに、指令書を頼りにゴールを目指す「第 33 回たてばやしウォークラリー」が、館林市の城沼陸上競技場を発着点に行われました。市教育委員会、市体育協会、朝日新聞社、館林東 RC が主催。当日は暑いほどの快晴の下、570 人の参加者が約 6 km の「チャレンジコース」と約 4 km の「ふれあいコース」に分かれて歩き、汗を流しました。グループごとにゴールまでの所要時間と、クイズやゲームの総合得点を競います。入賞チームには豪華賞品、参加者全員に参加賞が贈られました。

現代の私たちは近代文明の恩恵を受ける半面、歩く機会が減り、その結果として運動不足に陥り、高血圧、高脂血症、心臓病などの成人病を助長しているといわれています。

人間の最も基本的な動作である「歩く」ことの大切さを考え直し、体力づくりはもとより、市内の名所・旧跡を散策することで郷土を再確認し、歩く楽しさを味わえる大会として 1984 年にスタート。同年創立の館林東 RC は、当初から協賛、後援してきました。これからも奉仕の理想を模索して、歩み続けます。

(第 2840 地区 群馬県)



World Roundup

世界のロータリーニュース



スペイン

世界的に有名な観光地コスタ・デル・ソルとジブラルタルの間にあるラ・リネア・デ・ラ・コンセプションは、タバコの密輸、薬物や、アルコール中毒などの問題がまん延しています。「新しい家」という意味の Nuevo Hogar Betania は、一時的ではありますが、犯罪が頻発する路上生活からホームレスの人々を保護しています。最大 70 人を収容し、何百もの人々に食事を提供するこの施設の設立には、ロータリアンが重要な役割を果たしました。

マルベリャ・グアダルミナ RC は、この保護施設のシャワールームに温水機能をつけようと 3 万ドル（約 336 万円）相当の太陽パネルを設置するプロジェクトを 2013 年に開始。セウタ RC、ジブラルタル RC、ベナアビス・コスタ・デル・ソル RC の協力を得て、2016 年にプロジェクトを完了しました。この「新しい家」でしかシャワーに入れない利用者も数多くいます。「虐待を受けている女性やその子ども、人身売買の被害者、社会復帰中の刑務所出所者など、260 人もの人々に食事を提供している」と、マルベリャのロータリークラブの会員、マルティーナ・スパン氏は話します。

マルベリャのロータリアンは今後も支援を続けていく予定です。会員たちは、休暇になれば車に山ほど積んだ食べ物を入居者に配り、アンダルシアの貧困地域に暮らす人々へ、希望の光を投げかけています。

—ブラッド・ウェバー

ラ・リネア・デ・ラ・コンセプションの失業率はスペイン平均の 2 倍の 35% に上ります。



南アフリカ

知的障害、身体的障害のある人々もアスリートと同様に体育祭に参加できることを証明しようと、昨年 5 月、体育祭の指導者を支援するため、サントン RC はインターアクターに協力を呼びかけました。ヨハネスブルクの 6 つの学校とケアセンターから、100 人もの青少年と大人がサッカー、バレーボール、ボッチェ（細長い土のコートで行われるイタリアのボーリング）、綱引きに参加。「私たちのロータリークラブは地域社会で支援を必要としているあらゆる人々のためにありますが、それが弱者や疎外された人々であればなおさらのこと」と話すのはエドナ・ムガー・ムチュア会員。「障害のある子どもや大人が笑顔になるのを見て、私たち、またインターアクターたちも、与えることでより多くのものを与えられているのだ、ということに気付かされました」

2013年にアメリカ人が廃棄したごみの量は2億5,000万トン。そのうち28%が金属、プラスチック、木製ごみです。



アメリカ

アメリカ・マサチューセッツ州中東部のナショバ・バレーRCでは2014年から毎年9月に、会員たちが修理屋となり、洋服からランプ、エアコンまで、いろいろなものを無料で直しています。「学校のカフェテリアのスペースを借りて、持ち込まれた故障品をただで手直しします」と、レイ・プファオ会員が説明します。持ち込まれる品物の3分の2が使えるようになると思得意顔。「持ち物を使い続けられ、節約でき、ごみの量も減らせます。壊れたら捨てて新しいのを買えばいい、という風潮をなくしたいのです」



タイ

プレーRCの移動式診療プロジェクトは、2016年に開始して以来、タイ北部の5つの村の住民約400人を対象に、健康診断や軽い病気の治療などをしてきました。毎回、20人強のボランティア（その半数はロータリアンで、薬剤師や看護師、クラブ会長で医師のナッタニン・サスタワニッチ氏を含む）が人里離れた会場に集まると、元クラブ会長のナラッタ・シーナムジャン氏が話してくれました。「このプロジェクトでは高血圧症や血糖値、BMI（肥満度指数）のチェックなどの基本的な健康診断と、歯科診療の提供を目的としています」。このクラブを象徴する訪問診療プロジェクトでは、疾病予防や心肺機能蘇生（CPR）の講座も開催され、参加者が増えています。



ペルー

ペルー南部の町、タクナのロータリアンがペルー独立記念日を手料理で祝いました。7月28～30日の独立記念祭に行われた、3日にわたるグルメフェアでタクナの全クラブ（タクナRC、カブリーナRC、ミクラ・タクナRC、サン・ペドロ・デ・タクナRC、タカナタクナRC）は、ピカンテ・ア・ラ・タクネーニャ（煮込み料理）など地元の名物料理を提供。ポリオ撲滅のために550ドル（約6万円）の寄付を集めました。資金集めだけでなく、クラブの知名度も上がり、食欲も満たされ、地元ロータリアンの交流にも役立つイベントだった、とタクナRC会長のカルロス・ミランダ・セバージョス氏は話します。5クラブの会員が一堂に会するのはこの集いが初めてだったそうです。

米山記念奨学事業 50 年のあゆみ ③

—— 1970 年代 ——

カウンセラー制度の誕生

財団化を果たしたものの、専任スタッフもいないまま 2 年が経過しました。1970 年によく事務局開設のめどが付き、一刻も早く軌道に乗せたいとの思いから前倒して仮事務所を開き、初代事務局長を引き受けたのが、米山記念奨学会常務理事（後に同専務理事）の塩原禎三氏（東京 R C）でした。塩原氏は改めて膨大な事務量に驚くと同時に、この事業に大きな将来性を見だし、事務局の仕事にしばらく専念する覚悟を決めました。

米山記念奨学事業の特長の一つ、カウンセラー制度が設置されたのも 1970 年でした。時は学生運動の最盛期、全国の大学で暴力的衝突が日常化していました。授業はしばしば中止され、困り果てた奨学生たちのため、特別措置として奨学期間延長が認められたほか、奨学生一人一人に相談相手をつけて困難を解決しようと始めたのが「カウンセラー制度」でした。1959 年に設置された「世話クラブ制度」と併せ、ここに事業の核となる「世話クラブ・カウンセラー制度」が整い、単なる経済的支援に終わらない“心を育てる国際奉仕”が確立したのです。

とはいえ、全てのクラブ、会員が奨学生と接することは難しく、寄付や奨学金の授受だけに終われば、いずれ不満

が噴出すると考えた塩原氏は、奨学生や会員の意見を載せた広報誌を発行し、表彰制度で会員の関心を高めるなど工夫を重ねました。しかし 1974 年秋、今に続く制度の道筋をつけた氏は病に倒れ、帰らぬ人となりました。

学友会結成に向けて

1978 年には、初めて特別寄付金が普通寄付金を上回り、同年、特別寄付金に対する免税措置が認可されたことにより、さらなる寄付の促進が図られました。この年、奨学生の採用数は年間で 20 の国・地域から 239 人、累計で 1,103 人となりましたが、その半数以上が台湾出身者、次いでベトナム、韓国の順で、まずはこれらの国・地域での同窓会組織誕生が望まれるようになりました。

台湾では、台北市のロータリークラブの世話で何度か結成の動きがあったものの、正式な発足に至らず自然消滅。1979 年には韓国・ソウルで国際ロータリー（R I）のアジア地域大会が開催され、日本から参加した会員のために韓国の学友が歓迎会を主催し、一同を感激させました。これを契機に韓国でも同窓会組織が一時結成されたようですが、政情不安により立ち消えとなってしまいました。しかし、この後 80 年代に入り、国内外で同窓会組織、すなわち学友会結成の動きが本格化するのです。

東京 R C 会員

1967 - 70 年度
米山記念奨学会常務理事

1970 - 74 年度
米山記念奨学会専務理事

故・塩原 禎三 さん

（以下、1970 年 3 月発行、月刊『よねやま』第 5 号から抜粋）



この事業は、奨学生、指導教官、世話クラブ、そして全国のロータリークラブが一体となって初めて成果を挙げるものである。もし、そのままに放置されたとするならば、三者の間には、数少ない例外を別とすれば、血が通うことなく終わるであろう。それはまた、

ロータリーと米山奨学事業を疎遠にし、奨学会は何をしているのだという非難は、各地のロータリークラブの不満となって、その離反をすら予想されるものであった。

みんなで考え、みんなで動くために、意思の疎通を図り、情報を交換するためにパイプを敷くことを考えた。少しずつパイプが敷かれるごとに、事業がそれだけ生々として動くことを発見した。自信があるわけではない。しかし、連絡役ぐらいいは務まりそうである。連絡が密になり、関係者の間に共通の場ができ、有機的活動が可能になれば、米山記念奨学事業は一人で成長し、所期以上の目標を達することができよう。米山奨学事業は前進する。そして、真に、日本のロータリーの誇りとなるべき事業に発展を期している。



カウンセラー制度や表彰制度、免税措置など、1970年代は現在に続くさまざまな制度が整えられました。奨学生数の増加に伴い、学友会づくりへの機運が高まったのもこの時代です。今回は財団法人設立後、この事業を血の通ったものにしようと、事務局や運営方法の整備に尽力した塩原禎三氏の思いを、当時の資料から伝えとともに、塩原氏と交流のあった米山学友、ロバート B. レフラーさんにお話を聞きました。



米山学友
アーカンソー大学法科大学院教授

ロバート B. レフラー さん

出身：アメリカ
奨学期間：1973～74年
学校名：東京大学
世話クラブ：東京神田RC

私は米山学友で、財団学友でもあります。アメリカのハーバード大学を卒業後、ロータリー財団国際親善奨学金を得て1972年に来日。その際、日本でも著名なエドウィン O. ライシャワー元駐日大使の推薦状を持ってきたためか、ロータリアンに大変温かく迎えてもらった上、研究を続けるために米山奨学生に推薦してもらいました。東京での2年間、何かと私の面倒を見てくれたのが、塩原禎三さんでした。製薬会社の御曹司であり、プリンストン大学卒の塩原さんは、同大のアメリカンフットボールチームがハーバード大に勝利するたび、得意げに私をからかったものでした。

大相撲が始まると、塩原さんは友人と一緒に帝国ホテルのバーでテレビ観戦するのが常でした。私も何度か誘ってもらい、すっかり相撲好きになりました。当時、初のアメリカ出身の幕内力士・高見山が活躍しており、私は彼の大ファンでした。

奨学期間中、アメリカの政治動向に関するNHKの

公開討論会に出演しました。ベトナム戦争中であり、私は母国の戦争政策を強く批判した上、ウォーターゲート事件にも言及しました。私が話している時に「ロータリー」の文字が表示されたらしく、後日、塩原さんから「ロータリーが支援する奨学生として、あのような場で政治的見解を示してはだめじゃないか」と叱られました。しかし、平和と正義に基づく主張は臆せずしていかなばならないと、今も思っています。

帰国後、私はハーバード大学法科大学院に戻りました。ワシントンD.C.の公益団体で弁護士として働いた後、故郷に戻り、アーカンソー大学の教授として今も教鞭を執っています。日本とは今も結びつきがあり、東京大学などで研究・教育に関わっているほか、アメリカの各大学などで日本語の講義も行っています。充実したキャリア、多くの日本の友人を得たことに心から感謝しています。ロータリーと日本との縁が私の人生の進路を決めてくれました。どうかこれからも、世界の若者の勉学を助け、国を超えた交流に手を貸してください。



昨年11月、台湾での会議を終えて

※米山記念奨学事業、および「よねやまだより」に関するお問い合わせ・ご意見は、(公財)ロータリー米山記念奨学会まで
Tel: 03-3434-8681 Fax: 03-3578-8281 Eメール: mail@rotary-yoneyama.or.jp

よねやま
ミニだより

イアン H. S. ライズリー R I 会長夫妻が米山学友らと懇談



ライズリー R I 会長夫妻(前列中央)とともに

ロータリー研究会最終日の11月23日、イアン H. S. ライズリー R I 会長夫妻と米山学友、ロータリー平和フェローとの懇談会が開かれました。米山学友からはアメリカ出身のコリーン・シュムコーさん、中国出身の于咏さん(ウエイ・ホウスイ・ホウ)、ネパール出身のバタライ・ビノドさんの4人が参加し、米山記念奨学金が学業達成の大きな支えとなり、ロータリーとの出会いが現在の活動や目標につながっていると、R I 会長夫妻に伝えました。また、よねやま親善大使の于咏さんが当事業について説明。学友からの積極的な質問に対し、R I 会長はにこやかに答え、自身の考えなどを披露していました。

NEW GENERATION

—— ニュージェネレーション

縁あってロータリーに触れた若者たち。彼らはいま、何を思い、どんなことに挑戦しているのでしょうか。

世界に羽ばたけ日本の着物

ローターアクト 田嶋 諒一

私は今、リユース着物（古着の着物）を販売する仕事をしています。この世界に挑戦しているのは、大きな可能性を感じているからです。

近年、デザイン性の高い日本の絹織物が海外で再注目され、新品に比べて手軽に購入できるリユース着物を目当てに、多くの外国人観光客が店を訪れます。たまに言葉が通じない時もありますが、そこはやる気と情熱。辞書の力を借りて積極的に話します。高校生の時に青少年交換学生



として海外で過ごした経験は「伝えようと思えば伝わる」という自信に。今も自分が日本の「小さな親善大使」であるという気持ちで、来て良かったと思えるような店作りを心がけています。外国人には派手な柄が人気で、着るというより珍しい日本土産として買っているようです。

今後は、世界に誇れる日本のコンテンツ・着物をもっと普及させたい。世界に向けて発信するためにも、日本の若い世代にもっと着物を身近に感じてほしいと思っています。私も和服を洋服と合わせるなど、より気軽な着方を楽しんでいます。初めて着物に挑戦する人には、細かいルールよりも、着物の楽しさが分かるような、夢のある話をしています。昨年独立したばかりの店で、数人のスタッフと共に何とか運営していますが、ゆくゆくは店舗を増やして海外展開したいです。そして着物がより世界で愛されるようになることを願っています。

東京日野RAC所属。第2750地区ローターアクト代表。2004～05年度第2750地区長期青少年交換学生としてスイス・バーゼルへ派遣。リユース着物たんす屋中野店オーナー。東京都在住。

日本と中国のパイプ役に

米山学友 ^{ファン} 黄 ^{イーミン} 訳民

私は中国四川省北川羌族自治县という、少数民族の村の出身です。中学生のころ歴史に興味を持ち、日本から見た歴史、日本人の歴史観について自分で確認したいと思い、2010年に日本に留学しました。福岡県糸島市の日本語学校で1年間勉強した後、熊本大学で大学院も含めて6年間、日本の歴史、考古学を専攻しました。

この間、たくさんの経験を得るとともに、多くの人たちからの支援を受けました。私にとっては熊本が第二の故郷です。熊本経済の発展、地域振興に力を尽くし、恩返しをしたいと思い、熊本の銀行に就職しました。

将来の夢は、銀行を通して熊本の企業が海外進出するのを支援し、日本と中国のパイプ役になることです。また、熊本の良さを日本国内外に伝えていきたいです。

最近、夢中になっていることはインバウンドツアー

（訪日旅行）の企画です。熊本地震から約1年半たちました。外国人観光客数は少しずつ戻ってきていますが、隠れた熊本の景勝地、おいしい食べ物をもっと紹介し、外国人観光客に楽しんでもらい、熊本の良さを広めていきたいです。

中国出身で、熊本育ちの私だからできる熊本流の「おもてなし」を提供したいと思います。これからも初心を忘れずに、熊本の復興に向けて一歩ずつ進んでまいります。



中国四川省北川羌族自治县出身。元米山奨学生（奨学期間：2015～16、世話クラブ：熊本東RC）。第2720地区米山学友会会長。肥後銀行勤務。熊本市在住。2017年8月に結婚、山野イーミン恵に。

●皆さんの周りの若い人をご紹介ください！ ロータリーのプログラムに参加したことのある10～30代までの若者（現役、学友どちらも可）を『友』編集部にご推薦ください。記入用紙は『友』ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp からダウンロードできます。

Pacific Regional Editor's Seminar in Bangkok

アジア太平洋・地域雑誌編集者セミナー報告

アジア太平洋・地域雑誌編集者セミナーが2017年11月1～3日、タイ・バンコクで開催されました。出席したのは、アジア地域7か国（インド・タイ・フィリピン・台湾・韓国・日本・オーストラリア）のロータリー地域雑誌を製作する編集者、現場を監督する組織の委員長、そして国際ロータリー（R I）本部からは地域雑誌コーディネーターのドナ・カッター氏。ロータリーの友事務所からは清水良夫委員長と、編集長の野崎恭子が出席してきました。



今回のセミナーの大きなテーマは、「ロータリーの地域雑誌の方向性について考える」。まずは、各国の事情、問題点などを発表、議論を行いました。

『ロータリーの友』の取り組みとしては、2016～17年度から雑誌のサイズを、汎用性の高いA4版にしたところ印刷費用の削減ができたことや、若いロータリー家族のメンバーを紹介するコーナー（NEW GENERATION）を新設したことを報告。他の国の参加者の関心を引きました。

日本ではあまり考えられないことですが、購読料が入ってこないという悩みを持つ編集者も少なくありませんでした。事務所の死活問題にもつながることなので、購読料を支払わないクラブに対するR Iの取るべき対応について、白熱した議論が繰り広げられました。

共通の課題としては、雑誌を読んでもらうための工夫が話題になり、『友』同様、役立つ（楽しい）記事を、写真や分かりやすいイラストを用いて掲載していることが分かりました。活字離れは日本だけではないようです。また、インドの編集者で、大手新聞社で働いていた経験を持つジャーナリストのラシーダ・バガット氏は、「話題がロータリーだけでは読者はついてきません。ロータ

リアンの関心がありそうな、旅行やグルメなどの記事を積極的に取り上げています」とインドの雑誌『Rotary News』での取り組みを述べました。

また、R I本部のカッター氏からはロータリーの地域雑誌として、一体感を出すためにどのようにしたらよいか、という課題が与えられました。そこで一案として挙げられたのが、表紙の雑誌名を統一したフォントのアルファベットフォント表記にすること。しかし世界の地域雑誌の表紙（『友』2017年9月号横組みP8～9参照）には、ロータリーのある国・地域の文化・言語の多様性が表れています。その雑誌の表題を一律アルファベット表記に統一してしまうのは、ロータリーのブランド強化とはいえ、諸手を挙げて賛成しかねると、清水委員長と共に反対の意思表示をしました。

代案として、アジアで行われている活動をアジアの雑誌内でシェアすることで、毎月掲載しているRotary World Roundup（本号横組みP28～29）のアジア版を作ることを前向きに検討することが決定しました。

また、『THE ROTARIAN』の記事（指定記事を含む）全体については、記事の内容や編集方法が北米寄りになっていることが指摘され、さまざまな国や宗教、習慣の読者がいることを意識して編集してほしいという全出席者からの意見として『THE ROTARIAN』の編集部に伝えてもらうことになりました。

最後にホスト国のタイのパニット・ヨーサヴァット編集長が「今後も引き続きアジアの雑誌同士で連絡を取り合い、情報をシェアしていきましょう」と締めくくり、セミナーは閉会されました。

なお今回のセミナー開催に当たっては、R I元会長のビチャイ・ラタクル氏をはじめ、タイのバスターガバナー、タイのロータリーセンターのスタッフたちの多大な協力をいただきました。

『友』編集長：野崎 恭子



タイのロータリークラブがプロジェクトを行っている公立病院を見学。病院長（中央）が、ロータリーへの感謝の言葉を述べました



ロータリー：
変化をもたらす

2017 - 18 年度 地区大会略報 II



第2510 地区

2017 年 10 月 14 ~ 15 日
函館市民会館ほか
ホスト 函館 R C 登録者 1,613 人

国立金助ガバナー 初日の地区指導者育成セミナーは、田中作次元 R I 会長が現在と将来のロータリーのあるべき姿について熱弁、出席者の質問に誠意を持って答えました。2 日目の本会議は、台湾から迎えた姚 啟甲 R I 会長代理が日台の友好を深めること、ロータリーの使命について日本語で熱く語りました。また、記念講演では元 R I 理事、茶道裏千家大宗匠の千玄室氏が「茶の心 ロータリーの奉仕」と題し、修練の場としての例会、超我の奉仕の実践について、さらには戦争体験者として平和を願う気持ちを語り、感動を呼びました。



第2530 地区

2017 年 10 月 14 ~ 15 日
白河文化交流館コミネスほか
ホスト 白河 R C 登録者 1,075 人

鈴木邦典ガバナー 「ロータリーは A T M (明るく、楽しく、前向きに) が大切」と語る水野功 R I 会長代理を迎え開催。1 日目は鈴木秀憲 P G による講演「ロータリーの今日的課題」。2 日目の基調講演はソムリエでもある鈴木ガバナーの師匠という田崎真也氏による「サービスの極意」。難しいと思われがちなワインに関して、目からうろこが落ちるような知識や、素人がしがちな勘違いマナーなどを紹介。ユーモアあふれる語り口に笑いながらも、「自分のことだ」と思った参加者も多かったのでは。



第2550 地区

2017 年 10 月 14 ~ 15 日
宇都宮グランドホテルほか
ホスト 宇都宮東 R C 登録者 1,737 人

太城敏之ガバナー 石黒慶一 R I 理事を R I 会長代理に迎え、14 日は地区指導者育成セミナーとして足立功一 R I 研修リーダーが「ロータリーの変革とその未来」と題して講演。15 日は地域ブランドの提唱者・田中章雄氏の講演「栃木県のブランド力 U P ! へのシナリオ」から地域の魅力を、さらに田中作次元 R I 会長と中村靖治元 R I 研修リーダーによる記念ワークショップ研修会「ロータリーを語ろう」でロータリーの魅力を再発見。ガバナーが重点目標に掲げる会員増強に向けて弾みをつける、意義ある大会となりました。



第2600 地区

2017 年 10 月 14 ~ 15 日
ホテル国際 21
ホスト 長野東 R C 登録者 2,076 人

関邦則ガバナー 飯村慎一 R I 会長代理を招き開催。1 日目の研修会は松宮剛元 R I 理事が新装『友』の表紙イラストなどを掲示しつつ「今、ロータリーに思うこと」を語りました。2 日目の講演は東京大学名誉教授・工学博士の月尾嘉男氏の「環境危機と適応ビジネス」。イアン・ライズリー R I 会長の掲げる「環境の持続可能性」にもつながる、S D G s (持続可能な開発目標)ほか、環境を巡る世界の最新動向を学びました。大迫力の諏訪大社の太々神楽・諏訪神太鼓、善光寺木遣りも場を引き締め、最後までほぼ満席の熱気の中、終了しました。



第2630 地区

2017 年 10 月 14 ~ 15 日

伊賀市文化会館

ホスト 上野東 R C 登録者 1,625 人

田山雅敏ガバナー 「今、ロータリアンは伊賀にときめく」をスローガンに、田中正規 R I 会長代理を迎え開催。初日は 2018 年 R I 研修リーダーの高野孫左エ門氏が「変化するロータリーへの対応」について講演。2 日目は伊賀が俳聖・松尾芭蕉の故郷であることを踏まえ、記念講演は俳人の黛まどか氏の「世界の中の俳句～芭蕉から現代まで～」。昼食会では伊賀忍者特殊軍団・阿修羅が迫力の技を披露。また、上野東 R C との活動で縁の深い、新日本フィルのメンバーと地元・上野高校吹奏楽部の演奏が大会の開幕などを彩りました。



第2690 地区

2017 年 10 月 21 ~ 22 日

倉敷市民会館ほか

ホスト 倉敷南 R C 登録者 2,520 人

池上 正ガバナー 地区スローガン「Take Action」のもと、片山主水 R I 会長代理を迎えて開催。初日の地区指導者育成セミナーは、渡辺好政元 R I 理事の基調講演、続いてノーベル化学賞受賞者の鈴木章氏が、化学の発見と各種製品への応用について講演。2 日目は徳川宗家 19 代当主・徳川家広氏の記念講演「関ヶ原から読み解く日本近代史～中国地方の徳川 400 年～」に耳を傾けました。台風の影響で懇親会は手狭な屋内となりましたが、地元の名物料理とおいしいお酒で会話が弾み、温かく、にぎやかな大会となりました。



第2560 地区

2017 年 10 月 28 ~ 29 日

朱鷺メッセほか

ホスト 新潟万代 R C 登録者 1,210 人

新保清久ガバナー 三木明 R I 会長代理を迎え、初日の地区指導者育成セミナーは、(公財)ロータリー日本財団の江崎柳節理事が「クラブが主役のロータリー財団」と題して講演。続いて東京米山友愛 R C の関博子特別代表が、財団創立 50 周年の米山記念奨学事業について語り、ロータリーの奨学事業への認識を深めました。2 日目は作家・藤沢周氏の講演「安吾が教えてくれたこと」の他、その後の親睦交流会では地元・新潟江戸神輿連合による木遣りが花を添え、「手に手つないで」を合唱、次年度の再会を約して閉幕しました。



第2610 地区

2017 年 10 月 28 ~ 29 日

加賀市文化会館ほか

ホスト 加賀 R C 登録者 1,426 人

下口幸雄ガバナー 「クラブのカラーを出そう」を大会メッセージに掲げ、初日の指導者育成セミナーは、北陸先端科学技術大学院大学の浅野哲夫学長による「思考術」。2 日目は当地ならではの演出、山代大田楽で華やかに開幕し、本田博己 R I 会長代理が「ロータリーは変化をもたらす団体であり、各クラブが独自のカラーを」と語ったのに続いて、南蔵院・林覚乗住職の講演「心ゆたかに生きる」は笑いと涙の感動実話でした。大懇親会ではマグロの解体も。参加者一同、胸襟を開いて語り合い、ロータリーを学び、楽しんだ大会となりました。

パズル de ロータリー

今月はスケルトンです。ロータリーのことはよく分らない、という人もご心配なく。パズルは一般的な問題で、ご家族の方も楽しめます。ただし、二重枠に入った文字を入れてできた言葉とロータリーには少し関係があります。どんな関係かな。ロータリーのこと、ちょっとずつ学ぼう。

パズル制作／ニコリ

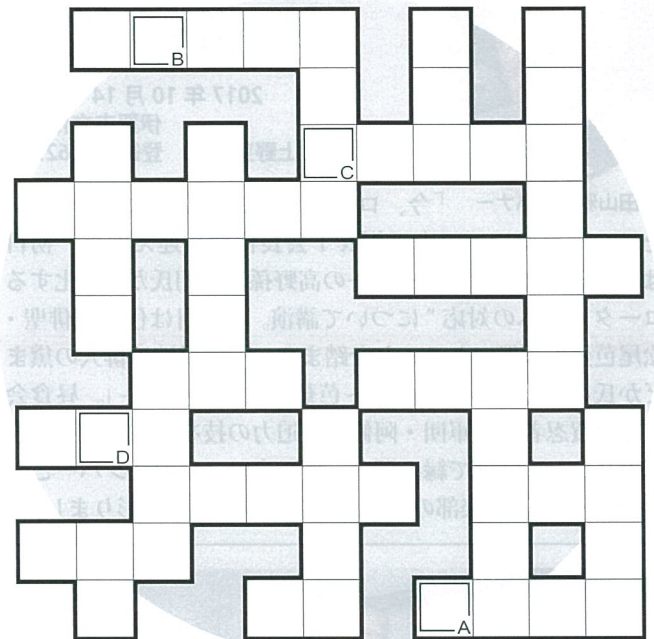
ルール

リストの「いろいろな職業」を、すべて盤面の中に入れましょう。カッコの中の漢字は入れなくてもよいですよ。言葉の入る方向は、上から下、左から右のどちらかで、1マスに1文字が入ります。タテヨコの言葉が交差するマスでは、同じ文字を使うのがヒントになります。小さい「ア」「エ」などは大きな「ア」「エ」などとして入れてください。

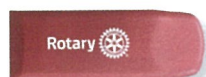
【リスト】

2文字	4文字	5文字
イシ (医師)	カンゴシ (看護師)	ウラナイシ (占い師)
キシ (棋士)	キョウシ (教師)	ゴルフー
	セイビシ (整備士)	チョウリシ (調理師)
3文字	トリマー	パイロット
キシヤ (記者)	ビョウシ (美容師)	ホンヤクカ (翻訳家)
シェフ	ベンリシ (弁理士)	マジシャン
シショ (司書)	ラクゴカ (落語家)	
ヒショ (秘書)		
リキシ (力士)		
	6文字	
	ソクリョウシ (測量士)	
	7文字	
	ベビーシッター	

二重枠に入った文字をA～Dの順に並べてできる言葉は？



毎月10人にロータリーの友名前入り針なしステープラーをプレゼント!!



※色はお選びいただけません。

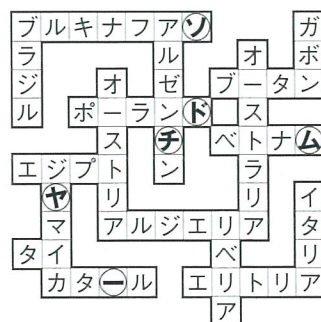
◆ 応募方法 ◆ 郵便はがきに、①「1月号の答え」 ②名前 ③所属クラブ ④今月号で印象に残った記事をお書き添えの上、〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階 (一社) ロータリーの友事務所P係までお送りください。②～③の情報、および④に関する回答は、誌面企画の参考と、「声」欄 (縦組みP32) に転載させていただきます。会員以外のご応募も大歓迎です。

◆ 締め切り ◆ 2018年2月9日 (金) 必着

「パズル de ロータリー」(10月号)の答え

10月号の答え「ソムチャード」

💡 米山奨学生第1号、タイ出身のソムチャード・ラタナチャタ氏 (当時25歳) のこと。現地では選考され、1954年9月に来日しますが、当時の時代背景もあり、渡航、入国、入学の手続きと、大変な苦労が



あったようです。その後、東京大学農学部で養蚕^{ようさん}を学び、卒業後は帰国。母国で養蚕センターを設立しタイシルクの増産に努めました。ソムチャード氏とそのご子息については『友』2017年11月号横組みP24「よねやまだより」でも紹介しています。

応募総数 145人 正解者 141人

当選者 (敬称略・順不同) / 平野好道 (名古屋瑞穂RC)、吉澤政彦 (室蘭RC)、中山芳子 (甲府南RC)、山岸真理 (名寄RC)、高見初子 (大阪天王寺RC)、山田武男 (袋井RC)、木村教義 (川崎中央RC)、坂田秀昭 (滝川RC)、矢作正夫 (太田西RC)、後藤重和 (宮津RC)

来月のパズルは、数独。お楽しみに！

CLUB INNOVATION

オーストラリア
シーフォードRC

創立：2016年11月26日
創立会員：21人
現在の会員数：28人



沿革：

オーストラリアの新クラブの一つであるシーフォードRCは2016年11月に創立されました。シーフォードは急速に発展するアデレード郊外にあり、クラブは拡大する地域のニーズに活動の重点を置いています。

活動として地元の児童と地域住民が、ハーブや野菜、果物を自由に収穫できる「Giving Garden」に参加。地元住民は、ここから必要なハーブや野菜、果物を持っていったり、種やさし木用の切り枝、取れ過ぎた収穫物を寄付することができます。また、家庭で食事を取るのが難しい子どもたちに食事を提供する地元の慈善団体、Breakfastbelliesを支援しています。

シーフォードRCは、つくられる段階から珍しいクラブでした。多くの新クラブは、近隣のクラブから支援を受けて創立しますが、シーフォードRCは第9520地区によって、特定のクラブ支援なしで創立したのです。地区会員増強委員長のマーク・ハドルストン氏が、アデレード地域の人口動態を調査したところ、南部のシーフォード地区で路線が新規拡張し、新しい高速道路が建設されることで、人口が大きく増えていることを知りました。しかも、この地域で奉仕するクラブはなく、これを好機と考えました。

新クラブの創立について、2010年にノルウェーからオーストラリアに移住し、アデレードのフリンダース大学のローターアクターだったセシリ・カードウェル氏に話をもち掛けると、彼女は21世紀に向けたクラブをつくるチャンスを快く受け入れました。

彼らは新会員募集の一大キャンペーンを行いました。ポストにチラシを入れ、町にはポスターを貼り、地元紙に広告を出し、心当たりのある人へは電話をかけ、地元イベントに頻繁に参加、さらにソーシャルメディアで



上：新会員、デボラ・ローレンス氏（左）は、ハンナ・イーガー氏によってクラブに誘われました。下：地元のイベントでクラブはよく出店を出して、ソーセージを提供します

例会よりも、 奉仕活動に重点

イノベーション：

このクラブが強調するのは、地域社会に対する奉仕。例会は月に2回だけ。例会場は、ときにはロータリアンの家で、ときには地元のレストランで、ホテル、書店またはコーヒESHOPなど。例会に堅苦しい決まりはありません。

大々的に宣伝したのです。

「私たちは300ドルのポップコーンマシンを買って活用したところ、それが行く先々のイベントで毎回ヒットしました」と、カードウェル氏は振り返ります。「私たちは他の慈善団体の、特に、貧困層のために新鮮な果物と野菜を栽培するGiving Gardenとのネットワーク作りに力を入れました。金物チェーン店が寄付した580ドルの雨水タンクに、ロータリーの水に関する活動の大きなポスターを貼らせてもらいました。両親が子どもたちを車で迎えに行く際に、学校の近くでそのポスターを目にするんです」

女性やあらゆる年齢の人々に居心地の良いクラブをつくりたかった創立会員は、新鮮なスタートを切る機会に恵まれました。また、例会よりも地域への奉仕活動に重点を置くことを望んだこのクラブは、毎月の例会を、子どものいる会員にとって都合の良い、第1木曜日の夕方と第3日曜日午後の2回に制限することに決めました。外部卓話者は、クラブの活動に直接関係がある人を4回に1回、招待します。

会員のおよそ3分の2は女性です。「私たちは、家族がよりロータリーと関わり、古いイメージが多様性と愛で満たされる新しいイメージに変わっていくことを楽しみにしています」と、カードウェル氏は言います。かつ、ハドルストン氏は近隣クラブから会員を引き抜いてクラブをつくるのを望みませんでした。他のクラブから移籍したのは、ハドルストン氏を含む3人の会員だけです。

「一見、発展しているシーフォードは、ブドウ畑と海岸の間にあり、牧歌的に見えます」と、カードウェル氏は言います。「しかし、実際は、食糧不安、家庭内暴力、ホームレスや不満を抱いた若者など課題があります。これら全て私たちが助けるべき対象です」。先日は、近くのオンカパリングで、自殺防止のための海岸ウォーキングを開催しました。このイベントには400人が集まり、Australian Rotary Healthへの寄付は7,000ドルに上りました。

あなたのクラブはどのような革新的な
取り組みを図っていますか？

hensyu@rotary-no-tomo.jp までお知らせください。

国連でのロータリーデー： 平和を実現しよう

第1次世界大戦終結99周年を記念し、スイス・ジュネーブの国際連合事務局で「ロータリーデー」が開催され、1,200人以上が集まりました。

11月11日、87カ国の代表者が国際連盟の本部があったパレ・デ・ナシオンに集結し、イアン H. S. ライズリー国際ロータリー（R I）会長が以下のテーマを提唱しました。

「平和：変化をもたらす（Peace: Making a Difference）」

「国際理解、親善、そして平和は、かねてからのロータリーの第1目標」と話すライズリー氏。「ロータリーの奉仕活動は全て平和構築につながることで、そして平和構築のために奉仕を行うことは、私たち皆がすでに認識していることです」

今回、これまでの13年間で初めて、「ロータリーデー」の行事がニューヨーク以外で開催されることとなりました。ジュネーブ平和週間の最後の日が「ロータリーデー」となり、R Iのジョン・ヒューコ事務総長は、「ロータリーと国連の長年にわたる協力関係と、平和と国際理解の追求」を言明しました。

「ロータリーの会員は、奉仕を通じて、平和を概念から現実に行う」と、エド・フタ氏（国連に対するロータ

リー代表）は述べました。「平和は概念として説くものではなく、実現すべきものです」

イベントのハイライトとして、ヒューコ事務総長が、2017年の「世界を変える行動人：平和の推進者（People of Action: Champion of Peace）」を発表し、「組織の活動の範囲・影響力」をたたえ、「より平和的な、より活力のある社会になるための道しるべ」を記したことをたたえました。

その後、受賞された6人は、持続可能性と平和についてのワークショップや、ローターアクトなどのヤングリーダーのための特別セッションで、平和構築における教育・科学の重要性にスポットライトを当てたワークショップに参加しました。

世界保健機関（WHO）のポリオ撲滅ディレクターであるマイケル・ザフラン氏は、ポリオ撲滅活動の最新情報を発表。ロータリー、WHO、ビル&メリンダ・ゲイツ財団、その他パートナー団体による活動により、ポリオ発症数は99%減少し、目覚ましい進歩を遂げています。「ポリオ撲滅を実現するこの国際関係があれば、世界平和を達成できるでしょう」

在ジュネーブ国際機関の日本政府代表部大使代表代理、および世界ポリオ撲滅推進活動のポリオパートナーグループ議長である志野光子氏も同席しました。

ライズリー会長は基調講演で、次のように述べました。「ポリオ撲滅活動で私たちが学んだことは、多くの人が一致団結し



平和に関するワークショップでは、世界中から集まったローターアクトも参加。参加者の3分の1以上が、35歳以下の若い人たちでした

て問題を理解し、そのプロセスを理解し、リソースを結集し、影響力を強くし、計画を立て、目標を設定すれば、山をも動かすことができること。今こそ、行動を起こし、協力すべき時です」

-Geoff Johnson

国際大会 トロント観光



6月23～27日、R I国際大会でトロントを訪れる際には、この美しい街を見て回るためにスケジュールを空けておきましょう。トロントを象徴するCNタワーはこの街でも1、2を争う観光スポットで、年間で約150万人の観光客が訪れます。展望エリアが2つ、レストランも2店舗あり、どこからでも見事な景観が一望できます。チャレンジ精神が旺盛な人には、地上356mで何にもつかまらずに塔の外周をぐるりと回る、エッジウォークもおすすめです。

精神的に癒やされたい人には、セントローレンスマーケットの散策はいいが。食べ物や名産品を取り扱うお店がいくつも立ち並びます。または、改修されてエンターテインメントとショッピングの複合スペースに生まれ変わった、歴史的なディスティラリー地区も



ロータリーデーのイベントでは、平和に焦点を当てたワークショップが開催されました

お勧めです。

それに、ゴシック・リバイバル建築の大邸宅カサ・ロマも見逃せません。1914年にカナダ人の大富豪が建てたカサ・ロマには、100室ほどの豪華な部屋や秘密の通路のほか、約2万㎡の庭園が楽しめます。かつては個人住宅だった「ハウスオンザヒル」は博物館として観光客をお迎えしています。

自然を楽しむにはハイパーク。広大な敷地内ではサンクンガーデン（オーブン地下道）やハンギング・バスケット（つり花かご）庭園、自然の小道や小川が楽しめます。または、フェリーでトロント島へ渡れば、草原や森、サング、砂浜が皆さんを待っています。

riconvention.org/ja でロータリー国際大会にご登録ください。

-Randi Druzin

今後のR I 国際大会

2018年6月23～27日

カナダ・オンタリオ州トロント

(以下予定)

2019年6月1～5日

ドイツ・ハンブルク

2020年6月6～10日

アメリカ・ハワイ州ホノルル

2021年6月12～16日

台湾・台北

2022年6月4～8日

アメリカ・テキサス州ヒューストン

統計

全世界ロータリアン総数

1,220,185人

クラブ数 35,727 クラブ

地区数 539 地区

国と地域 200 以上

ローターアクト会員数 242,949人

クラブ数 10,563 クラブ

国と地域 160 以上

インターアクト会員数 511,796人

クラブ数 22,252 クラブ

国と地域 150 以上

2017年8月31日現在

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

RI 指定記事

ロータリー財団管理委員長の思い

2018年も実り多い1年に

2017-18年度ロータリー財団管理委員長 ポール A. ネットゼル



2017-18年度も折り返し点までたどり着きました。ロータリー財団の第2世紀を迎えて1年目となる今年度は、いろいろと大きな成果が期待されます。

ロータリアンは今日、財団とのパートナーシップを通じて、創立当初には思いも寄らなかった方法で変化をもたらしています。

ロータリーといえばポリオ撲滅ですが、ポリオのない世界に到達する歴史的な日は遠くありません。シアトルで大成功を収めた世界ポリオデーのイベントや、世界中でロータリアンが開催した何千ものイベントに続き、今年度のポリオ募金目標額である5,000万ドル（DDFの寄贈を含む）を達成しましょう。先日開催されたポリオ撲滅募金のチャリティーイベント「Miles to End Polio 自転車レース」に参加したロー

タリアンやご友人の皆さまのおかげもあって、目標額にはあと一步のところまで来ています。

次に、財団は今年度の総合募金目標額として3億6,000万ドルを掲げています。この資金で、あなたや他のロータリアンは、世界中の人々への支援を続けていくことになります。

また、「2025 by 2025」（2025年までに20億2,500万ドル）の恒久基金イニシアチブも順調です。私たちの目標は、2025年までに恒久基金の合計額を20億2,500万ドルに伸ばし、財団の長期的な財政の安定を確保し、将来にわたってロータリー活動に欠かせないリソースを提供していくことです。

平和構築とロータリー平和センタープログラムも財団が注力している分野です。ロータリー平和フェローシップの申請の受け付けは今月開始されます。優れた候補者を探し、また、皆さんの実施しているプロジェクトのアドバイザーとして、その分野の元平和フェローを招いて支援しましょう。

2月から6月にかけて、イアン H. S. ライズリー R I 会長が平和会議を主催します。全6回で、各重点分野と持続可能な平和に焦点を当てます。奮ってご参加ください。

ロータリー最大のイベントは、なんといっても R I 国際大会です。2018年はトロントで6月23～27日に開催します。年度の主な功績を祝うだけでなく、ローターアクト50周年を祝う機会でもあります。

2018年も「世界を変える行動人」であり続けましょう。そして、ロータリアンが変化をもたらしていることを世界に伝えていきましょう。

Paul A. Netzel

Paul A. Netzel
財団管理委員長

財団についてのご意見を Paul. Netzel@rotary.org にお寄せください。

ROTARY お知らせ

新インターアクトクラブ

Piti (2750・Guam・Northern Guam)

結成：2017年9月30日

事務所：Pity City, Guam 96915 Guam

横浜隼人中学・高等学校

(2590・神奈川県・横浜瀬谷)

結成：2017年10月1日 会員数：29人

事務所：〒246-0026 横浜市瀬谷区阿久和南1-3-1

横浜隼人中学・高等学校内

会長：三上 真広 幹事：三浦 結奈

『友』誌ご購読数変更 についてお願い

①今年度『友』誌下半期分(2018年1～6月号)の減部については、2017年12月5日までに直接、友事務所へのご連絡をお願いしております。

②従いまして、1月号の発行部数決定や発送準備の都合上、12月6日以降の1月号減部はご容赦ください。

③12月6日以降の会員数変動による減部は、2018年1月10日までにご連絡いただければ、「2月号～6月号」の減部として対応いたします。

④1月11日以降にご連絡いただいた減部はすべて、次年度7月号からになりますので、ご了承ください。

⑤追加購読のお申し込みは、残部がある限りお受けいたします。

⑥部数変更のご連絡がない場合には、2017年12月号と同じ部数を送付させていただきます。

定価 200円＋消費税(送料込)

なお、『友』誌購読会員は併せて『友』電子版をご覧ください。

◆訂正 本誌12月号縦組みP23の「歌壇」中、五句「美女平」の作者を中桐真彦様、六句「遠き世の」の作者を吉岡洋子様へ、おわびとともに訂正いたします。

地区別クラブ数・会員数一覧表

(2017年10月末現在)

地区	R C 数	会員数	16年10月末 会員数
第2500地区	67	2,319	2,321
第2510地区	69	2,633	2,598
第2520地区	79	2,312	2,322
第2530地区	66	2,420	2,424
第2540地区	42	1,135	1,138
第2550地区	51	1,775	1,747
第2560地区	56	2,143	2,134
第2570地区	51	1,653	1,658
第2770地区	74	2,622	2,639
第2790地区	83	2,856	2,816
第2800地区	50	1,631	1,643
第2820地区	55	1,997	1,982
第2830地区	41	1,208	1,200
第2840地区	46	2,122	2,104
第2580地区	69	3,117	3,098
第2590地区	57	2,070	2,086
第2600地区	55	1,985	2,005
第2610地区	64	2,684	2,669
第2620地区	79	3,071	3,048
第2630地区	76	3,204	3,140
第2750地区	99	4,832	4,900
第2760地区	84	4,904	4,857
第2780地区	66	2,378	2,349
第2640地区	69	1,924	1,944
第2650地区	97	4,678	4,674
第2660地区	82	3,681	3,648
第2670地区	74	3,050	3,036
第2680地区	73	2,832	2,871
第2690地区	66	3,091	3,107
第2700地区	61	3,224	3,210
第2710地区	73	3,338	3,379
第2720地区	75	2,472	2,407
第2730地区	65	2,394	2,387
第2740地区	57	2,268	2,246
34地区合計	2,271	90,023	89,787

日本のロータリー

会員概数 89,741人

クラブ数 2,262

(左の表中34地区合計から、第2750地区のP Bグループを引いた数です)

ガバナー月信より 2750クラブ数・会員数は、P Bグループ9 R C 282人(北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ)を含みます。P 6「日本のロータリー」数は34地区合計からP Bグループを引いた数。16年10月末P Bグループ9 R C 会員数297人。

*『友』ホームページの「ロータリー資料館」にデータ修正後の表を掲載。

*第2520地区の数値は震災につき概数。

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友

2月号主要記事予定

横組み 特集 私の考える平和とは／平和に関する奉仕活動

縦組み 戦線からの生還・開拓・奨学金

今泉記念ビルマ奨学会会長 今泉 清詞

クラブを訪ねて パワー浜松 R C

Rotary



ご投稿・お問い合わせは——

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階

一般社団法人ロータリーの友事務所 Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp 経理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp

謹賀新年



謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

旧年中はひとかたならぬご厚情を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年もスタッフ一同より一層の努力をいたし、ロータリアンの皆さまにご満足いただける誌面作りに努めてまいり所存でございます。

なにとぞ倍旧のご支援のほどよろしくお願いいたします。

ロータリーの友委員会・編集部員一同

トロント国際大会に
参加される方、必見！

日本人親善朝食会に 参加しませんか



2018年6月23～27日、国際ロータリー年次大会がカナダ・トロントで開催されます。恒例の日本人親善朝食会を下記の通り開催いたします。

朝食会会場となるハイアット・リージェンシー・トロントは、大会会場から歩いて2ブロック。開会式当日の朝、一緒に朝ごはんを食べて、元気よく大会会場に向かいましょう！ 詳細、お申し込みは各ガバナー事務所まで、『ロータリーの友』ウェブサイトを、2月号でもご案内する予定です。

皆さまからのお申し込みをお待ちしています！

国際ロータリー理事 斎藤 直美
石黒 慶一

- 日時 2018年6月24日(日) 7:00～
- 会場 ハイアット・リージェンシー・トロント
- メニュー お楽しみに！



良縁紹介

手作りの縁結び

*東京と兵庫県に事務所を持つ「こうん」は関東から近畿、西日本、お世話は全国可能です。独自の人脈を駆使して最適なお相手をご紹介します。ご成婚まで「安心信頼」「低料金、成功報酬制」を心がけながらお世話させていただきます。ぜひ、一度ご連絡ください。

代表 田中すみ子 国際団体事務局を経てメディアで活動

・兵庫本部 〒675-0066兵庫県加古川市加古川町寺家町35-4

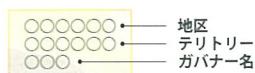
TEL 079-422-6105 FAX 079-422-6148

・東京事務所 〒104-0031東京都中央区京橋2-10-10KCビル5階ナッシュ(株)内

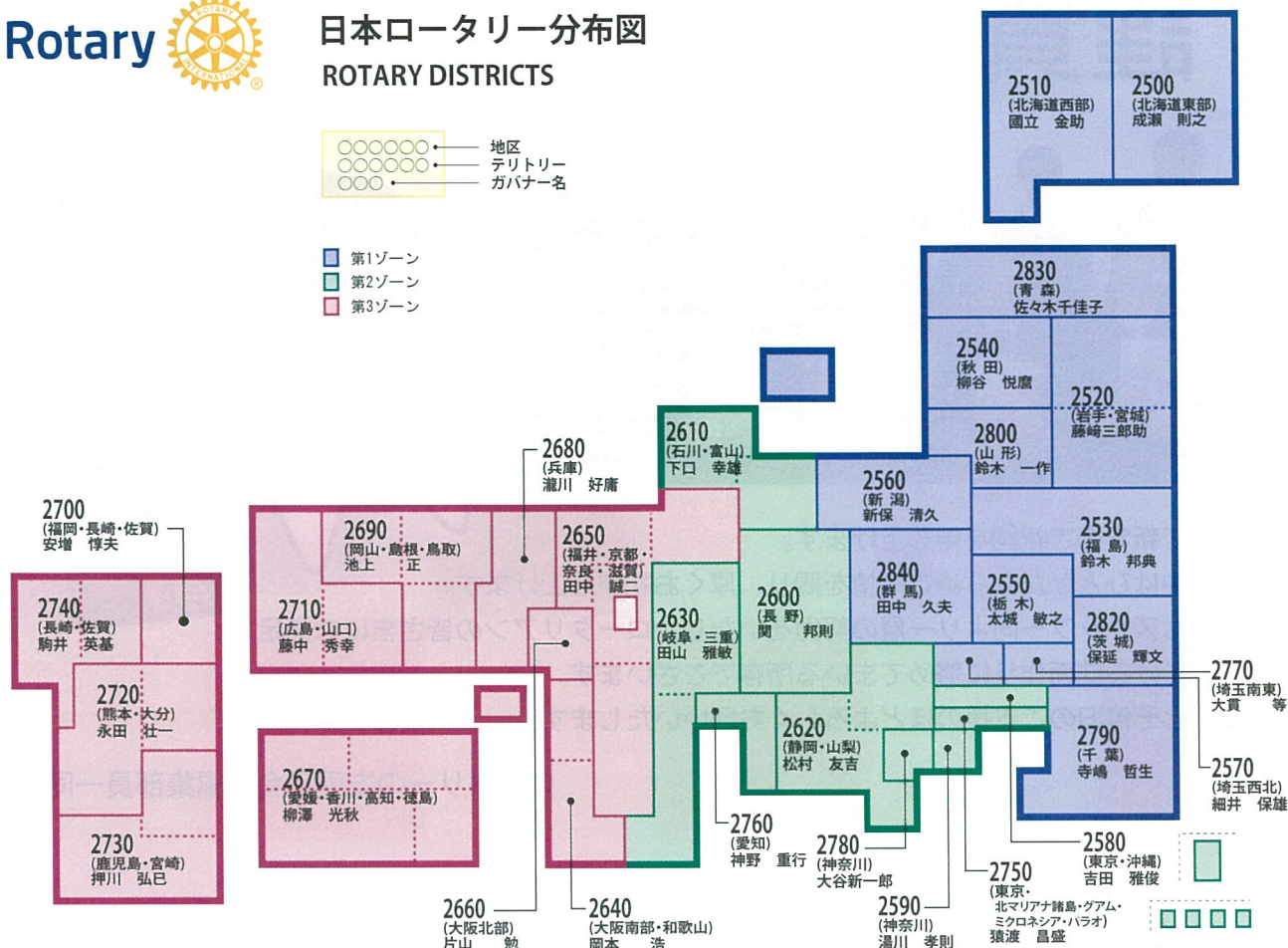
TEL 090-4308-5386

インターネット検索は「Yahoo!」でキーワード「こうん」です。

日本ロータリー分布図 ROTARY DISTRICTS



■ 第1ゾーン
■ 第2ゾーン
■ 第3ゾーン



『ロータリーの友』ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp に各地区のホームページをリンクしています。

月刊 ロータリーの友

第66巻 1月号

2017年12月31日印刷 2018年1月1日発行

一般社団法人

ロータリーの友事務所

■ 社員 斎藤 直美 (豊田)
石黒 慶一 (鶴岡西)
吉田 雅俊 (東京新都心)
猿渡 昌盛 (東京武蔵府中)
湯川 孝則 (横浜西)
片山 勉 (大阪東)

■ 理事会

代表理事 清水 良夫 (横浜)
理事 片山 主水 (名古屋東南)
神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)
上野 孝 (横浜)
安平 和彦 (姫路)
片岡 信彦 (土浦南)
橋本 長平 (京都東)
田中 政春 (長岡西)
岡部 一輝 (南砺)
庄司 尚史 (境港)
松坂 順一 (東京葛飾東)
服部 陽子 (東京広尾)
横山 武志 (東京北)
中里 公造 (川口モーニング)
堀口 昇治 (東京西)
野中 茂 (川崎)
津村 政男 (東京臨海東)
渡辺 誠二 (東京みなと)

監事 船越 豊 (千葉中央)
小川 湧三 (川崎鷺沼)
相談役 板橋 敏雄 (足利東)

■ 職員

所長 渡辺 誠二 (東京みなと)
編集長 野崎 恭子
編集 稲川 やよい
黒野 穰二
山名 愛
飯田亜由香
熊谷健太郎
経理 富澤 美子
半田 弥生
福元菜穂子

振込銀行 三井住友銀行浜町支店
口座番号 (普通) 7450015
郵便振替 口座番号 00180-8-694591
印刷 大日本印刷 (株)
表紙印刷 半七写真印刷工業 (株)

一般社団法人ロータリーの友事務所

〒105-0011
東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階
電話 03-3436-6651
FAX 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp
経理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp
ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp
定価 200 円 + 消費税 (送料別)

第109回 国際ロータリー年次大会 2018



The 109th Rotary International Convention 2018

開催地：カナダ オンタリオ州 トロント

大会会場：エア・カナダ・センター、メトロ・トロント・コンベンションセンター

開催期間
2018年6月23日(土)～27日(水)

ホテル：シェラトンセンタートロント(6月23、24、25日の3泊分、各100室を予約済)

ホテルからエア・カナダセンター、メトロトロントコンベンションセンターまで徒歩15分、車で5～6分。無料シャトルバス有

国土面積が日本の約27倍(998.5万km²)、全人口約3600万人のカナダで、人口約280万人のトロントは、カナダ最大の都市。政治、経済、金融の中心地として栄え、多民族の人々が、それぞれの人権を認め合い平和で安定した生活を営む文化的都市です。この街の中心地、市庁舎の前に建つシェラトンセンタートロントは、市のランドマーク的存在で、RI世界大会の会場に近く、市内の名所巡り、各種レストラン、ショッピング、観劇など申し分ない立地で、ゆったりとして快適に過ごすことができます。当社はこのホテルを6月23、24、25日の3泊分100室を既に予約確保済みです。航空機、ホテル、食事、旅程、ツアーガイド等あらゆる角度から検討し、いずれのツアーもロータリアンの皆様にご満足頂けるよう当社の総力を結集して作り上げたツアーばかりです。お一人様でも多くのご参加を心よりお待ちしております。

A 2018年 国際ロータリー年次大会参加5日間 ¥312,000
旅行期間：6月23日(土)～27日(水)
ビジネス10席
エコノミー20席

東京ートロント③ー東京

カナダ最大の都市トロントは政治、経済、金融の中心地。多民族の人々が、それぞれの人権を認め合い平和で安定した生活を営む文化的都市です。

*6月25日にナイアガラの滝日帰りツアーを催行。

B RI本部視察と(RI国際会議) トロント6日間 ¥380,000
旅行期間：6月21日(木)～26日(火)
ビジネス4席
エコノミー24席

東京ーシカゴ①ートロント③ー東京

世界のロータリアンの総本山、シカゴ郊外のエバンストンにあるRI本部を訪れ、RI会長室、エレクト室、財務委員会室、同時通訳室等を見学し、その輝かしい歴史を学びます。トロント滞在は「A」と同じ。

C バンクーバーとバンフ そして(RI国際会議)トロント8日間 ¥585,000
旅行期間：6月20日(水)～27日(水)
ビジネス15席
エコノミー20席

東京ーバンクーバー①ーバンフ②ートロント③ー東京

日本人に人気のバンクーバーとカナディアンロッキーの拠点バンフを訪れます。コロンビア大氷原の氷河上を雪上車で走るのはこのコースのハイライト。6月27日のRI閉会式までトロント滞在ご希望の方は当コースがお勧め。

D RI国際会議参加とバンフ、バンクーバー 8日間 ¥588,000
旅行期間：6月23日(土)～30日(土)
ビジネス15席
エコノミー20席

東京ートロント③ーバンフ②ーバンクーバー①ー東京

RI国際大会に参加した後、バンフ国立公園、バンクーバーを見学するツアー。「C」とは全く逆コースですが、内容は全て同じ。もう1泊して世界的に有名な「ブッチャード庭園」見学をご希望の方には、当コースがお勧めです。

E RI国際会議参加とシャーロットタウン、モントリオール、ケベック、オタワ10日間 ¥686,000
旅行期間：6月18日(月)～27日(水)
ビジネス10席
エコノミー15席

東京ーハリファクス①ープリンスエドワード島(赤毛のアン)②ーモントリオール②ー(ケベック)ー(オタワ)ートロント③ー東京

カナダ東部の主要都市を視察するゴールデンコース。「赤毛のアン」の島プリンスエドワード島で2泊し、モントリオールではケベック(世界遺産)への日帰りツアー、首都オタワの国会議事堂を見学し、トロントに入ります。「D」コースに合流、バンフ、バンクーバー組と同一行動をとる6月18日(月)～30日(土)13日間コースも可能。

F ハリファクスとプリンスエドワード島(赤毛のアン)そしてRI国際会議8日間 ¥586,000
旅行期間：6月20日(水)～27日(水)
ビジネス10席
エコノミー15席

東京ーハリファクス①ープリンスエドワード島(赤毛のアン)②ートロント③ー東京

プリンスエドワード島は、一度は訪れたい島。ハリファクスはEコース同様、カナダ発祥の地。英、仏、米の激戦地であり、当地からプリンスエドワード島への行程は田舎の雰囲気を感じることができます。

G キューバ(ハバナ)と RI国際会議8日間 ¥528,000
旅行期間：6月20日(水)～27日(水)
ビジネス10席
エコノミー15席

東京ーハバナ③ートロント③ー東京

エアカナダ機で羽田からトロントへ直行、ここで乗り換え、首都ハバナに直行。キューバは治安も良く、革命家カストロ、チェゲバラの足跡、ノーベル賞作家ヘミングウェイの遺産も見どころです。ハバナ旧市街地は世界遺産。伊達藩支倉常長(はせくらつねなが)の像が海岸沿いにあります。

H ボストン、ボーツマス、サラガスプリングス、ナイアガラ滝訪問そしてRI国際会議9日間 ¥678,000
旅行期間：6月18日(月)～26日(火)
ビジネス5席
エコノミー15席

東京ーボストン②ーボーツマス①ーサラガスプリングス①ーナイアガラ①ートロント②ー東京

〈アメリカ独立戦争戦跡と日露講和条約締結の日米交流秘話〉
戦跡探訪家、和泉洋一郎氏ご同行
大会参加を機にアメリカ建国史を学び、日露戦争講和条約の締結地ボーツマスや、独立戦争の勝敗を決めたサラガの戦場跡等を巡ります。世界3大瀑布のナイアガラも必見。

※東京発着でご案内していますが、他空港からの発着もお受けいたします。

※ツアー参加者は大会参加登録の手数料を無料とします。

※ビジネスクラスをご希望の方はお早めにお問い合わせください。空席状況で料金が変動いたします。

※ツアーの詳細は別途に用意しております。ご希望の数だけお送りいたします。



日洋航空株式会社

TEL03-5774-5781 FAX03-5774-5783

観光庁長官登録旅行業第334号 社団法人日本旅行業協会正会員 海外緊急事故支援システム会員

お問い合わせ先 >>> フリーダイヤル：TEL0120-347016 フリーファックス：FAX0120-342315

〒107-0062 東京都港区南青山 6-13-2 ブルジョン南青山3階 MAIL:nas@nichiyo-air.co.jp URL:www.nichiyo-air.co.jp

総合旅行業取扱管理者：金澤 拓平 担当：金澤、浅田、長澤、江藤、天辻、根田

2018年 国際ロータリー年次大会 ROTARY INTERNATIONAL ANNUAL CONVENTION

トロント大会参加旅行のご案内 2018 Toronto

●大会開催地:カナダ/オンタリオ州・トロント ●大会期間:2018年6月23日(土)~6月27日(水)
●大会会場:エア・カナダ・センター、メトロ・トロント・コンベンション・センター【大会開会式は6月24日(日)となります】

- ◆旅慣れたお客様用に全くフリーのトロント3泊コースをAスペシャルとして設定いたしました。
- ◆Aスペシャルを除く全コースには6月24日(日)の日本人親善朝食会が含まれます。
- ◆大会地トロントでの送迎・観光等のバスは、弊社主催の他コースのお客様と混乗が基本となります。

充実の全12コース

■:直行便、○内の数字:宿泊数、(機):機中泊

A 大会開会式出席の旅 5日間(エア・カナダ直行便利利用)
最少催行人員:10名様【添乗員同行】(お一人様/エコノミークラス東京発着:2名1室利用)
6/23(土)▶6/27(水) ●旅行代金 **398,000円**
●燃油サーチャージ(目安7,000円:2017年10月4日現在)、海外空港諸税(目安4,900円:2017年10月4日現在)のほか日本国内の空港施設使用料が別途必要になります。
東京(機)▶トロント③(機)▶東京

F 大会参加と カナディアンロッキーとナイアガラ 8日間
最少催行人員:15名様【添乗員同行】(お一人様/エコノミークラス東京発着:2名1室利用)
6/21(木)▶6/28(木) ●旅行代金 **618,000円**
●燃油サーチャージ(目安7,000円:2017年10月4日現在)、海外空港諸税(目安7,750円:2017年10月4日現在)のほか日本国内の空港施設使用料が別途必要になります。
東京(機)▶カルガリー▶バンフ②▶トロント③▶ナイアガラフォールズ①▶トロント(機)▶東京

A スペシャル 大会地トロント フリー 5日間
最少催行人員:10名様【添乗員同行】(お一人様/エコノミークラス東京発着:2名1室利用)
6/23(土)▶6/27(水) ●旅行代金 **278,000円**
●燃油サーチャージ(目安7,000円:2017年10月4日現在)、海外空港諸税(目安10,430円:2017年10月4日現在)のほか日本国内の空港施設使用料が別途必要になります。
東京▶(米国内都市)▶トロント/空港泊③▶(米国内都市)(機)▶東京

G 大会参加と 東部カナダ(モントリオール、ケベック、オタワ) 8日間
最少催行人員:10名様【添乗員同行】(お一人様/エコノミークラス東京発着:2名1室利用)
6/20(水)▶6/27(水) ●旅行代金 **635,000円**
●燃油サーチャージ(目安7,000円:2017年10月4日現在)、海外空港諸税(目安4,900円:2017年10月4日現在)のほか日本国内の空港施設使用料が別途必要になります。
東京(機)▶モントリオール②▶オタワ①▶トロント③▶(カナダ内都市)(機)▶東京

B 大会地トロント滞在の旅 7日間(エア・カナダ直行便利利用)
最少催行人員:10名様【添乗員同行】(お一人様/エコノミークラス東京発着:2名1室利用)
6/23(土)▶6/29(金) ●旅行代金 **478,000円**
●燃油サーチャージ(目安7,000円:2017年10月4日現在)、海外空港諸税(目安4,900円:2017年10月4日現在)のほか日本国内の空港施設使用料が別途必要になります。
東京(機)▶トロント⑤(機)▶東京

H 大会参加と 赤毛のアンのプリンスエドワード島と世界遺産ルーンバーク 9日間
最少催行人員:10名様【添乗員同行】(お一人様/エコノミークラス東京発着:2名1室利用)
6/19(火)▶6/27(水) ●旅行代金 **698,000円**
●燃油サーチャージ(目安7,000円:2017年10月4日現在)、海外空港諸税(目安7,400円:2017年10月4日現在)のほか日本国内の空港施設使用料が別途必要になります。
東京▶(カナダ内都市)▶ハリファックス②▶シャーロットタウン②▶トロント③▶(カナダ内都市)(機)▶東京

C 大会開会式出席とナイアガラの旅 5日間
最少催行人員:10名様【添乗員同行】(お一人様/エコノミークラス東京発着:2名1室利用)
6/22(金)▶6/26(火) ●旅行代金 **420,000円**
●燃油サーチャージ(目安7,000円:2017年10月4日現在)、海外空港諸税(目安4,900円:2017年10月4日現在)のほか日本国内の空港施設使用料が別途必要になります。
東京▶(カナダ内都市)▶トロント▶ナイアガラフォールズ①▶トロント/空港泊②(機)▶東京

I 大会参加と 米国東海岸周遊(ワシントン、ニューヨーク、ボストン) 全日空[※]9日間
最少催行人員:15名様【添乗員同行】(お一人様/エコノミークラス東京発着:2名1室利用)
6/19(火)▶6/27(水) ●旅行代金 **798,000円**
●燃油サーチャージ(目安7,200円:2017年10月4日現在)、海外空港諸税(目安11,820円:2017年10月4日現在)のほか日本国内の空港施設使用料が別途必要になります。
東京(機)▶ワシントンD.C.①▶ニューヨーク②▶ボストン①▶トロント③▶(米国内都市)(機)▶東京

D 大会参加と カナダ満喫(ナイアガラ、ジャスパー、カナディアンロッキー、ビクトリア) 10日間
最少催行人員:15名様【添乗員同行】(お一人様/エコノミークラス東京発着:2名1室利用)
6/22(金)▶7/1(日) ●旅行代金 **785,000円**
●燃油サーチャージ(目安7,000円:2017年10月4日現在)、海外空港諸税(目安9,650円:2017年10月4日現在)のほか日本国内の空港施設使用料が別途必要になります。
東京▶(カナダ内都市)▶トロント▶ナイアガラフォールズ①▶トロント③▶エドモントン▶ジャスパー①▶バンフ②▶ビクトリア①▶バンクーバー②(機)▶東京

J 大会参加と キューバ 9日間
最少催行人員:15名様【添乗員同行】(お一人様/エコノミークラス東京発着:2名1室利用)
6/19(火)▶6/27(水) ●旅行代金 **598,000円**
●燃油サーチャージ(目安7,000円:2017年10月4日現在)、海外空港諸税(目安8,140円:2017年10月4日現在)のほか日本国内の空港施設使用料が別途必要になります。
東京▶(カナダ内都市)▶ハバナ②▶トリニダー①▶ハバナ①▶トロント③▶(カナダ内都市)(機)▶東京

E 大会参加と カナダハイライト(ナイアガラ、カナディアンロッキー、バンクーバー、ビクトリア) 10日間
最少催行人員:15名様【添乗員同行】(お一人様/エコノミークラス東京発着:2名1室利用)
6/21(木)▶6/30(土) ●旅行代金 **795,000円**
●燃油サーチャージ(目安7,000円:2017年10月4日現在)、海外空港諸税(目安9,650円:2017年10月4日現在)のほか日本国内の空港施設使用料が別途必要になります。
東京(機)▶トロント▶ナイアガラフォールズ②▶トロント②▶バンフ②▶バンクーバー②(機)▶東京

K 大会参加と 白夜の火の国アイスランド 10日間
最少催行人員:15名様【添乗員同行】(お一人様/エコノミークラス東京発着:2名1室利用)
6/23(土)▶7/2(月) ●旅行代金 **990,000円**
●燃油サーチャージ(目安14,000円:2017年10月4日現在)、海外空港諸税(目安13,820円:2017年10月4日現在)のほか日本国内の空港施設使用料が別途必要になります。
東京▶(カナダ内都市)▶トロント②(機)▶キルギョバイヤルクロイストゥル①▶セルフオス①▶レイキャヴィーク③▶(カナダ内都市)(機)▶東京

詳しい募集案内をご請求ください。ご請求は下記のフリーダイヤルお電話でお気軽に!

★ クラブ単位等で親睦を兼ねた特別コースの企画見積りも承っております、何なりとお申しつけください ★

お問合わせ・お申込みは
旅行企画・実施



ボンド保証会員



旅行業公正取引
協議会 会員



担当: ローター室 大山、上藤、曾我、松浦
Eメール:rot@tonichi.co.jp



東日観光株式会社 (09:00~17:30)
観光庁長官登録旅行業第270号 一般社団法人日本旅行業協会正会員
総合旅行業務取扱管理者:大谷 俊之
〒104-0045 東京都中央区築地4-7-5築地KYビル4階
☎03-5148-1730 FAX.03-5148-1827

0120-444-654

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う支店での取引に関する責任者です。この旅行契約に関し、担当者からの説明にご不明な点があればご遠慮なく左記の取扱管理者にお尋ねください。

国際ロータリー年次大会参加旅行は最も経験豊かな当社にご用命ください。

声

10月号の感想

『友』を読んで、「この原稿を書いた人にエールを送りたい!」「感動した」「知らなかった」などの感想、『友』そのものに關するご意見などを紹介します。

【対象記事】 目次(横P5)

【感想】米山奨学生の第一号がタイのソムチャード・ラタナチャタ氏であると知りました。近年は、中国出身の奨学生が多いように思いますが、タイやベトナム、フィリピンなど、幅広い国籍の留学生たちが支援されていくことを望みます。

門川RC 赤澤 始

【対象記事】

特集・日本と世界を結ぶ人づくり。財団設立から50年間の主な出来事(横P10~11)

【感想】今まであまり知らなかった、米山記念奨学会の財団設立からの流れが分かった。

米子中央RC 都田 修史

【対象記事】

特集・日本と世界を結ぶ人づくり(横P7~13)

【感想】先輩たちが、米山記念奨学会の財団設立から50年間積み上げてきた実績の偉大さを痛感し、今後の取り組みの励みになりました。

八戸南RC 西尾 和樹

【対象記事】

特集・ようこそ日本へ(訪日客支援編)(横P14~17)

【感想】世界中の友人と絆を結び、多くの懸け橋となる人材を育てているロータリークラブとして、訪日客支援の取り組みには感動しました。和歌山アゼリアRC 小阪 知

【対象記事】

特集・ようこそ日本へ(訪日客支援編)◇和歌山東南RC・土屋一博会員の「たま電車に4カ国語の圖書を寄贈」(横P17)

【感想】地域にも来訪者にも優しく、心温まる取り組みを知った。

袋井RC 山田 武男

【対象記事】

ロータリー財団100周年を祝う◇茅ヶ崎RC・大箭剛久会員の「財団学友の上岡敏之さん 新日本フィル交響楽団の音楽監督に就任」(横P26)

【感想】財団奨学生がその後、大いに活躍しているとのこと。ロータリー財団が学生を支援する制度は素晴らしいと、改めて思いました。

新所沢RC 徳永 真澄

【対象記事】

パズルdeロータリー(横P30)

【感想】2年ほど前から毎月、パズルの答えをはがきに書いて、20回以上応募してきました。10月号で初めて、当選者として名前が載りました。クラブのみんなに報告(自慢?)しました。

日本ロータリーEクラブ2650 西川 政美

【対象記事】

パズルdeロータリー(横P30)

【感想】ソムチャードの答えが出たものの、意味も内容も正直なところ分かりませんでした。調べてみて、米山奨学生第一号の名前であると知りました。パズルは解きやすく、よかったです。

柏崎中央RC 小林 博子

【対象記事】

スピーチ◇国際NGO・難民を助ける会理事長・長有紀枝氏の「難民問題今、何が起きているか」(縦P4~8)

【感想】人間として、どこまで本当に他人(他国の人)を思いやることができるかが試されます。

佐伯RC 亀川 隆久

【対象記事】

スピーチ◇国際NGO・難民を助ける会理事長・長有紀枝氏の「難民問題今、何が起きているか」(縦P4~8)

【感想】難民問題の真相に触れた感じで、深く考えさせられる点が多々ありました。

姫路東RC 中村 勉

【対象記事】

友愛の広場◇岡崎東RC・山内隆一会員の「元米山奨学生と再会」(縦P14)

【感想】自分も米山カウンセラーをした経験があります。就職して鹿児島から遠く離れた北関東にいます。会う機会がなかなかありませんが、フェイスブックで辛うじてつながっています。居住地域で学友会に入るよう勧めているところです。

鹿児島西RC 山之代秀行

【対象記事】

卓話の泉◇服部津貴子氏の「食育の話」(縦P18)

【感想】こ食(孤食・個食・固食・小食・粉食)という言葉を知りました。そうした問題についても初耳で、こ食を防ぐことでホルモンバランスや精神を安定させ、栄養価を高め、長寿にもつながるとは驚きました。

鈴鹿ベイRC 谷田 義弘

●本文200字以内。本文とは別に、対象記事名(例:〇月号「友愛の広場」、〇〇さんの記事)とお名前、クラブ名、連絡先(Eメール、電話番号)を付記しお送りください。

できました。奨学生からは「邸宅の規模に驚いた」「庭園が素晴らしかった」といった感想があり、開催してよかったと、ほっとしました。

その後、バスの中で恒例の「正しい温泉入浴法」を指導し、温泉へ。体を癒やした後は懇親会です。ここには新保清久ガバナールも駆けつけ、奨学生たちの心温まるスピーチやカラオケで盛り上がり、和気あいあいとした時間を過ごしました。

翌日は朝から宿泊施設前の海岸で清掃を行い、二日酔いの参加者も、心身ともにリフレッシュ。改めて、奉仕活動の大切さを認識しました。私たちロータリアンも日本文化に触れる機会となり、勉強になりました。

(新潟西RC 吉村鳳一・記)

元米山奨学生らと 毎年集まっています！

東京本郷ロータリークラブ

第二五八〇地区・東京都

当クラブは大学の多い、東京都心の文京区、台東区、千代田区を所在地域とするクラブです。そのこともあってか、創立から二十七年で計一七人の米山奨学生を受け入れ、現在でも一人を除いた全員と連絡が取れています。半数以上が日本で大学教授、各国政府関係

者、会社員、専門家として活躍しています。

米山記念奨学事業の趣旨にのっとり、国際貢献しようという気持ちと、彼らの積極性の相乗効果で、それぞれの家族を巻き込んだ親善活動を盛んに行うようになりました。今では、会員の家庭に招いたり、一緒に旅行したり、奨学生の親も含めた交流、結婚式への招待などを普通に行っています。

奨学生が累計一〇人を超えた頃、帰国した元奨学生が来日するのに合わせて、「米山友の会」と称して集まるようになり、それが現在の、元財団奨学生と元青少年交換学生（ローテックス）を交えた「本郷国際友の会」へと発展していきましました。

年に一回の本郷国際友の会と、家族を含めて招待するロータリーの忘年会



例会会場ホテルで本郷国際友の会を開催

以外にも、勉強会や母国への訪問旅行会など、幅広く交流しています。

このような各学友との交流はどのクラブでも行っていると思っていたのですが、意外にレアケースである知り、少々驚いています。皆さまも学友たちとの交流を維持、再開し、ロータリーの醍醐味を体験してみたいかがでしょうか。

ちなみに当地区は地区大会において、米山学友、財団学友、ローテックス、ロータリー平和フェローとロータリアンとのファミリーパーティーを開き、好評を博しています。

(松下和正・記)

内外よろず案内

第一九回ロータリー国際囲碁大会のご案内

ロータリー囲碁同好会（GPFR）主催「第一九回ロータリー国際囲碁大会」を、四月二二日に東京・市ヶ谷の日本棋院二階大ホールで開催します。第二五八〇地区と第二七五〇地区共催、ホスト・東京RC。毎年、韓国と台湾と持ち回りで開催している大会で、三クラス、計時制、こみ六目半、スイス方式による四回戦のハンディキャップ戦。参加はメールアップになり、ご家族の参加も歓迎です。締め切りは三月二〇日。定員

<http://www.gopfr.org/>

Annotation

地区補助金
(District Grants)

ロータリー財団の使命に当てはまる活動を支援するために、地区に一括で支払われる補助金です。地区は年に一度、補助金を受領し、奨学金や職業研修チーム（V.T.T.）の派遣、奉仕活動の支援、災害救援、地元や海外での奉仕プロジェクトに使うことができます。

地区補助金は、ロータリアンがプロジェクトのために柔軟に活用できる補助金であり、その全額は地区財団活動資金（DDF）の配分によって賄われます。



多くの感動とともに 30 年目の音楽会

の歌声や演奏に聞き入り、そんな中で見せる驚きや感心の眼差しから、私たちは感動をもらっています。

今年九月一五日の音楽会では、もう一つの喜びがありました。三〇年前、小学六年生でこの音楽会の舞台上に立つた方が、子どもの保護者として来場してくれたのです。長年支援していただければ、二代にわたり演奏会に参加する親子がいるのではないかと、各校の協力を得て探してもらい、こうして知るところとなりました。今までは、この音楽会に参加した子がプロの音楽家になり、招待演奏を務めたこともありました。

こうした感動を糧に、クラブではこれからも音楽を愛し平和を愛する子どもたちを、ずっと支援していききたいと思っています。

同じ網の肉を食い、 膝を交えて語り合う

地区多摩東グループ
第二七五〇地区・東京都

九月二日、ロータリアンの経営する稲城市の梨花幼稚園で、ナシもぎとバーベキュー大会を企画。当日は台風一五号の接近により開始を一時間遅らせ、バーベキューだけとなったが、台風一過で雨雲が消え、澄み渡る青空の下での爽やかなイベントとなった。

この行事は、多摩東グループ全一〇クラブの若手会員が、クラブの垣根を超えて親睦を図ることにより、ロータリーへの帰属意識を深め奉仕の精神を涵養すること。また、そうした親睦のあり方を外部に周知することで、ロータリーの公共イメージを向上させ、会員家族にロータリーの活動を知ってもらうことを目的に行った。

会員と家族、米山奨学生四人を含む総勢九二人が参加。各クラブが近況を発表し、奉仕への取り組みを披露、米山奨学生に熱いエールを送るなどして親睦を深めた。当日は幼稚園で入園説明会が行われており、保護者にもロータリーをアピールすることができた。東京稲城RCは歓談の中で、開催予定の英語スピーチコンテストの審査員



米山奨学生も交えてバーベキューで交流

として、米山奨学生に参加してもらうことを承諾してもらっていた。垣根を越えた交流が、早速実ったようだ。

同じ釜の飯ならず、同じ網の肉を食い、膝を交えて語り合うことで互いの理解を深め、ロータリアンとしての自覚を持つことができた。参加者からは早速、来年の開催を期待され、実り多い秋の行事になったと実感した。

(東京調布むらさきRC 粕谷啓之・記)

米山奨学生と 一泊二日の交流会

第二五六〇地区

新潟県

九月三〜四日、当地区の米山記念奨学委員会主催で「米山記念奨学生親睦交流会」を開催しました。

交流会は、主に奨学生とカウンセラーの交流を図り、絆を深めてもらう目的で毎年開催しています。奨学生同士の横のつながりをさらに強化し、学友となつてからも積極的に活動してもらえるよう、二年前からは一泊旅行として実施しています。

初日は秋晴れの下、現役の米山奨学生とカウンセラー、地区の役員、米山学友会から房文慧会長、詹秀娟直前会長をはじめ計五十一人が集まり、午前九時半に新潟駅から村上市に向けてバスで出発。市郷土資料館（おしやぎり会館）では村上市の歴史や祭り、文化を学び、サーモンハウスでは鮭の町・村上の伝統的な鮭料理も堪能しました。午後は豪農として知られた渡邊邸を見学。係員から説明を受け、当時の富裕層の生活や文化に触れることが



おしやぎり会館を見学



プロの指導を受ける中学生たち

千葉ジェッツの 選手らによる出前授業

船橋ロータリークラブ
第二七九〇地区・千葉県

ると聞きます。クラブでは今後も、状況の把握に努めたいと思いました。
(五十嶋一成・記)

前年度から社会貢献として、クラブでは船橋市内の中学校で出前授業を行っています。今年度は九月二二日、船橋市立習志野台中学校体育館において、プロバスケットチーム・千葉ジェッツの大野篤史ヘッドコーチと船橋市出身の石井謙祐選手、原修太選手を迎え、二年生を対象にスポーツを通じた出前授業を行いました。

授業は二部構成で行い、クラブから

中学校にクリアファイルを寄贈しました。第一部では大野コーチ、石井・原両選手から夢を持ち、夢を追いつけることの大切さ、いまは夢を持つていない人も夢を探し求めていくことが大切であるとの話があり、多くの生徒がうなずいていました。その後の質疑応答では「挫折した時、どうしたら立ち直れるか」といった質問があり、選手たちはそれぞれの経験を元に答えていました。

第二部では選手による実技披露、続いて生徒代表二〇人への実技指導を行いました。目の前で見るプロ選手の技術に生徒たちの目はくぎ付け。憧れの選手による丁寧な指導に生徒たちは感動を覚えたようです。

短い時間ではありましたが、一流のコーチ、選手から学ぶ生徒たちの目はキラキラと輝き、将来、未来へと大きく羽ばたく姿が目に見えかぶようでした。社会貢献の重要性を、クラブでも再認識しました。

思い立ったら即行動！ 西内ひろさん講演会

越谷北ロータリークラブ
第二七七〇地区・埼玉県

八月二六日、当クラブがサポート役を務め、獨協大学にて第三〇回イン

ターアクト年次大会を開催しました。講演者には、モデルやタレントとして、また世界三〇カ国以上を巡り、自身の才能を生かした写真集を発売するなど幅広く活動する、西内ひろさんを招きました。

西内さんは「海外に行く前、誰でも不安であれば期待もある。その時に一歩踏み出せば、自身の視野も広がり、可能性を広げることができる」と、六〇枚を超える写真を映しながら語ってくれました。生徒からは、二〇一四年ミス・ユニバース東京代表に選ばれた彼女が「きれいすぎて直視できない」という声も上がっていました。講演後には質問しようとして手を上げる生徒が多く、司会が質問の受け付け終了を告げるほど、心に響く講演となったようです。



午後は分科会で意見交換

また、午後は講演の内容を踏まえ、海外へのチャレンジ、ボランティア活動をテーマにした分科会を開き、意見を交換しました。

当日夜、西内さんが早速SNS（会員制交流サイト）のインスタグラムに大会の様態を載せると、参加したインターアクトたちからのコメントが寄せられ、それに西内さんが丁寧に返信していました。

クラブでは今後も生徒たちのチャレンジを後押しするきっかけを作りたいと考えています。

三〇年目の音楽会

名古屋名東ロータリークラブ
第二七六〇地区・愛知県

当クラブは、名古屋市内名東区内の小中学校二七校が参加する「名東区中学校連合音楽会」を、協賛団体として三〇年にわたり支援してきました。

支援内容は、プロの音楽家も演奏する「日本特殊陶業市民会館」の大ホールで発表する機会を子どもたちに提供すること。子どもたちにエールを送ってもらうと、保護者席も確保。さらに、音楽への感動を一層深めてもらうと、毎年、プロの音楽家を招き、ミニ演奏会も開いています。

音楽に興味のある子どもたちがプロ



自ら TENT を設営する子どもたち

一人の計一三人が参加しました。キャンプ場到着後、自分たちのことは自分たちで行うという基本方針に沿って、子どもたちでテントを設営。その後はテニスや虫捕りに興じていましたが、翌日のための釣りざおを竹やぶから調達したり、夕食のバーベキューの準備をしたりと、大忙しでした。大きな肉に豪快にかぶりつき、ピザ窯で焼いたピザをほお張る姿には、見ているだけで笑みがこぼれました。食事の後、自分たちで後片付けをし、花火を楽しみましたが、周りに民家がないため、都会ではあまり選べない火柱や音の出る花火に興奮ぎみで、夏の良い思い出になったと思います。

二日目は五時起床、外来魚駆除を目的とした釣りは順調で、釣った数を競う子どもたちの目は輝いていました。

その後、キャンプ場でホットドッグを食べ、後片付けをしつかりと行い、解散式。滋賀県立琵琶湖博物館を見学し、帰途に就きました。

二日間を通して何かを学んだであろう参加者たちの精かな顔つき、極上の笑顔は、会員にとっても最高の経験でした。クラブ独自の青少年活動は正直、骨が折れましたが、この感動を伝えたいとの思いから寄稿しました。

(中村仁一・記)

自然の中で 障害児たちと交流

行橋みやこロータリークラブ

第二七〇〇地区・福岡県

当クラブでは九月六日、知的障害のある子ども総勢一四六人を引率して、福岡県京都郡みやこ町の里山ビオトープ「くまわりファーム」で自然観察会を実施、地域の人たちやロータリアンと交流を深めました。

一緒に行動することで地域の人たちが障害児への理解を深めると同時に、障害児にとってもロータリアンや地域の企業に携わる人々たちへの理解を深めることができます。また、彼らの就労と自立を目指した「生きる力」を育もうというプロジェクトです。

加えて、里山での自然や暮らしを体



自然の中で、障害児たちと交流

感すること、自然と人との共存、自然保護の視点を持つことができ、こちらも事業の目的としています。実施に当たって、事前に公共機関や特別支援学校（一財）九州環境管理協会、看護師、保護者との連携を図りました。

当日は田んぼや水路の生き物と触れ合い、子どもたちは元気いっぱいでした。外で遊ぶ機会の少ない子どもたちは目をキラキラと輝かせ、日頃、人と接触したからという子も、自然の中では会話をすることができました。

クラブにとっても日頃接する機会がない地元の有志たちと連携を図り、里山の良さを体感することができました。子どもたちには社会とは何か、自然とは何かを感じてもらい、自立への準備につながれば、うれしく思います。今回の事業を実施してみて、これは地

域発展にもつながるプロジェクトだと思いました。

(小野利恵・記)

点訳サークルに 点訳用パソコンを寄贈

東京あすかロータリークラブ

第二五八〇地区・東京都

クラブは九月九日、創立三〇周年記念事業の一環として地区補助金を活用し、(社福)読売光と愛の事業団の点訳サークル・ウイズに、点訳用ノートパソコン六台を寄贈しました。

二年前にウイズの代表に卓話をしてもらった際、視覚障害者のための点訳として一般図書だけでなく、個人からの直接依頼や、専門性、迅速性が必要とされる出版物も点訳しているため、点訳用のパソコンの消耗が激しく、慢性的な財源不足により、古くなったパソコンをギリギリまで使っていると聞きました。

今回のプロジェクトで恩恵を受ける人は、多くの視覚障害者たちです。社会の中で当たり前に点訳物が存在することを目指し、クラブでも行政や企業に働きかけ、情報環境の改善に寄与できればと思います。

ウイズのような小さな団体で支援を必要とされているところがたくさんあ

ROTARY AT WORK

文章編

ロータリークラブと地区の活動を紹介、600字以内。字数を超える場合など、編集させていただきます。関連写真があれば添付してください。

論語で

壬生っ子の力を発揮！

壬生ロータリークラブ

第二五〇地区・栃木県

江戸時代、学問に熱心な藩主・鳥居忠英（一六六五〜一七一六）が下野壬生藩の藩校「学習館」を創設、論語教育が行われていた歴史を踏まえ、当地・壬生町では現在、小中学校で論語の素読を推進している。今年度、当クラブは町とタイアップして論語学習の成果を確認するとともに、壬生町と論語との関わりを全国に発信すると決めた。

九月三〜一〇日にかけて町内の七カ所で、孔子を祭る湯島聖堂公認の「壬生論語検定三級（初級）検定」を実施。町内の小中学生総勢四三八人が受験した結果、全国初の「団体での最多受験者数」の実績を得た。



論語検定の会場でも受付などで協力

クラブではその検定試験を全面的に支援。地区補助金を活用して、子どもたちの検定料を援助し、会場では受付と試験室への誘導を行った。

子どもたちは普段から論語に親しんでおり、初級の検定とはいえ、難しい漢文を暗唱する姿はリリしく、論語の内容もさることながら、試験を受ける態度も素晴らしかった。話題性は大きく、新聞各社やテレビ局からの取材も多かった。

町を挙げての取り組みで準備も大変だったが、そのかいがあり、受験者は全員合格。地域の人たちがロータリーの活動を理解し、広く知ってもらったのできた事業でもあった。

歴史ある壬生町の論語教育は今後、ますます盛んになることだろう。今後

も地域一体となった活動を積極的に支援していきたいと思う。

宇佐神宮・子どもボランティアガイド講座

宇佐2001ロータリークラブ

第二七二〇地区・大分県

当クラブは前年度に続き、今年度の行事として、宇佐神宮の「子どもボランティアガイド講座」を実施しました。

八月一日、宇佐市にある大分県立歴史博物館で開講式を開き、指導にあたる観光ガイドの会の村上信義会長が「勉強して宇佐の良いところを、多くの観光客に紹介してほしい」とあいさつ。受講生たちはその後、約一カ月間にわたり九回の講習を受け、同月二九日もって修了式を迎えました。

前年度は初級講座の受講生が八人でしたが、今年度は中級講座に小学生が二人、初級講座に小学生一三人、中学生二人の計一七人が参加、ベテランガイドの指導を受け、宇佐神宮の歴史や案内の仕方などを習いました。子どもたちにも同行し講座を聞いてみると、地元の人間として恥ずかしいくらい歴史を知らず、建築物の呼称の間違いにうつむく日々でした。私自身、いい勉強の機会だったと思います。



観光ガイドの講習を受ける子どもたち

講習中は猛暑日が続く、私たち会員も子どもたちやガイドたちと大汗をかきながら神宮内を歩き回る日が続きました。来年の春休みがガイドとしてのデビュー予定です。子どもたちの元気でよく響く声で参拝客を迎える日を、今から楽しみにしています。

(奥政弘・記)

自分のことは自分で ニコニコキャンプ実施

大阪平野ロータリークラブ

第二六六〇地区・大阪府

当クラブは八月二六〜二七日に琵琶湖のキャンプ場で、小中学生の健全育成を目的とするニコニコキャンプを実施。中学一年生二人と会員の子ども

ROTARY AT WORK



鳥になってふるさとをみよう
 〈大牟田南RC〉
 クラブ創立50周年を記念し、諏訪公園で「ドリーム・バルーンフェスタ」を開催した。約3000人の大牟田市民が熱気球の搭乗を体験。三池港や市内を上空から眺め、ふるさとの光景を楽しんだ。他にも大牟田商工会議所青年部による「食の市」、大牟田移動商業組合の露店もあり、大変にぎわった。
 (9月23日 第2700地区 福岡県)



**みんな集まれ！
 自然とアートの秋フェスタ**
 〈宝塚中RC〉
 宝塚市で行われた「みんな集まれ！自然とアートの秋フェスタ」で、クラブ創立25周年事業の一環としてポリオ撲滅啓発のブースを設営し、オリジナル缶バッジ制作を行った。「その場で撮影してオリジナル缶バッジを作りませんか。家から好きな絵や写真を持ってきてOK！」と触れ込み、2日間で150人以上の缶バッジを作った。子どもから大人まで大盛況で、ポリオ撲滅の募金も多くの協力を得た。
 (9月30日～10月1日 第2680地区 兵庫県)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK



**カザフスタンと日本の
 かけはしになりたい**
 〈太宰府RC〉
 遠賀RCが世話するカザフスタン出身の米山奨学生で、産業医科大学博士課程3年のトリモバ・グルザンさんを迎えて卓話をしてもらった。グルザンさんは母国や大学の研究について話し、母国の舞踊も披露。日本の着物に興味があるということと、クラブからは男性・女性各2人が着物姿で出席し、カザフスタンの民族衣装のトリモバさんも喜んでた。
 (10月3日 第2700地区 福岡県)



**3000回目の例会祝賀
 長良川のアユで親睦** 〈美濃RC〉
 1956年にRI認証を受けてから62年目の同クラブで、3000回目の例会を無事迎えた。会員企業の長良川のアユ(アユを捕る仕掛けの一種)での職場例会と、世界農業遺産に認定された長良川のアユを食す祝賀親睦会を開催。古参会員から新会員まで昔の話やクラブの歴史について語り合い、親睦を深めることができた。
 (10月6日 第2630地区 岐阜県)

ロータリークラブ奉仕活動をカラー写真で紹介。写真と150字程度の説明文、字数を超える場合は編集させていただきます。必ず活動日を入れてください。記念写真(集合写真)は掲載できません。

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK



木潮会との懇親会を開催
 〈和歌山市内9RC〉
 和歌山市内の9つのRC（和歌山・和歌山アゼリア・和歌山東・和歌山城南・和歌山北・和歌山南・和歌山中・和歌山西・和歌山東南）と木潮会（大手マスコミ9社と地元2社）との懇親会を市内のホテルで開催。各クラブの1年間の社会奉仕事業などをPRすることを主目的に行っている。各クラブの配布資料をもとに年間事業をPRし、木潮会との交流を深めた。
 （8月30日 第2640地区 和歌山県）

ROTARY AT WORK



**12歳から80歳まで
協同クリーンハイク**
 〈高槻RC／高槻中学校・高等学校1AC〉
 爽やかな秋晴れのもと、下は12歳、上は80歳までの総勢26人（インターアクター15人、引率教師2人、ロータリアン9人）で、地域に親しみ、社会貢献の精神を培う。また、「社会人目線での奉仕活動について学ぶ」ことを目標に、高槻高校から芥川桜堤公園までの片道約5kmの道のりを、清掃しながら歩くクリーンハイクを行った。
 （10月1日 第2660地区 大阪府）

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

**ビール電車「酔電」で
ローカル線支援例会**
 〈松江南RC〉
 島根県東部のローカル線・一畑電車に乗り、夜間例会・懇親会を開催した。島根県は西部のローカル線の廃止が決定するなど、少子高齢化と共に厳しい状況にある。この現状を再認識し、利用促進の観点と、観月しながら懇親を図ることを目的に実施。今回、中秋の名月が見られる10月4日より早かったため満月とはいかなかったが、いつも以上に会話が弾んだ。
 （9月25日 第2690地区 島根県）



ROTARY AT WORK



**11チームによる少年少女
サッカー大会開催**
 〈島田RC〉
 島田市民グラウンドで「第41回島田ロータリー杯争奪サッカー大会」を開催した。島田市、吉田町、川根本町の1市2町から全11チームの少年少女が日頃の修練を競い合う大会となった。保護者と会員も多数観戦し、大変にぎわった。保護者と子どもたちにはロータリーのポリオ撲滅活動について説明し、支援のための寄付を募った。
 （9月24日 第2620地区 静岡県）

ROTARY AT WORK



小学生が社会で働く車の 仕組みを学ぶ〈江田島RC〉

江田島市内の小学生85人に働く車の仕組みを学んでもらおうと、小学校にタンプカーやパトカー、消防車など14台が集合。「じどう車くらべ」という学習の一環で、江田島RC、警察署、消防署がそれぞれ提供した車両を見ながら学習した。児童は「どれも大きくてびっくり」「一度に多くの車が見られた」と大興奮。翌日には地元新聞でも報道された。

(9月19日 第2710地区
広島県)

ROTARY AT WORK



第10回一宮中央ロータリー 杯ミニサッカー大会

〈一宮中央RC〉

台風一過の好天に恵まれる中、第10回一宮中央ロータリー杯ミニサッカー大会を開催。9歳以下の部と7歳以下の部の子どもたち202人が参加。記念すべき第10回の開会式には一宮市長も出席し、子どもたちへ激励の言葉も。白熱したプレーに、見守るコーチや保護者は真剣そのもの。運営側も気が抜けない状況だったが、子どもたちの笑顔や悔し涙が見られ、充実した一日となった。

(9月18日 第2760地区 愛知県)

ROTARY AT WORK



児童養護施設に遊具贈呈

〈大分RC〉

例年クリスマスプレゼントを贈っている児童養護施設「小百合ホーム」に、地区補助金を活用して組み立て式滑り台とブロックを贈った。当日は麻生益直会長以下会員5人と大分東明高校IACのインターアクター4人で訪問し、遊具の設置後、小山幸恵施設長に目録を手渡した。施設長から感謝のあいさつ、子どもたちからも「ありがとう」と大きな声でお礼があり、早速元気に遊んだ。クラブでは今後も取り組みを続ける。

(9月24日 第2720地区 大分県)

ROTARY AT WORK



会員による例会場の ビフォーアフター

〈岩槻RC〉

いつも使用している例会場の内装を会員有志で改修した。会場オーナーの理解もあり、塗装業を本職とする会員の協力で、天井と壁面を塗りかえ、大変明るい例会場に生まれ変わった。参加できなかった会員からはSNSやメールなどを通じて応援や励ましのコメントが届き、途中で差し入れもあり、例会運営は会員全員で成り立っていると実感する一日となった。

(8月27日 第2770地区 埼玉県)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK



祭りでもポリオ撲滅活動
 〈諫早多良見RC〉
 「2017のんこ諫早まつり」で、飲料水の販売とポリオ撲滅募金活動を実施。ポリオ撲滅活動などを紹介するパネルを展示した。事前に行った地域フリーペーパーや新聞での告知が功を奏し、ブースはにぎわいを見せ、活気にあふれた。飲料水の売り上げ収益の全額と募金を加えた4万9603円をポリオプラス基金に寄付した。
 (9月16日 第2740地区 長崎県)

ROTARY AT WORK



患者家族滞在施設でペンキ塗り
 〈横浜南RC〉
 難病の子どもを持つ家族のための宿泊施設「ファミリーハウス「リラのいえ」」で塗装や清掃の奉仕活動を、同クラブ提唱の横浜南RACと一緒にいった。「リラのいえ」は以前から支援しているが、今回はロータリー財団の地区補助金を受けて実施。気持ちのいい気候の中、慣れないペンキ塗りを一生懸命楽しかった。
 (10月1日 第2590地区 神奈川県)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

警察の高齢者向けセミナー&コンサート開催
 〈藤岡RC〉
 みかほみらい館において、地域活動として藤岡警察署から講師を招き、高齢者のための安全運転、特殊詐欺対策についてのセミナーを開催した。終了後、クラブと長年交流のある声楽家・松原真介氏の独唱をはじめ、筆(そつ)とピアノによるコンサートを行った。田中久夫ガバナーのあいさつもあり、有意義かつ楽しめる催しとなった。
 (10月8日 第2840地区 群馬県)



ROTARY AT WORK



小倉山特別保存地区竹穂垣補修改善活動
 〈京都洛西RC〉
 京都嵐山の小倉山特別保存地区にある竹穂垣の補修改善を実施。地元住民や、クラブが提唱する京都洛西RACの会員・OBの協力を得て行った。クラブが世話するハンガリー出身の米山奨学生や、地元中学校からも50人の生徒が参加し、自分たちの手で地域の景観を守る活動の大切さを体験してもらった。
 (9月30日 第2650地区 京都府)



ロータリー アットワーク

ROTARY 写真編
AT WORK

「心はいつも故郷に」 吉田昂城君。ピアノ独奏会

第2530地区内ロータリアン有志実行委員会

福島県

9月23日、相馬市の音屋ホールで、吉田昂城君の地元初のピアノリサイタルを開催。一時帰国中の彼の演奏を地元の人たちに聴いてもらい、彼の勉学支援のための寄付を募ろうと、地区内ロータリアン有志実行委員会が主催しました。当日は約150人が彼の奏でる感謝と祈りの旋律に聴き入りました。

6年前、オーストリアのロータリアンと同国政府の招待を受けた「被災高校生招待プロジェクト」で、東日本大震災で被災した福島の高校生23人がオーストリアを訪問。浪江町の自宅を追われた当時15歳、相馬東高校1年の吉田君もその一人でした。日本大使館でのパーティーで、彼のピアノリスト志望の夢を知った現地のロータリアンが演奏の場を設けたところ、多くの人を魅了。その縁で、帰国後在日オーストリア大使公邸で演奏した際もオーストリア大使を驚かせ、強く留学を勧められたのです。同国や地区内外のロータリアンらの尽力で留学の道が開け、ブルックナー私立音楽大学の教授に認められ、2013年、17歳で飛び級での大学入学を許されました。ドイツ語も英語も話せなかった少年がオーストリアで一人暮らしをしつつ語学を学び、猛勉強の末難関を突破。2015年からは世界最高峰・ウィーン国立音楽大学ピアノ科に入学し、一度は諦めたピアノへの夢を実現するため勉強中です。「ピアノは弾き手の魂がこもる不思議な楽器です。僕はさまざまにチャレンジしながらずっとこの不思議な楽器と共に生きていきたいと思っています。僕はウィーンの空の下にいますが、心はいつも故郷を思っています」。吉田君の活躍は、私たちに一つの希望を与えてくれます。

(地区青少年奉仕委員長 廣澤俊樹・記)

語らえば蝦夷から来たと秋遍路

徳島・阿波池田

山下 玲子

またしても独りの夜長ニ―チエ読む

千葉・市川

照井 親資

唄手が唄に酔ひけり風の盆

東京ワセタ

福地桂之助

芋茎むく妻の手青く染まりけり

神奈川・川崎西

吉田 恵一

大根の種流るるや篠突く雨

愛知・蒲郡

本多 幸子

爺と婆広ぐ継ぎ接ぎ糊筵

三重・名張

城山 勝紀

而して六畳広し秋の暮

北海道・登別

寺島きしを

美しきものに夜空のいわし雲

大阪・堺フェニックス

米田真理子

悔やんでもくやんでも子は秋彼岸

大阪・堺

堤 淳

聴き納めかもと聴き入る鉦叩

兵庫・神戸西

村野 利昭

領巾振の山を一気に渡る鷹

佐賀・伊万里西

田中 南嶽

秋茄子や網目を入れていざ焼かむ

埼玉・川口中央

坪井 和枝

露の玉ひと葉の先にとどまれり

愛知・名古屋錦

吉田 滋代

物あればすぐに掴まり木歩の忌

埼玉・日高

落合 好雄

蜻蛉のとまる休憩の登山靴

東大阪東

溝畑 正信

山の端の陽のしずみゆく刈田原に
白くかげろう白鷺家族

茨城・古河東

小山 幸子

憐れなり蛇に見込まれ生命絶つ
雀を深く埋めて合わす手

新千葉

菊地 忠

みまかりし友の恋しよ彼岸花
赤くはなやぐ青春ありき

東京荒川

井上 久子

幼子をキャリーに乗せて若夫婦
コーヒーカフェに入るころ

東京ワセタ

福地桂之助

大谷にて突然目に入る千手観音
太古の昔しのぼる石壁

神奈川・川崎西

吉田 壽枝

八十五の兄と中国大明寺の
鑑真和上の像に跪く

岐阜加納

鶴飼 武彦

虫の声も老の耳には聞きとれぬ
秋風のみが身に沁み来る

富山・魚津西

加納 綾子

丹精に君が育てし新米の
ほっこり艶めく夕餉の卓に

石川・金沢百万石

石丸 恭子

人気なき参道ゆけば我が杖の
音のさみしく森に木霊す

神奈川・相模原

佐藤 清一

「わっしょい」の声微かする秋祭り
過疎変わらねど人いるあかし

愛知・新城

鳥居 栄一

濡れ縁に寝ころがりいて月見れば
月が私をじっと見ている

和歌山・田辺

山路 守

鳩あまた原爆ドームの上を飛ぶ
七十二年の歳月重し

岡山・倉敷東

吉岡 洋子

人生の歩幅を変えて見るドラマ

長崎・諫早

下釜 貞志

届け出の順だと聞けば逆らえぬ

大阪西

鴨谷瑠美子

逢える日を忘れるような恋でした

新潟

小林 悟

洗い髪絡ませのぼる苅月

神奈川・横須賀

物井 宏介

婚活終活みんなまとめてやってます

大阪・堺清陵

物種 唯修

お隣は左遷だろうか送別会

高知西

山岡 陸宏

トロッコ列車サルの見送り喜ぶ子

神奈川東

茂木 知子

反省会つい飲み過ぎて反省す

新潟・吉田

佐藤 良一

顔を見てすぐ分かります回復度

東京日本橋東

井口 弘子

雑学を会話に挟み歳がばれ

埼玉・入間南

大野 快三

病院に入りたくないと言う医師

鳥取

塩 宏

選挙権酒とタバコは無関係

神奈川東

我妻 隆邦

ジェネリック見栄で断り後悔す

埼玉・熊谷龍原

森田 光彰

親は並こども特上躊躇なく

大阪大淀

長谷川眞哲

足腰を鍛えてそつと湿布する

埼玉・加須

堀越 康司

投稿規定 ◇雑詠 ◇クラブ会員、家族 ◇一か月に葉書一人
一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇作品の横にクラブ
名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』俳壇係宛

投稿規定 ◇雑詠 ◇クラブ会員、家族 ◇一か月に葉書一人
一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇作品の横にクラブ
名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』歌壇係宛

投稿規定 ◇雑詠 ◇クラブ会員、家族 ◇一か月に葉書一人
一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇作品の横にクラブ
名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』柳壇係宛



長谷川 權



カッシーニとの永久の別れや秋の夜

大阪心斎橋 米田 文郎

カッシーニは一九九七年、アメリカとヨーロッパが共同で打ち上げた土星探査船。二〇一七年秋、土星の大気圏に突入して燃え尽きた。秋の夜長、はるかな宇宙への想い。

酒瓶と共に臥したる夜長し

鳥取・倉吉 馬野慎一郎

酒好き、あるいは酒飲みに撞れる人の句である。飲み明かして酔いつぶれて眠ってしまった。絶世の美女ではなく、空っぽの酒瓶と共寝というところ、かわゆい。

卒寿の師傘寿の子弟温め酒

福岡城南 吉武 草徑

先生は九十歳、教え子たちも八十歳。かつては若い先生と子どもたちだった。同窓会といっても、集う人も少なからう。当然、飲めや歌えやではなく、酒はゆるりと温める。

輪郭のしんと定まる月夜かな

愛知・名古屋錦 石井 弘子

肉眼で見れば乱視でなくても幾重にかぶれて見える満月も、心眼で仰げばくっきりと澄みきつて見える。「しんと定まる」がみごと。月のみならず夜が澄みわたるようでもある。

銀漢や富士山頂の硬き岩

埼玉・戸田イブニング 柴田 勇

富士は仰ぐ山であって登るものではない。毎朝、富士の麗しい姿を眺めて暮らしていると、いよいよそう思う。この句、山頂の岩を詠む。ゴツとあるその存在感がいい。



馬場あき子



我が面を包みて余る葉を分けて
霜振る前に里芋を掘る

神奈川・川崎西 吉田 恵一

里芋の葉は笠になるほど大きい。この歌の上の句は、里芋畑を分けすすみなながら、その芋の葉の大きさを如実にあらわしている。仲秋の名月のころ里芋はおいしくなる。「霜振る前」という季節感が印象的である。今はあまり霜も降らなくなつたが、かつては一月には霜が降つた。その前の心急ぎの作業ながら、どこか楽しそうな雰囲気がある。ユーモラスな上句の表現によるものだろう。

いつまでも嘯めると思っていた吾が

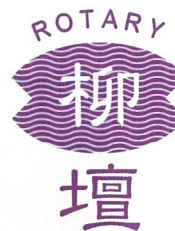
雨八〇二〇は夢のまた夢

茨城・常陸太田 小祝 年織

八〇二〇（はちまるにまる）をこ存じだろうか。これは八〇歳で自前の雨八〇本あるかどうかの謎記号。あれば健康疑いなしの数字なのだ。作者はそれは「夢のまた夢」だと言われているので、きつと雨のお悩みをもつておられるのだろう。洒落（しゃれ）たことばで歎（なげ）いているところにゆとりがみえる。作者のお名前がまたとてもすばらしい。名字に併せた名に祝意があつて思いがこもっているようだ。

新しき友を迎える初例会
私の心も若返りたり

秋田・能代 成田 繁穂



てしま晩秋



ご先祖に叱られに來た墓参り

青森・五所川原中央 小野 順蔵

「お前さん、あのなあ」「えっハイハイ……」。怒られてもほめられても落ち着いて素直になれるところ、そこがお墓なのです。「親父さん、今日も十分叱られに來ましたよ」

極端に真理はないと民の声

北海道・斜里 辻 舒宏

経営者、学者、政治家、指導的立場にある人の偏見に満ちた言動は、一般の方の常識や気持ちからは受け入れがたいものがあります。最近はこのような状況が多方面に見受けられます。

血圧の敵とは知らずカッパ麵

香川・高松 大平 昇

こんなに塩気が多いとは……一時期はずいぶんと騒がれていた塩分過多。それを実践していた人たちがいつの間にかマスコミなどに踊らされた形で「美味（うま）さ追求」に。気をつけましょうね。

満月や無理やりウサギ探してる

奈良 寺田 康宏

『あなた何歳になったの？ 月の兎（うさぎ）だなんて子どもの話、まだしているの』などと言で追い込んでしまつてはロマンも夢もないですよ。人生余裕を持つて生きたいものです。

約束に縛られている薬指

大阪東淀川やまち 小坂 克彦

男性ホルモンの話

大東製薬工業(株)
代表取締役社長 福井 厚義

ホルモンとは、特定の器官に対して作用する物質です。ホルモンには多くの種類がありますが、その中でも男性ホルモンは男らしさに関係します。代表的な男性ホルモンであるテストステロンは、体に作用するだけでなく、アグレッシブな精神作用をもたらします。

近年注目されているのは、テストステロンの分泌が減ると善玉コレステロール(HDL)が減る一方、悪玉コレステロール(LDL)が多くなり、血管の状態に悪影響を及ぼすことです。毛細血管の塊と言える陰茎は、血管の状態が悪くなれば真っ先に影響を受けてED(勃起不全)になりやすくなりますが、血管の状態を良好に保ち、EDを防ぐ意味からも、テストステロンが重要なのです。

テストステロンの体内レベルは、高過ぎても低過ぎてもリスクになります。テストステロンのレベルは、加齢やストレスで低下しますが、身体や精神、性機能症状にも関係します。テストステロンが不足すると、性機能や気力が衰え、疲れが出やすくなり、

体の痛みや頻尿など、さまざまな症状が生活の質を低下させます。これが男性の更年期障害の症状の現れ。医学的にLOH症候群(Late-onset hypogonadism: 加齢男性性腺機能低下症候群)として定義されています。

テストステロンをちょうどよいレベルに維持する方法は、健康的な生活習慣を保つこと。すなわち規則正しい生活リズムと十分な睡眠、禁煙、バランスの取れた食生活、適度な運動習慣を維持することです。しかし、程度の差はあれ加齢に伴うテストステロンの減少は避けられません。LOH症候群は誰にでも起こり得ることなのです。

LOH症候群になったとき、不足したテストステロンを補充するには、泌尿器科などに通院し、定期的に注射するのが一般的ですが、近年は塗り薬などで補充する医療機関が増えてきました。注射は効き目が強く、塗り薬は正常域の範囲で少しずつ補充します。

テストステロンの補充で正常レベルを維持させ、バイタリティーを維持、向上させましょう。男性が元気になって、健康寿命も延伸し、社会保障費が圧縮。そうすれば日本も元気になるでしょう。

(第二五八〇地区・東京都・東京神田RCにて)

進撃の巨人

行橋RC 福島小太郎

人類は、巨大な三重の城壁の内側に生活圏を確保し、自由と引き換えに侵略を防ぎ生き延びていた。壁外の世界を夢見る少年少女たち。だが、突如現れた超大型巨人により全ては壁とともに破壊されてしまう。

小説、アニメ、ゲーム、映画化もされ、単行本の累計発行部数は約七八〇〇万部超！社会現象となり、映画化の頃には街中で不気味な巨人を目にしない日はなかった。独特の画風、成り行きなのか伏線なのか分からないさまざまな謎と矛盾。特異な世界観と世代をまたぐ人間模様。斬新なアナログ兵器の精緻な描写と設定。突然挿入される場違いなギャグ。つまみ上げられた人間が「捕食」される残酷なシーンと不気味ながら愛嬌ある巨人たちは必ず夢に出てきます。数十年ぶりにコミックを買いました！(第二七〇〇地区 福岡県)



©諫山創/講談社

諫山創 著
講談社

既刊24巻(2017年12月現在)

●人生を変えた一冊、思い入れの深い一冊、最近感動した本を紹介。320字以内。詳細は投稿規定か「友」ウェブサイトにて！



■「卓話の泉」は、クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主に選んで要約、掲載しています。

酢のおいしい食べ方

料理家 松村 佳子

酢は、高血圧予防や食欲増進、疲労回復、便秘解消、ダイエットなどさまざまな効能があり、体に良いとよく言われます。

市販の酢は酸度が四・二割はあるため、酸っぱさが苦手な人は、水やだしで割って、使うことがお勧めです。その際、塩をできるだけ使わない方が酸味が和らぎ、酒などで割ると使いやすくなります。

また、米酢にゆずやレモンの果汁を入れると、原材料が違いため、うま味は豊かになります。穀物酢にりんご酢を入れたり、ワインビネガーに黒酢を入れたりすると味

が複雑になり、おいしく感じます。また酢をグルタミン酸、イノシン酸などのうま味をもつ有機酸やクエン酸がメインの果汁などで割るとうま味が増します。酢を酢で割ることで酢をよりおいしくさせます。

酢は同じ原料の素材と組み合わせても、とてもおいしくなります。例えば、ブルーベリーの果汁を発酵させて果実酢を醸造し、それをブルーベリーと合わせると、同じ種類の原料なので相性が良く、酸味と甘みが一体となり、後味が一つにまとまります。素材とのマッチングは酢を選ぶ大事なポイントとも言えます。

また、熟成された酢を料理に取り入れることで、季節を感じることができます。フルーツが原料の酢は、炒めたものではなく、トーストなど焼いた香ばしいものとよく合います。焼いた餅にかけてもおいしいです。酢は、素材の味を引き出して味わいを豊かにする、日本の伝統的な昆布だしとよく似た特徴があると思います。酢の料理といえば、調味料の一部を控えて酢に代替したりする、引き算の料理。しかし、本当においしいと感じる料理とは、調味料で作られたものでなく、素材の味や力を感じられるものだと思います。

(第二六〇地区・大阪府・大阪城東RCにて)

私の一冊

チボー家の人々

宇都宮東RC 加藤 勝朗

物語は、ロータリーの黎明期でもある一九〇四年から一九一八年までのパリを舞台に、カトリックで新興ブルジョアのチボー家の次男とプロテスタントで没落貴族・フォンタナン家の長男の二人の中学生の家出から始まる。チボー家の実業家気質の弁護士父、科学者気質の小児科医の長男、芸術家気質の次男、各自の良心の葛藤が、当時の時代背景の中、病死・他殺・自殺の人生最後の在り様で、描かれている。良心に従い誠実に働き、富と名声を得ながら最も愛する息子たちに理解してもらえない父。父や世間に認められたいと思いつつながら良心に従い、全ての権威を拒絶する次男。良心に恥じることなく自分の人生を築きながら自殺する長男。年齢や世代を問わず、いつ読み返しても自分の良心を検証できる大河小説だ。

(第二五〇地区 栃木県)



ロジェ・マルタン・デュ・ガール著
山内義雄 訳
白水社 1984年3月刊 (全13巻)



充実！ 創立 45 周年記念研修旅行

星」と称賛されていたのに、二六歳の若さでこの世を去ったのが惜しまれる。

そんな思いを後にして同市、深川湯本の新庄 助右衛門窯見学へと向かう。萩焼の歴史、当主の話聞き、工房、登り窯を見た後、皿に各人が思い思いの図柄、文字などを描いていく。まさに世界に一つの作品の制作である。

後日、焼き上がった作品を手にするのを楽しみにしつつ宿泊先に向かった。ロシアのプーチン大統領と安倍首相が会談したホテル・大谷山荘である。歴史を思わせる外観、大きな部屋、行き届いた室礼、スタッフのマナーの良さに心が和む。懇親会の料理も最高。感動を覚えるほどの味を堪能し、地酒の獺祭やワインと飲み放題に酔いしれる。朝、若いスタッフの言葉「夕べはよくあけましたね」に、さもありなん。

二日目は市内、明倫学舎を訪れる。萩藩の藩校として人材の育成を担い、多くの先覚士

を育てた明倫館の跡地に建ち、近年まで授業が行われていた旧明倫小学校を記念館として、二〇一七年三月にオープンした。正面の階段を見るなり、通っていた小学校を思い出した。踊り場で遊んだこと、手すりをすべり降りて叱られた思い出を語り合う。

その後、吉田松陰（一八三〇～一八九）の遺志を継ぐ維新武士たちを多く輩出した松下村塾を見学し、松陰神社にお参りして帰途のバス。

「あーら、また買ったかね」「あははは」。道の駅に降りるたびに増える土産で、バスの柵、トランクもいっぱいだ。これが旅行の楽しみであり、旅の疲れを癒やし、お互いの心を和ませる。文学、芸術、政治、歴史を学び、会員との融和を一層深くした実りある研修旅行であった。（第二六九〇地区 島根県 料理・仕出し）

メイクアップ時は ぜひ、お仲間

足利東 石井 道康

他クラブの例会にメイクアップしてみると、さまざまなクラブがあるので面白い。

例会を訪れる。すると点鐘してから拍手するクラブ、拍手しないクラブ、ロータリーソングを最初に二曲歌うクラブ、最初に一曲、最後に一曲歌うクラブ。名前も「〇〇さん」で呼び合うクラブと「〇〇くん」で呼び合うクラブ、など。

ここで疑問。メイクアップを楽しむにクラブ訪問している身としては、実は少々困る時がある。

る。それは座席についてである。

「メイクアップに来た、他クラブ会員だけのテーブル」にまとめられてしまうことがあるのだ。これでは、メイクアップに訪問した意味が薄まってしまおうと思う。

ホームクラブ以外の、訪問先のクラブ会員と名刺交換し、そのクラブの雰囲気味わい、自分の所属クラブとの差異を発見し、良い点は取り入れる、というような時間が、思うように取れなくなってしまう。

各クラブの皆さま、メイクアップに来訪したロータリアンを、皆さまのテーブルの「仲間」に入れてください。ぜひ、いろいろな話を聞かせてください。よろしくお願ひします。

（第三五〇地区 栃木県 プリント加工業）



わがまちの味

横浜 牛鍋

安政 6（1859）年、横浜港が開港し西洋の肉食文化が流入、牛鍋の歴史が幕を開けます。明治 28（1895）年、庶民の歓楽街・伊勢佐木町かいわいに、牛鍋屋「荒井屋」が誕生。横浜へ来た人々は、文明開化の味のうまさに頬を緩ませたといひます。

船木 拓志（神奈川・横浜西 R C）

故郷に帰ってきたような気がして胸がいっぱい
です。感激いたしました」とのこと。二十数年
前のことなので、当時から在席の会員は堀畑好
秀・池田茂雄・國井豊、の三人だけでしたが、
全会員の心が一つになったとても充実した会合
でした。

当クラブでは、ここ三〇年ほどの間に、二〇
人ほどの米山奨学生をお世話していますが、再
来日は彼女が初めてです。今回を機に、これか
らもご縁が長く続くよう、誓い合いながらの別
れとなりました。クラブ一同、米山奨学事業に
対し認識を新たにしました。

(第二六四〇地区 大阪府 税理士)

祝・ラホヤRC創立 七〇周年と私たち

佐世保 増本 一也

今年四月、アメリカ・カリフォルニアのサン
ディエゴ市、ラホヤRC創立七〇周年式典と祝
賀会に、会員一四人が出席。私たちの予想をは
るかに超えたおもてなしで、ケン・キング会長
をはじめ、多くの会員の歓待には大変感銘を受
けました。式典も、佐世保RC一色で進めてく
れたのです。

姉妹クラブ締結後三一年、世代交代も含め、
更なる交流を深めるため、式典の中で締結更
新。佐世保RCからは、ラホヤRCの主要活動
であるティファナ・ホームビルド事業（メキシ
コのティファナまで会員自らが赴き、古くて危
険な家屋に住む人々に、家を建設する活動）へ



70周年を迎えたメンバーで更なる交流

の一万ドル寄付を実施。当地区・福田金治ガバ
ナーノミニ（当時、以下同）もあいさつ。こ
れまでの佐世保RCとの交流話など、彼らの温
かさを感じるセレモニーでした。パーティーも
アメリカらしいおしゃれな演出で、音楽、ワイ
ン、食べ物、そして本当に美しいラホヤの風景、
彼らのフレンドリーな会話、一生の思い出です。
一生の思い出と言えば、前夜祭と祝賀会での
英語でのスピーチ。私にとつては慣れない英語
であり、円田昭会員の指導を得て、無事済ませ
ました（通じたと思います……たぶん!?）。元
ラホヤRCの田名保人ご夫妻と田中丸善弥会員
の手配で、サンディエゴのアメリカ海軍太平洋
艦隊洋上司令部へ訪問も実現し、実に有意義な
ラホヤ訪問でした。

これも、これまでの先輩たちが築き上げてき
た歴史や伝統があつてこそ、彼らとの新たな関
係を築くことができたと思います。陰の立役者

だったクラブ国際奉仕・姉妹クラブ委員長長の池
田眞秀さん、最初から最後までのお世話、あり
がとうございました。

同行の皆さんが「本当に楽しかった」と言っ
てくれた一言が、私にとつて最高の喜びでした。
今後、ますます両クラブの関係が発展していく
ことを祈念しています。

(第二七四〇地区 長崎県 石油製品販売)

文学、芸術、政治、 歴史を学ぶ研修旅行

出雲南 古川 精次

広場の壁一面に描かれた大きな金子みすゞ
(一九〇三～三〇)の肖像画。それは一枚一枚
の小さな陶板ブロックで表され、右側と左側か
ら見るのでは姿の違うもので、山口県長門市
仙崎が、みすゞを町の誇りとしていることを如
実に物語っている。

出雲南RCは創立四五周年記念事業の一つと
して研修旅行を企画。最初は萩、次が長門市仙
崎にある童謡詩人・金子みすゞ記念館であつた。
再現されたみすゞの生家・金子文英堂に入るな
り、みすゞの世界だ。店先から中庭を巡り復元
された二階のみすゞの部屋へ。みすゞはこの部
屋から通りを眺めていたといわれ、ギャラリー
には三冊の遺稿手帳が展示されていた。

みすゞの詩は生き物、自然、小さなその命を
慈しみ、優しく、温かなまなざしで表現し、心
の和むことに感銘を受けている。憂いを含み、
優しい姿を見るにつけ「若き童謡詩人の中の巨



これからはロータリアン同士として

本に留学させたいと望んでおり、それが実現。留学した孫の私が二〇一五—一六年度の米山奨学生になり、横浜旭RCのお世話になりました。現在は、東京都国立市にあるバス会社に勤めております。

フェリス学院大学に入学し大学院を卒業するまで、さまざまな奨学金をいただきました。これらの奨学金制度の中、一番感謝しているのは、米山記念奨学金です。高額な奨学金であること以外に、奨学生の一人一人を大切にすることをセラー制度、一カ月に一回、ロータリーの例会への参加があるからです。

最初は「ロータリアンと何を話せばいいだろう」「お金のために出席すると思われているのでは」などと思い、とても戸惑いました。「単純に毎月の奨学金を振り込んでもらえる奨学金を申請すればよかった。選考以外、誰にも会わずに済む」と思ったこともありました。

しかし、二宮麻理子カウンセラーをはじめ、クラブの皆さまがいつも私と温かく接してくださったおかげで、例会参加に対する抵抗感が徐々になくなりました。そして、さまざまな分野で優秀なロータリアンが、同じく奉仕の心を持ち、世界の平和と社会への貢献のために、仕事をしながら週に一回必ず集まって話し合う姿に感動しました。私も皆さんと同じように、これからもずっとロータリーの一員になり、他者に役立てる人間になりたい。そう思っ、奨学生を卒業した後、米山学友会に参加したのです。

私は、大学・大学院で「多文化・多言語共生」について研究し、学生の頃から四年間、横浜で在日外国人の子どもの教育サポート、支援活動をしていました。引き続き、学友たちの力・時間を借りこの活動を続けたかったのですが、率直に言うと、学友会での理念やあり方と、自分が思い描いたこととの間に違いを感じたので、ロータリアンになることを決意しました。

私的な望みですが、これから横浜旭RCの皆さまの力をぜひお借りして、活動をしていきたいと思っておりますので、応援をお願いします。

(第二五九〇地区 神奈川県 観光業)

ネパールから時を越え 元米山奨学生来訪

堺北 池田 茂雄

九月一日の夕方、当クラブでお世話をした元米山奨学生マナババ・シュレスタさんの歓迎会を、小西幹夫会員のすし店にて開催。終始和や

かな雰囲気の中、国際親善の輪を深めることができました。彼女は一九八六年四月にネパールから来日、大阪府立大学で学びました。八九年四月から一年間、米山奨学生となり、めでたく学業を終えネパールに帰国しました。

今回、国内外の米山学友会主催の合同イベントが熊本で開かれ、彼女はネパール米山学友会代表として来日したのです。現地では、学友会創立時から役員を務めているとか。

帰国以来、二十数年ぶりに当クラブを訪問してくれ、こんなにうれしいことはありません。日本への出発を前に、当クラブのホームページをチェック。「ぜひ、堺北RCを訪問したい」と事前にメールをくれましたから、例会への出席やスピーチもお願いしました。

歓迎会の席上では、「卒業以来、初めて堺北RCを訪問させていただきました。温かくお迎えいただき、このように歓迎会まで。懐かしい



再訪してくれたシュレスタさんにクラブも感激



被災者の心の傷を癒やすためには、まずこの土の撤去を

昼食は仙台空港で仕入れたおにぎり弁当。午後三時半までが作業時間で、道具を洗い終えたところ、家の方が冷たいブドウとともに「遠くからわざわざありがとう」。疲れが一気に吹き飛び、これが本当の奉仕だ、多賀城に帰ったらこの気持ちを会員に伝えたい、と思いました。「ボランティアに行きたい」と願ったインターアクターの高校生に教えられた感じです。「超我的奉仕」、我を超える奉仕を初めて理解し、真のロータリアンになった感じがしました。

二日目は朝倉市で小学校三校、高校一校を慰問。小学校は校庭に仮設校舎二棟を建てて授業していました。インターアクターが激励の寄せ書き・募金活動で集めた義援金を贈呈したところ、六年生の男の子が「ありがとうございまして」とあいさつした後、災害のことが心をよぎったのか涙していました。私たちも目頭が熱くなりました。スクールバスで遠くから、仮設住宅

より通学している児童もおり、心の傷がまだまだ癒えないでしょう。

高校では先生、生徒会役員が出迎えてくれました。仮復旧し、授業は再開しているとのこと、ここでもインターアクターから寄せ書きと義援金、多賀城RCからは義援金を贈呈しました。

二日間のタイトなスケジュールの中、充実した奉仕活動でした。災害が起きたら言葉だけではなく、次世代を担う若者と一緒に活動を始めては、と強く感じました。そこから真の「超我的奉仕」が生まれるのではないのでしょうか！

(第二二〇地区 宮城県 重機・土木業)

才能のある人に出会う 才能を磨いて

東京足立 近藤 勝

二〇一七年八月、学生起業家の菊地翔豊君が入会した。入会当時、菊地君は慶應義塾大学総合政策学部の三年生、二四歳。既に七カ所の保育園を経営する、株式会社代表取締役社長としての入会だ。

高校時代の三年間、ニュージーランドで幼児教育の勉強を積み、帰国後、家族の協力を得て起業した。

イニシエーションスピーチでは「このたび、慶應大ゴルフサークルの先輩で、元会長の近藤勝さんご紹介により、入会させていただきました。数多くの偉大な諸先輩方がいるロータリークラブに入会させていただき、ただただ、身の引き締まる思いでいっぱいです。私は、自



現役の大学生が会員に。クラブはどう変わるか？

分の才能の無さを誰よりも理解しているので『才能のある人に出会う才能』を磨いてきました。このロータリーの活動を通して、多くの素晴らしい方々とお会いできれば幸いです。よろしくお願いいたします」とあいさつ。

若い菊地君と一緒に「偉大な諸先輩」であるはずの私たちが、どのような変化をもたらせるのか、歩んでいきたいと思う。

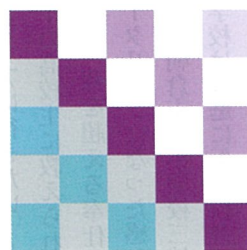
(第二五八〇地区 東京都 製紙原料卸)

米山奨学生 世話クラブに入会

横浜旭 宋 謹衣

私は台湾・高雄にある小さい町・美濃に生まれ育ちました。実は、祖父は日本統治時代に日本語教育を受けており、いつか自分の子孫を日

友愛の広場



FRIENDSHIP
PLAZA

エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

ロータリアンは災害時 地域に何ができるのか

白枅 丸岡伸比古

二〇一七年九月の台風一八号の影響で、大分県南部では、豪雨災害がありました。この地域は、関アジ、関サバが取れることで知られる豊後水道に面し、北から臼杵市、津久見市、佐伯市がリアス式海岸を形成しています。今回の豪雨災害は「二〇〇年に一度」と表現されました。地域により災害の大きさに差はありますが、全体として最も大きな被害を被ったのは津久見地域で、津久見ロータリークラブ（RC）会員の中には甚大な被害を受けた人もあり、事務局は床上浸水の被害に遭いました。私は臼杵RCの会員ですが、津久見RC事務局近くにある実家も、床上浸水しました。被害を目の当たりにして、今まで「人ごと」



一夜明けた津久見市内。ロータリアンとして何ができるのか

であったことが、急に自分の身に降り掛かりました。私の場合は、手伝ってくれる友人にも恵まれ、床下の泥の撤去も含め、二週間ちよつとで大体片付きました。一〇月半ば過ぎには、市街を走る車から窓越しに見ると、ごみのポリ袋や粗大ごみの山はあまり見かけなくなってきましたが、高齢化が進んでいる地域でもあり、被害を壊滅的と表現する人も多く、まだまだ復旧にはほど遠い状態のようです。

幹線であるJR日豊線も臼杵から佐伯まで不通となり、復旧は二月見込みと出て、通学、通勤などに不自由した人も多くなりました。津久見市は激甚災害の指定を受けたほどで被害も大きかったのですが、比較的狭い範囲での災害だったためか、全国的にはあまり注目を集めませんでした。さらに津久見市の市役所も被災してしまい、ボランティアの受け入れが遅れ、それが復旧の遅れにつながっていたようです。

さて、このような災害時に地域のロータリアンとして、何ができるのか。思案に暮れています。
（第二二〇地区 大分県 脳神経外科医）

次世代から教えられた

多賀城 阿部 新康

九月三日、仙台空港七時三十分発の飛行機で福岡へ。九州北部豪雨の被災地でのボランティア活動のためです。多賀城高校インターアクトクラブ（IAC）から橋本朔良さんと大場有紗さん、引率の小野敬弘先生、多賀城RCは赤坂泰子IAC委員長と私、計五人が出発前に現地での飲料水と昼食を仕入れ、いざ出発！

福岡空港には九時四〇分に着き、第二七〇〇地区の皆さんの出迎えを受けました。すぐレンタカーで朝倉市ボランティアセンターに向かい、一時に到着。受け付けし説明を受け、被災地へはマイクロバスにて移動、ここでグループ編成され、私たち五人に福岡県宮若市の消防士の父娘（おやこ）が加わりました。徒歩で杷木町の寒水川沿いの集落に向かい、寒水・古賀地区の区長さんの指示で、納屋内の土砂撤去作業の担当になりました。すでに気温三六度。

一輪車三台、スコップなどでの作業が始まりました。土砂は一層を超える高さで表面は固まり、土中の異物を分別しながらの作業です。被災者が心の傷を癒やし、少しでも平常心を取り戻すためには、この土をまず撤去しなければなりません。そんな使命感を持って作業しました。



飯坂ロータリークラブ
THE ROTARY CLUB OF
IZAKA



神輿を担いだ後は、みんなで温泉につかる（吉川屋で）

グッズ約四万点を収集した。それを元に、いで湯のさとの美術館「ギャラリー泉」も運営する。観光バスが立ち寄るスポットになっているそうだ。四七歳。歴代会長経験者に比べると若い。「飯坂RCの各委員会の長には若手をつけ、ベテランは補佐役に回っていただき、活動を継承したい。二〇一八年の六〇周年記念式典までに四〇人台の会員数を目指します」と言う。

にわか神輿を先導する軽トラックは、島倉千代子が歌う「飯坂小唄」のテープを流しながら、子どもたちに風船を配る。配り役は生田目将吾君（父の正志さんは飯坂RC親睦活動委員長）と、鈴木健太君（父の重忠さんは同じく社会奉仕委員長）の小学五年生の二人だ。

神輿は午後二時過ぎ、佐藤家に戻る。雨も上がった。一行はバスで吉川屋へ。まず温泉。裸の交流である。吉川屋の畠さんと生田目さんが外国の若者たちと露天風呂に入って語らっているところを撮影させてもらう。かつて二〇軒が軒を並べた飯坂温泉の旅館・ホテルは四三軒になった。飯坂RCもかつて旅館の旦那衆が多かったが、今では現役旅館経営者は畠さん一人。福島県観光物産交流協会国際観光推進委員長や飯坂温泉観光協会会長などを務める。セールポイントを聞くと「飯坂はいで湯とともにフルーツの町でもあります」。飯坂RCのベテラン会員の吾妻一夫さんは、九秒もの観光

農園で、サクランボ、モモ、ナシ、ブドウ、リンゴを栽培する。もぎたてのブドウ、リンゴ

はみずみずしく甘く酸っぱい。「三・一一の震災の後の風評被害。仲間と経産省に陳情にも行きましたが……。台湾には何度もプロモーションに出かけ独自の販路を開拓しました。あちらではずいぶんごちそうしてね。なじよ（どう）したら、お客さんに「感動を呼ぶ果物」を提供できるか。絶えず工夫し、努力しています」と言う。平成二八年度福島市農業賞（園芸部門）を受賞した。客足は以前の八割くらいまで回復したという。

ひと風呂浴びた後は懇親会。カラオケが始まった。欧米系の若者がポップな歌で喝采を受けた後、長身の中国人青年がテレサ・テンの「時の流れに身をまかせ」を歌う。それまでおとなしかった中国の女子学生たちが手を振り唱和して盛り上がる。米山奨



吾妻一夫さん



石川邦俊さん



佐藤真也会長

学生のだいり君（福島大学）二年、世話クラブは相馬RCだった。熱唱をたたえ、と「院生だと奨学金も多く、本当に助かります」と感謝してい

た。お開きのあいさつは国際奉仕委員長の石川邦俊さん。果汁を大手飲料メーカーなどに供給する会社を経営する。「今後もこの集いを続けていきたいと、みんな思っています。来年も来てくださ」と締めくくった。

その夜、八幡神社の境内で、若い衆が担ぐ屋台同士が次々とぶつかり合った。押し合ううちに屋台と屋台が「八」の字に競り上がる。それでも押し続けていく。飯坂の地の底から湧き出る熱湯のようなエネルギーだ。これがあれば飯坂の町は再びにぎわいを取り戻すに違いない。



岩田一平（いわた・いつべい）

ジャーナリスト、歴史作家。アサヒカメラ、朝日新書編集長など歴任。近著に『欠点』を「長所」に変える就活力（サンマーク出版）がある。

熊谷武二（くまがい・たけじ）

写真家。公益社団法人日本写真家協会会員。人物、歴史を取材テーマに、雑誌、出版物等に発表。写真集『神戸・消滅と再生』（講談社）。



温泉の歴史は古く、伝説では2世紀頃、日本武尊（ヤマトタケル）がこの温泉に浸ったと言われている。江戸時代の中頃には多くの旅人が訪れ松尾芭蕉（右ページ上）も訪れた。木造づくりの外湯の鯖湖湯（上）



篠木勝司さん



堀切孝敏さん

着て鉢巻きを巻く。女性の着付けは飯坂温泉に二人しかなかった芸者の君栄さん、菊江さんが手伝う。「かつて、にわか神輿は飯坂の芸者さんが担いでいたのです」と言うのは、「ザ・まつりin飯坂」の名付け親という薬剤師の堀切孝敏さん

にニシンの昆布巻き、郷土料理いかニンジン（スルメとニンジン）の細切りをしようゆやみりんで味付けする）も山のようにこしらえる。昆布巻きは一晩おいてとろとろ。味が染みて美味。酒の肴にもってこいの二品だ。当日朝。天候の心配は杞憂だった。雨をものともせず集合場

紹介した。「その連載を本にまとめた地域の児童生徒に配る企画を進めています。図版や写真を多用し、子どもでも分かる飯坂の歴史です」と話す。

外国人の皆さんは胸に名前と国名、地域名、国旗をデザインしたブレイトを下げていたが、「パソコンを使っているのが夜なべして作りました」と言うのは、プロパンガスや太陽光発電などを幅広く手掛けるアポロガスグループ相談役の篠木勝司さんだ。八二歳。飯坂の歴史を有識者や伝統技術者、旅館経営者らに例会で語ってもらい、それを得意のパソコンを駆使し会報で毎回

海外の若者たちとロータリアン 露天風呂で「裸のつきあい」

である。芸者さんが減って一時にわか神輿の担ぎ手がなくなった。代わって、飯坂RCが音頭を取って温泉旅館に海外から研修に来ていたシヨ一の踊り子さんやインターアクトクラブの生徒たちに担いでもらったのが、「ザ・まつりin飯坂」の始まりだそう。

なんか何だとはばかりに声を張り上げる。「ワッショイ、ピッピー、ワッショイ、ピッピー……」





飯坂ロータリークラブ
THE ROTARY CLUB OF
IIZAKA



飯坂RCは、曳き屋台巡行に合わせて、国際交流フェスティバル「ザ・まつりin飯坂」を主催してきた。地域の在住外国人に呼びかけ、神輿を繰り出す。二〇一七年で二七回を迎える恒例行事である。だが、昨夜からそぼ降る雨が止まない……。

神輿は、不動産賃貸業を営む佐藤喜市郎さん宅ガレージから出陣する。祖父の代から続く祭り太鼓の名手と聞いた。飯坂RCの会長経験者で、現在は国際奉仕委員にして第二五三〇地区（福島県全域）の公共イメージ向上委員だ。「ザ・まつりin飯坂」はロータリーの公共イメージ向上の「目玉」でもある。外国人の皆さんが担ぐ神輿は正式には「にわか神輿」という。六台の曳き屋台の後ろを練り歩き盛り立てる。

祭りの前日に飯坂RC例会が温泉旅館「吉川屋」で開かれた。一八四一（天保二二）年、湯治の宿として創業した六代続く老舗だ。社長の畠隆章さんも飯坂RC会長を二回務めたロータリアン。例会で喜市郎さんは「にわかは、『二〇力』と書きます。二人以上の人が和の心で力を合わせて担ぐ神輿という



揮するソングリーダーがいた。村田安啓さん。一世を風靡したグループサウンズ「ザ・ジャガーズ」のキーボード佐藤安治さん、その人だった。退団して結婚し養子に入り、義父から奥さんと一緒に任されたのが生演奏とカラオケのバー「夕花里」である。開店から三十数年、「飯坂温泉がにぎわっていたところは連日、満員盛況でした。今は夜の人出も少ないですね」。九〇年代のバブル崩壊、リーマンショック、そして三・一一の東日本大震災と続いた。「でも、かえって最近なじみのお客さんと音楽のこととか、じっくり話せてよいこともあります」と爽やかに笑う。カラオケ教室の先生、歌謡曲の作詞家でもある。「若さゆえ」と、愛用のハモンドオルガンで弾き語りしてくれたのはデビュー曲「君に会いたい」の出だしだ。懐かしい。

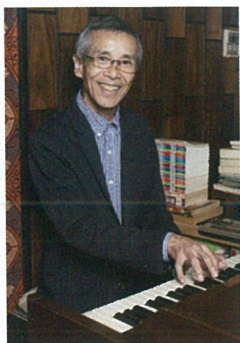
意味です」と解説し、「私は北海道から九州まで全国の祭りを見てきました。が、屋台同士がぶつかり合う迫力は他に勝ります」と、祭りに向けて一致団結を呼びかけた。

雨をものともせず約一〇〇人が集った

祭り前日、佐藤家には準備に町の人々が入れ代わり立ち代わり訪れていた。玄関を上がつて見上げると、ぎよつ。大人の背丈もある真っ黒な鬼面に壁の上部からにらまれる。火伏せ（火除け）の神様という。母屋は幕末ごろにできた。喜市郎さんは地域の消防団のまとめ役、民生委員や県更生保護協会副理事長などさまざまな公職を務めてきた旧家の当主だが、若いころ、カーレースの選手だった。「こいつは私の青春です」と見せられたのは、いぶし銀のスポーツカー、日産スカイラインGT-R二〇〇〇CC（一九七一年式）である（写真で喜市郎さんの背後は特注コースワース製エンジン搭載の英国ケータハム・スーパード）。



佐藤喜市郎さん



村田安啓さん



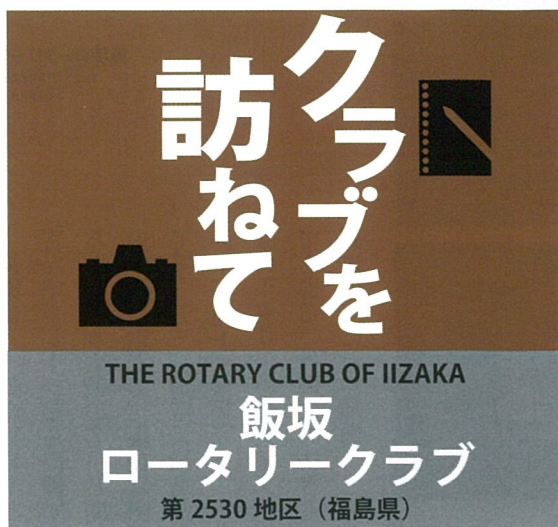
畠隆章さん

伝統の神輿で和の国際交流 いで湯の町の「熱き」クラブ

文・岩田一平 写真・熊谷武二

飯坂けんか祭りに
花添える「にわか神輿」

熱ッ！ 湯船にそろりそろりと身を沈める。弱アルカリ性単純泉、五一度の源泉を引く湯は掛け流しで四七度もある。ここは飯坂温泉の外湯「鱒湖湯」。朝六時開場に一番乗りした。手足を伸ばす。極楽。湯に漬かった部分が赤く染まる。下駄をカラコ口させ温泉街を歩く。祭り太鼓が聞こえる。



今回の訪問先は福島市の北西郊、名湯「飯坂温泉」を擁する飯坂ロータリークラブ（R

C）である。会員三七人。二〇一八年五月に創立六〇周年を迎えた式典を行う。今日は「飯坂けんか祭り」として知られる八幡神社の例大祭日の一七年一〇月七日。昼間は六台の曳き屋台が温泉街を巡り、クライマックスは今夜。六台の担ぎ屋台が神社の境内で激突するのだ。

例会場の温泉旅館「吉川屋」前でそろいの法被を着てスクラムを組む



出す時もゆつくりと、上げた片手は開いたまま、とにかく銃を取り出すのではない、とアピールすることが大事です。お尻のポケットに免許証を入れていても、反対の手は上げたまま。ゆつくりと取り出し、遠回しに出します。

そのようにアピールしないと、警官は一部始終、こちらの動きを見ていて、テザーガン撃ってきたりするのです。たとえ撃たれても「正当防衛だ」とされます。

組織犯罪の ビジネスとなったテロ

次に、レストランに行くときのテロ対策について。今、テロというのはある意味ビジネスなのです。ビジネス的に狙われています。テロについて、マインドコントロールされた人が勝手に動いて何かやっているのではないか、と思う人が多いかもしれません。しかし、大きな組織犯罪の中の「ビジネス」になっていることが結構多いのです。

ですから本当は、メジャーなレストランはあまり行かない方がいいということになります。また、自分の本名を名乗って予約する必要はありません。現地の人の名前です。電話番号も自分の電話番号は教えない。思い切って、予約は最初からしない、ということもお勧めです。

また、やたらと名刺交換しない。これは海外ではすごく危険なことです。私の経験で言うならば、海外から来た友人が「日本人はどうして全部、このように情報公開をしてしまうのか」と。名刺の裏にはご丁寧に英語で全部、個人情報を書いてあります。フェイスブックなどで調べたら、家族の

写真から全部載っています。拉致など簡単にできます。

それから空港でのテロについて。空港では、犯罪が起こったのではないかと感じたなら、すぐ行動する癖を付けておかねばなりません。例えば、銃声のような音に注意。銃声というのは空港ではあり得ない音です。この音がしたら、例えば一番近い入り口にすぐに逃げる。これを頭に入れておいてください。二〇一六年、ベルギーのブリュッセル空港での爆発テロで、実際に助かった人たちは空港でのテロ対策の訓練を受けていた人、対処の仕方を聞いていた人が結構多かったのです。音で何かが起きたというを感じ、すぐに逃げた人が助かったということです。

逃げる時は荷物を持たないこと。遅くなります。そして一人で行かれた方は、お年寄りとか子どもとか、逃げ遅れそうな人が近くにいたら、手を引いてあげてください。

それでも、間に合わないときにはどうするか。テロリストが目の前について銃を構えていたら。犯人の前面九〇度の角度に入らないことです。ほとんどの銃というのは、右利き用にできています。銃を右脇に挟んで固定し、ダダダダダッと左の方に回旋しながら撃つのが大原則です。

ですから、テロリストに正対して左側の方に逃げるか、または思いっきり右側に逃げる方が、絶対ではないですが、生存できる確率は高くなります。銃口の位置も、構えて必ず横にスライドします。この下で伏せていると助かる可能性が高くなるということです。そういう意味で、犯人の前面九〇度には絶対入らないでください。前面九〇度は危険、と覚えてください。

組織的な犯罪の場合は、二次的に爆破が起こる可能性もありますし、連射射撃を仕掛けてくることもありますから、そうしたことに注意すること。それから、逃げていた時に携帯電話は使わないこと。「今、テロリストに遭っている、大変! どうしよう」という電話はしないでください。案外、空港でこんなことをする人が結構いて、それで撃たれてしまう人もいます。

最後に。海外では、ラマダン（イスラムの断食月）のような、いろいろな宗教イベントがあります。その地域の宗教イベントの前後には、外出しない方が賢明です。

以上、極端なことをお話ししたかもしれませんが、危機管理は、やはり予防することが大事です。そして、頭ではなく心で考えて、判断することです。最初に言いましたが、全ては「最初の一つ」から始まります。

二つ目「半身で構える」。テロリストがナイフを持っていたとします。テロリストが右手にナイフを持って向こうから来たとき、一番はまず逃げる。戦わずして逃げる。これが一番です。しかし、自分が隅に位置していて後ろにもどこにも逃げられず、完全にテロリストに追い詰められたら、ナイフを持っている手を、左手で外側からはたくのです。右手で内側からはたこうとすると、刺される危険性が高いです。もし、うまくナイフを取り上げられたら、犯人の反対側、自分の後ろ側に思い切り投げます。そして自分は左側からテロリストの背部に逃げます。これが基本です。

そして三つ目、「記録する」こと、四つ目「心で動く」こと。これらを指針としてください。

（ホスト 東京葛飾中央RC）

の、わなを仕掛けることもあります。「自分には関係ないな」などと決め付けるのは避けた方がいいでしょう。起こると大変です。本当に取り返しがつかないことになります。

怨恨退職者対策

二〇一六年七月の相模原障害者施設殺傷事件では、元職員が施設に侵入し、入所者や職員を次々と襲いました。あのような殺人事件にまでは至らなくても、恨みを持って会社を辞めた人間が事件を起こすということは、ニュースにならずとも、水面下では結構、起こっています。少しずつ、少しずつ会社のお金が引き出される事件も起きています。顧客データを盗んで競合会社に売ってしまったり、渡してしまったりということも起きています。

対策としてまず、社員の日頃のストレスを見抜く、職場ストレスチェックが挙げられます。そして、最近行われてきているのが、円満退社・温厚解雇マニュアルの作成。問題を起こす退職者には、辞める前にいろいろなサインが見られます。二週間ぐらい前から無断欠勤が続く退職するようなケースは、注意が必要です。むしろ採用時、就業規則に、何らかのフィルターを張っておくことも一つの方法なのではないかと思えます。

もしこじれてしまったらどうやって和解するか、という段階チャートもあります。ここまで来ると企業サイドではなく、弁護士領域になりますが、退職後の関門を設けるわけです。今は「ミディエーター (mediator)」といって、和解・仲介に入る重要な仕事になります。その際、やはり「記録」がないと、どのようないきさつであっ

たかはつきりしませんので、ミディエーターはアドバイスもしにくくなります。ですからアドバイスしやすいような情報をこちらから提供するために、「最初の一つ」から記録していきます。

日本とは異なる

海外での危機管理

まず、警官と応対する際の一般的な注意について。私は二二年間アメリカにいて、ニューヨークやマウイ島に住んでいました。実際に四回、警官に銃を突きつけられた経験があります。ここで自分が興奮して悪態をついたらどうなるのだろう、と思うことがありました。アメリカの警察官はもちろんしっかりとした仕事をしてくれませんが、ちよつと気に障ってスイッチが入ってしまうと銃を突きつけるというように、簡単にアクションを起こしがちです。慎重に対応してください。

例えばアメリカで、警察が青いシグナルを点滅させて自分の運転する車を追跡してきた時。その場合、速やかに車をゆっくり右側に寄せて、その

まま待ちます。気付かず走行し続けたりすると、どんどん警察官の行動はエスカレートしてしまいます。

このとき、警官はすぐに降りてきません。ナンバーを司令センターに送り、ライセンス名簿で今、起こっている事件と何か関連がないか照合してから対処に当たります。気を利かせて車を降りていつ「何の用ですか」というような対応をする、とまず「下がれ」「車の中にいろ」「何もするな」となります。それでも近付いていくと、今般はいきなり撃たれるようなことは少なくなりました。が、レーザーガンといってレーザーガンのようなものを撃たれます。撃たれるとビビビビときますよ。とにかく、いきなり近付いてはいけません。

警官から直近で「窓を開けなさい」と言われたら、すぐ窓を開けます。「免許証を見せなさい」となります。免許証を見せる時も、ゆっくりと動いてください。空いた方の手は、パーの状態にして上げること。そうしないと、何か隠していると思われるかもしれません。手を開いて上げるのは、はっきり何もない、というサインです。免許証を取り



サニー神谷

■ 消防防災危機管理アドバイザー・元国際レスキュー・(一社) 日本防災教育訓練センター代表理事

一九六二年 福岡生まれ。元福岡市消防局レスキュー隊小隊長。元国際救急援助隊所属。元ニューヨーク州救急隊員。九一年 台風下の博多湾で起きた韓国籍貨物船事故では、四人を救助し内閣総理大臣による表彰を受けた。人命救助者数は一五〇〇人を超える。

世田谷区防災士会理事。(一社) 日本防災教育訓練センター代表理事。『みんな防災アクション (全三巻)』評論社、二〇一六年など著書多数。

(一社) 日本防災教育訓練センター <http://rescue.jp>

ていなくても、ストーリーやドメスティックバイオレンス、悪質商法や近隣、職場でのトラブルなどについての相談窓口です。危機が発生した時、きちんとした対応をこのように形付けておくと、「爆弾で、てめえのところ燃やすぞ」「殺しに行くぞ」などの脅迫電話を受けた時に、予防することが出来ます。

一度起こると大変 自分には関係ないと思わずに

脅迫のツールとして多いのはやはり電話です。電話の次に多いのがEメール。でもメールは割合簡単に逆探知できて、案内簡単に、相手が誰かということや場所の特定ができます。もし脅迫メールを社員が受けたら、自社内で完結しようとせず、速やかに警察や危機管理の関係者に報告します。添付ファイルにも注意。ひよつとしたら危険なウイルスが入っているかもしれません。

また、特定の社員宛てのものである場合は、怨恨が関係している可能性があります。このような場合、その特定の社員を呼び、心当たりはないか、こういういきさつというのは何か知らないか、と聞いてみてください。

ただ、面と向かって言われると、なかなか誰かに相談はしにくいものです。ですから、普段からそういうことがあったら必ず、先述した台帳のようなものを作っておいて、そこに人間関係の問題などを記録しておきます。これは、社員と会社を守るためです。そのためにも、データベースを構築された方がよいと思います。

もし、本当の組織的な犯罪であったら、メール

が届くと同じタイミングで、携帯電話が掛かってくることもあり得ます。海外での例ですが、携帯に掛かってきた電話に出たら、爆弾が爆発したケースがあったのです。今は簡単に電話と爆発事件を連動させることができます。電話を取ったら爆発するか火災が発生し「何だ、この火災は」と火災報知器を押したら、さらに爆発する。そういう仕掛けが比較的簡単にできるような世界になっています。もし、本格的な犯罪が起因している前もって特定できれば、幅広く目配りすることも可能なのです。

あとは特定の場所。「あそこに仕掛けた。入り口の植木があるだろう。その横にベンチがあるだろう。その間にある」と、特定の場所を言われた場合に、もし、それが本当であれば、なぜ相手はそこまでいろいろと知っているのでしょうか。それはすなわち、場所の下見のようなことをして、状況を知っているからです。ということは、相手はかなり本気なのではないか、と考えられます。

万一そういうときには、社員に「ちよつとおまえ、見てこい」などと指示して、行かせないでください。まず警察に電話し「明らかに本物の犯罪の可能性が高い」と伝えます。そして、すぐ警戒線を半径一〇〇メートルくらい張ってください。爆弾は大きさによつて爆発する範囲が変わります。人間がボストンバッグで持っている重さは、一人で大体、一〇キログラム、重くて一五キログラムほどの爆弾だとされています。二〇キログラムも三〇キログラムも持つてくるのは大変ですし、大きなバッグが必要になりますから、明らかに見た目からして怪しいことになります。あまり目立たないで設置できるのは、八キログラムくらいのものです。

事件が起きると、やはり風評被害が出ます。「〇〇社に爆弾が仕掛けられたとの電話がありました」などと、全国放送のニュースで流されると困りますから、風評被害を予防するために、メディア対応のコミュニケーションもしておいた方がいいかもしれません。社員が取材を受けたときにどう説明するか。とっさに思いつきで何か言ってしまうたら、さらに突っ込まれるかもしれません。SNS（会員制交流サイト）などでその対応について書き込まれたりもします。

そうなる前に、今の時点で、そういう風評被害対策、メディア対策を考えておきます。何も準備していないより、次に何かあったときの予防になります。

企業対象暴力対策

現在、「総会屋」はいないことになっていますが、まだ存在しています。警察の資料によれば、現在も株主総会に総会屋が出席しています。

もともと、昔の総会屋とは異なり、フェイスブックで友達申請を行い、そこから知り合いとなつて名刺交換をして情報を聞き出すなど、フレンドリーに接してきたりします。その過程の中で、違法なことや不当な要求をされるに至るといふ、組織犯罪の被害が報告されています。大企業でないともあまりニュースにはなりません。小規模な事件はすでに起こっています。

役員のスキャンダルも多いです。スキャンダルを告発されたり、週刊誌にスクープされることが結構あるのです。この手の犯罪はすぐセッティングが巧妙で、犯人はいわゆるハニートラップやワークトラップ（仕事に関連したトラップ）など



写真提供：© 朝日新聞社／アマナイメーجز 成田空港でのテロ対策訓練

先日、NHKのアナウンサーに七十一歳の男性から電話があって、その後「もう今日殺す」というような内容のメールが届いた事件がありました。これも独り身の男性でした。もし、皆さんの会社や職場に、そのような電話が掛かってきたらどうしますか。

最初に電話が掛かってきたら、まず日時など、状況を記録します。次は相手の言うことに対して質問します。「その爆弾はどこにありますか」「いつ爆発しますか」。淡々と聞くだけで、本当に爆弾を仕掛けたのかどうか大体分かります。なぜかと言うと、ほとんどの場合、相手は爆弾を作ってもいないのに爆弾を仕掛けた、と言うからです。ですから、具体的な質問をすると答えられません。それでしどろもどろになって、これは仕掛けていない、という判断ができます。

本当にこういうことが起こったときには、最低でも、三人ほどで対応していただきたいと思います。誰もが生まれ育った所があって、方言や話し方に癖があります。そういうものを全部記録していきます。他に電話の向こうで聞こえている音など、その背景、その場所を特定するいろいろな情報なども書いていきます。

そして、何回も同じ人物が電話を掛けてくるようであれば、脅迫企画者台帳というようなものを作って記録していきます。警察はいきなり動いてはくれませんので、台帳を作って記録を残すことが大事です。

「#九一一〇」という番号をご存じですか。「#九一一〇」とは、警察相談専用電話のことで、ここに掛ければ、このような事件に関してきちんと聞いてくれます。つまり、犯罪や事故には至っ

企業人のための 危機管理

危機管理というものは自然災害とは違い、じわじわと、何か一つのことから始まることが多いのです。「英語で話しかけられた」ときのように、突然なことに出口を失ったときに、どう自分が身構えるか。それによって、全ての対処が変わってくるのです。

消防防災危機管理アドバイザー・元国際レスキュー・
(一社) 日本防災教育訓練センター代表理事

サニー神谷
Sunny Kamiya

危機管理の四つのポイント

ご存じの通り危機管理には、とてもたくさんの種類がありますが、企業人のための危機管理について、最初に皆さんに覚えていただきたい四つのポイントを、お話しします。

まず、どのような危機も、最初を見極める「最初の一つ」が肝要ということ。次に、何か危機が存在したとしても、必ず正対して構えないこと。そして記録すること。これは全ての危機管理に通ずることです。最後に、心で動く、心で判断することです。

夫婦げんかも最初の一言から。企業では、上司と社員、社員同士のコミュニケーションなども最初の一言や何か一つの態度から物事は始まり、相違が生まれたりします。家庭の危機管理がまずベース。それができれば、企業の危機管理も同様にできるということです。日常から、そのような癖をつけてもらえるといいですね。

夫婦はどんなときでも、日常生活を送る同志です。企業では、社員が同志です。何かあったとき

に、年齢も性別も役職も関係なく、同志として危機管理に対応する必要があります。例えば、災害があつて一緒に何かを復旧させなければいけないときに、いざこざがあつたりすると、どこかでもつれてしまうことがあります。同志であるということを中心に留めておいてください。

普通に今、家庭があつて、家族がいて、会社に勤めている人、それがこじれて独りになつてしまったとき、本当につらいです。この独りになつてしまった状態までを巻き戻していくと、「最初の一つ」から始まっているわけです。その時点で何かこだわつたり、何か変なことを言つてしまつたりということ、人生が変わつてしまうことがあるのです。

法務省では、全国の刑務所の受刑者数を公表しています。どのような経緯で受刑者になり犯罪を起こし、どういうことをしてきたのか、どういう人たちがそのようになったのかということも、かなり分析しています。これらをひもといていくと、やはり孤独で、独りの時に犯罪を考えた、たくらんでやつてしまった、という人が圧倒的に多いのです。

特に現代は、若い男性で、人とコミュニケーションを取れないタイプの人が要注意です。こういう人は独りで考えこんでしまう。それなのに、インターネット上で結構、激しいことを言つたりする。本来の性格とは逆のことをするというパターンが多いのです。もし、企業の同志にそのような態度を見せられたら「〇〇君、大丈夫か。何か話すことはないか」と、同志として受け入れたりすること、が、犯罪予防になります。こういったことは、企業の場合、風評被害の予防にもなります。

1 月は職業奉仕月間です

THE ROTARY-NO-TOMO

企業人のための危機管理

◆ 消防防災危機管理アドバイザー・元国際レスキュー・
(一社) 日本防災教育訓練センター代表理事 サニー神谷4
73

シリーズ クラブを訪ねて

伝統の神興で和の国際交流 いで湯の町の「熱き」クラブ

9
68

飯坂 RC・第 2530 地区

文・岩田一平 写真・熊谷武二

友愛の広場

ロータリアンは災害時 地域に何ができるのか 臼杵 丸岡伸比古
次世代から教えられた 多賀城 阿部新康
才能のある人に出会う才能を磨いて 東京足立 近藤 勝
米山奨学生 世話クラブに入会 横浜旭 宋 謹衣
ネパールから時を越え 元米山奨学生来訪 堺北 池田茂雄
祝・ラホヤ RC 創立七〇周年と私たち 佐世保 増本一也
文学、芸術、政治、歴史を学ぶ研修旅行 出雲南 古川精次
メーカーアップ時はぜひ、お仲間へ 足利東 石井道康13
64

◆ わがまちの味

卓話の泉

酢のおいしい食べ方 松村佳子
男性ホルモンの話 福井厚義18
59

私の一冊

宇都宮東 加藤勝朗 行橋 福島小太郎

18
59

ロータリー 俳壇

◆ 長谷川 權 選

20
57

ロータリー 歌壇

◆ 馬場あき子 選

20
57

ロータリー 柳壇

◆ てじま晩秋 選

20
57

ロータリー・アット・ワーク

22
55

「心はいつも故郷に」

吉田昂城君ピアノ独奏会

第 2530 地区内ロータリアン有志実行委員会

〈写真〉 横浜南／諫早多良見／藤岡／京都洛西／

一宮中央／江田島／大分／岩槻／高槻 RC・高槻

中学校高等学校 IAC／和歌山市内 9 RC／松江

南／島田／宝塚中／大牟田南／太宰府／美濃



論語で壬生つ子の力を発揮！

宇佐神宮・子どもボランティアガイド講座

宇佐 2001 壬生

自分のことは自分で ニコニコキャンプ実施

大阪平野

自然の中で障害児たちと交流

行橋みやこ

点訳サークルに点訳用パソコンを寄贈

東京あすか

千葉ジェッツの選手らによる出前授業

船橋

思い立ったら即行動！ 西内ひろさん講演会

越谷北

三〇年目の音楽会

名古屋名東

同じ網の肉を食い、膝を交えて語り合う

第二七五〇地区多摩東グループ

米山奨学生と一泊二日の交流会

第二五六〇地区

元米山奨学生らと毎年集まっています！

東京本郷

◆ 内外よろず案内

声 10月号の感想

32
45

表紙 横組み 「小さな救世主たち」

野中正規 (日本イラストレーター協会)

縦組み 「初日の出」 高桑幸次

表紙題字 加藤光峰

表紙レイアウト 箕牧 彰

◆ 本誌中の RC はロータリークラブ、R は国際ロータリーの略です。

◆ 横組みの目次は、反対側の表紙を開いた 4〜5 ページにあります。

◆ 本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp (本誌の内容・投稿)

経理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp (購読・注文)

ロータリーの友

Home Page

www.rotary-no-tomo.jp



ありあけ
横濱 **ハーバー**★★

これからも
ずっと、横濱。

愛する横濱



ありあけ本館

横浜市中区日本大通36 シティタワー横浜1F
営業時間:10:00~20:00(カフェ LO 19:00)〈火曜不定休〉
🚶 みなとみらい線 日本大通り駅3番出口から徒歩3分

《オリジナルギフトのご提案》

ご要望・ご予算に応じて、オリジナルギフトを承ります。
季節の贈り物、社内行事などイベント時のお手土産、
パーティーや表彰式などの記念ノベルティ、冠婚葬祭
などにもぜひありあけをお役立てください。
下記まで、お気軽にお問合せください。

担当 法人営業課 高岡

株式会社 **ありあけ**

〒231-0015 横浜市中区尾上町4-57横浜尾上町ビルディング
☎ 0120-421-900 (受付時間 9:00~17:00 ※土・日・祝を除く)
<http://www.ariakeharbour.com/>

ありあけHPはこちら

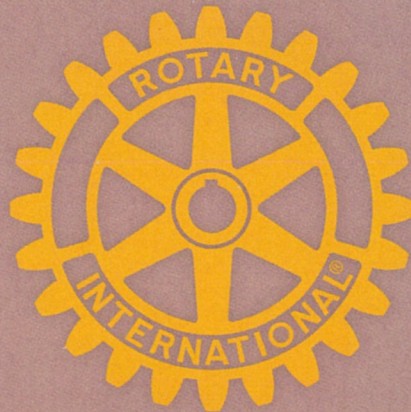


THE ROTARY-NO-TOMO

ロータリーの友

1

2018
JANUARY
VOL.66 NO.1



SPEECH

企業人のための危機管理

サニー 神谷

クラブを訪ねて
飯坂ロータリークラブ

Rotary 